

ポリシー管理リファレンス

Novell. ZENworks® 10 Configuration Management SP3

10.3

2010年3月30日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	9
1 概要	11
1.1 ポリシーとは	11
1.2 ポリシーグループとは	11
1.3 ポリシータイプの理解	12
1.4 ポリシーの機能の理解	12
2 ポリシーの作成	17
2.1 ブラウザブックマークポリシー	17
2.2 ダイナミックローカルユーザポリシー	19
2.3 ローカルファイル権利ポリシー	23
2.4 プリンタポリシー	25
2.5 リモート管理ポリシー	29
2.6 ローミングプロファイルポリシー	30
2.7 SNMP ポリシー	31
2.8 Windows グループポリシー	33
2.9 ZENworks Explorer の環境設定ポリシー	35
2.10 zman コマンドラインユーティリティの使用によるポリシーの作成	36
2.10.1 コンテンツを持たないポリシーの作成	37
2.10.2 コンテンツを持つポリシーの作成	39
2.10.3 zman ポリシー XML ファイル形式の理解	40
3 ポリシーの管理	43
3.1 ポリシーグループ	43
3.2 ポリシーの編集	44
3.3 ポリシーの削除	45
3.4 グループへのポリシーの追加	46
3.5 デバイスへのポリシーの割り当て	47
3.6 ユーザへのポリシーの割り当て	48
3.7 Windows 共有ロケーションにユーザプロファイルを格納しているローミングプロファイルポ リシーの、Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows 7 デバイス上のユーザへ の割り当て	50
3.7.1 共有された場所でデフォルトのプロファイルフォルダを作成	51
3.7.2 デフォルトのプロファイルを Windows Vista デバイス、Windows 2008 デバイス、ま たは Windows 7 デバイスから共有された場所のデフォルトのプロファイルフォルダ にコピー	51
3.7.3 デフォルトのプロファイルレジストリハイブの許可を設定	51
3.7.4 ユーザフォルダへのデフォルトプロファイルのコピー	52
3.8 異なる言語を実行するデバイスへのローカルファイル権限ポリシーの割り当て	52
3.9 デバイスからのポリシーの適用解除	53
3.10 ユーザからのポリシーの適用解除	53
3.11 ポリシーのシステム要件の追加	53
3.11.1 フィルタ条件	54
3.11.2 フィルタロジック	58
3.12 ポリシーの無効化	59

3.13	無効化したポリシーの有効化	59
3.14	ポリシーをコンテンツサーバにコピーする	59
3.15	ポリシーバージョンのカウントアップ	61
3.15.1	[アクション] メニューの使用	62
3.15.2	ポリシーの編集	62
3.16	管理対象デバイスにあるポリシーの状態の確認	62
3.17	Windows 7 デバイス、Windows Server 2008 デバイス、または Windows Server 2008 R2 デバイスでのポリシーの問題	63
3.18	事前定義されたレポートの参照	64
4	ポリシーグループの管理	65
4.1	ポリシーグループの作成	65
4.2	ポリシーグループのリネームまたは移動	66
4.3	ポリシーグループの削除	67
4.4	ポリシーグループのデバイスへの割り当て	67
4.5	ポリシーグループのユーザへの割り当て	67
4.6	ポリシーのグループへの追加	68
5	フォルダの管理	69
5.1	フォルダの作成	69
5.2	フォルダの名前変更または移動	69
5.3	フォルダの削除	70
A	ポリシー管理のトラブルシューティング	71
A.1	ブラウザブックマークポリシーのエラー	71
A.2	ブラウザブックマークポリシーのトラブルシューティング	73
A.3	ダイナミックローカルユーザポリシーのエラー	73
A.4	ダイナミックローカルユーザポリシーのトラブルシューティング	74
A.5	一般的なポリシーのトラブルシューティング	76
A.6	ローカルファイル権限ポリシーのエラー	78
A.7	ローカルファイル権限ポリシーのトラブルシューティング	79
A.8	プリンタポリシーのエラー	80
A.9	プリンタポリシーのトラブルシューティング	83
A.10	ローミングプロファイルポリシーのエラー	87
A.11	ローミングプロファイルポリシーのトラブルシューティング	87
A.12	SNMP ポリシーのエラー	89
A.13	Windows グループポリシーのエラー	89
A.14	Windows グループポリシーのトラブルシューティング	92
A.15	ZENworks Explorer の環境設定ポリシーのエラー	97
B	ベストプラクティス	101
B.1	ローカルファイル権利ポリシー	101
B.2	ダイナミックローカルユーザポリシー	101
B.3	ローミングプロファイルポリシー	101
B.4	SNMP ポリシー	102
B.5	Windows グループポリシー	102
B.6	プリンタポリシー	102

C	iPrint ポリシー管理ユーティリティ	103
C.1	IPPman ユーティリティのインストール	103
C.2	IPPman コマンドを使用した iPrint プリンタの設定	104
C.2.1	iPrint プリンタの作成	104
C.2.2	iPrint プリンタの複製	105
C.2.3	iPrint プリンタの名前変更	106
C.2.4	iPrint プリンタの変更	107
C.2.5	iPrint プリンタの削除	108
C.2.6	iPrint プリンタのエクスポート	109
C.2.7	iPrint プリンタのインポート	109
C.3	iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式の理解	110
C.3.1	デフォルトの印刷初期設定での iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式	111
C.3.2	[例] 複数の印刷初期設定が指定された iPrint プリンタ環境設定ファイル	111
C.4	iPrint プリンタの印刷初期設定	112
C.5	iPrint プリンタリストインポートファイルの形式	112
D	マニュアルの更新	113
D.1	2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)	113

このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 Configuration Management Policy Management リファレンス』では、ポリシー管理の、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 システムの設定と保守を行うための機能と手順が説明されています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 11 ページの第 1 章「概要」
- ◆ 17 ページの第 2 章「ポリシーの作成」
- ◆ 43 ページの第 3 章「ポリシーの管理」
- ◆ 65 ページの第 4 章「ポリシーグループの管理」
- ◆ 69 ページの第 5 章「フォルダの管理」
- ◆ 71 ページの付録 A「ポリシー管理のトラブルシューティング」
- ◆ 101 ページの付録 B「ベストプラクティス」
- ◆ 103 ページの付録 C「iPrint ポリシー管理ユーティリティ」
- ◆ 113 ページの付録 D「マニュアルの更新」

対象読者

このガイドは、Novell ZENworks の管理者を対象にしています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks 10 Configuration Management SP3 マニュアル \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/) を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (()) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management では、オペレーティングシステム設定の設定とアプリケーション設定の選択のためのポリシーを提供しています。1つのポリシーを複数のデバイスに適用することによって、確実にすべてのデバイスの設定を同じにできます。

詳細情報については、次のセクションを参照してください。

- ◆ [11 ページのセクション 1.1 「ポリシーとは」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.2 「ポリシーグループとは」](#)
- ◆ [12 ページのセクション 1.3 「ポリシータイプの理解」](#)
- ◆ [12 ページのセクション 1.4 「ポリシーの機能の理解」](#)

1.1 ポリシーとは

ポリシーは、管理対象デバイスのハードウェアとソフトウェアについて一連の設定をコントロールするルールです。たとえば、管理対象デバイスのブラウザで使用できるブックマーク、そのデバイスからアクセスできるプリンタ、およびそのデバイスにおけるセキュリティ設定やシステム環境設定を制御するポリシーを作成できます。

ポリシーを使用して、任意の数の管理対象デバイスに割り当てることができる一連の設定を作成できます。ポリシーは、複数のデバイスに同じ設定を行うために役立ち、各デバイスを個々に設定する必要がなくなります。

ポリシーはデバイスまたはユーザに直接割り当てることができます。ユーザまたはデバイスをメンバーとするフォルダにポリシーを割り当てることもできます。1つのデバイスを、複数のデバイスグループのメンバーにすることはできますが、デバイスフォルダについては1つのデバイスフォルダのメンバーにすることのみが可能であるため、ポリシーをデバイスフォルダではなくデバイスグループに割り当てるほうが適切です。

管理対象デバイス上で、各ポリシータイプはポリシーハンドラまたはポリシーエンフォースャによって強制されます。特定のポリシーの設定を強制する / しないために必要な設定変更は、すべてポリシーハンドラまたはポリシーエンフォースャで行われます。

1.2 ポリシーグループとは

ポリシーグループは1つまたは複数のポリシーのコレクションです。ポリシーグループを作成すると、ポリシー管理の手間が軽減されます。ポリシーグループを作成し、個別ポリシーを割り当てる場合と同様に、管理対象デバイスに割り当てることができます。

ポリシーは、グループの割り当てを継承するため、ポリシーグループを管理することは、個々のポリシーを管理することよりも簡単です。たとえば、複数のポリシーをポリシーグループに含め、このポリシーグループをデバイスまたはデバイスグループに割り当てると、このポリシーグループに含まれるすべてのポリシーがデバイスまたはデバイスグループに同時に自動的に割り当てられます。個々のポリシーをデバイスまたはデバイスグループに割り当てする必要はありません。

1.3 ポリシータイプの理解

ZENworks 10 Configuration Management では、次のポリシータイプを作成できます。

- ◆ **ブラウザブックマークポリシー**：Windows* デバイスおよびユーザに対して Internet Explorer* のお気に入りを設定できます。
- ◆ **ダイナミックローカルユーザポリシー**：新しいユーザを作成したり、Windows 2000、Windows XP、および Windows Vista* のワークステーションや、Windows 2000、Windows 2003、および Windows 2008 のターミナルサーバのセッションで作成された既存のユーザをそのユーザがユーザソースに正常に認証された後に管理したりできます。
- ◆ **ローカルファイル権利ポリシー**：NTFS ファイルシステムにあるファイルまたはフォルダの権利を設定できます。
このポリシーは、ローカルとドメインのユーザおよびグループに対する基本的な許可および詳細な許可を設定するために使用できます。これにより、管理者が管理対象デバイスにカスタムグループを作成することができます。
- ◆ **プリンタポリシー**：Windows マシンにローカル、SMB、HTTP、および iPrint の各プリンタを設定できます。
- ◆ **リモート管理ポリシー**：管理対象デバイスのリモート管理セッションの動作または実行を設定できます。ポリシーには、リモート管理操作、セキュリティなどのプロパティが含まれます。
- ◆ **ローミングプロファイルポリシー**：ネットワークパスに保存されるユーザプロファイルを作成できます。ユーザプロファイルは、ユーザのデスクトップ設定と個人設定に関する情報を含みます。この情報はセッションをまたいで保持されます。ネットワークパスに保存された各ユーザプロファイルをローミングプロファイルと呼びます。ユーザがマシンにログオンするたびに、ユーザのプロファイルがネットワークパスからロードされます。これにより、ユーザはマシンを移動しても、常に自分の設定を使用することができます。
- ◆ **SNMP ポリシー**：管理対象デバイスに SNMP サービスを設定できます。
- ◆ **Windows グループポリシー**：Windows デバイスのグループポリシーを設定できます。
- ◆ **ZENworks Explorer の環境設定ポリシー**：ZENworks Explorer の動作および機能を管理でき、集中管理できます。

1.4 ポリシーの機能の理解

- ◆ ポリシーは、そのポリシーが直接または間接的に関連付けられているデバイスまたはユーザにのみ適用されます。

ブラウザブックマークポリシー、ダイナミックローカルユーザポリシー、プリンタポリシー、リモート管理ポリシー、Windows グループポリシー、および ZENworks Explorer の環境設定ポリシーは、デバイスまたはユーザに適用できます。

ローカルファイル権利ポリシーと SNMP ポリシーは、デバイスにのみ適用できます。

ローミングプロファイルポリシーは、ユーザにのみ適用できます。

- ◆ ポリシーは、複数のグループおよび複数のコンテナに関連付けられます。

ZENworks コントロールセンターでは、コンテナとグループを使用して、デバイスとユーザを編成できます。デバイスまたはユーザは、複数のグループのメンバーにすることができます。コンテナは他のコンテナにネストできます。ポリシーをユーザのグループに関連付けると、グループ内の全ユーザに適用されます。ポリシーをユーザコンテナに関連付けると、そのコンテナをルートとするサブツリー全体に含まれる全ユーザに適用されます。デバイスのグループとコンテナについても同じ動作が適用されます。

- ◆ ポリシーは、複数のクエリグループに関連付けることができます。

ZENworks コントロールセンターでは、デバイスを複数のクエリグループのメンバーにすることもできます。クエリグループは、通常のグループに似ていますが、管理者が定義したクエリによってメンバーシップが決まる点が異なります。クエリに一致するすべてのデバイスが、クエリグループのメンバーになります。クエリが定期的に評価され、結果に従ってメンバーシップが更新されます。管理者は、評価の周期を設定できます。管理者は、クエリグループを即座にリフレッシュすることもできます。クエリグループは、ポリシーを接続する他のグループと同様に機能します。

- ◆ ポリシーは、デフォルトでは、日時順に配列されます。

1つのデバイス、ユーザ、グループ、またはコンテナに複数のポリシーを関連付けると、関連付けは、デフォルトでは、日時順に配列されます。管理者は、順序を変更できます。

1つのデバイスまたはユーザが複数のグループに属す場合は、グループが配列されます。この結果、それらのグループに関連付けられたポリシーも配列されます。管理者は、デバイスまたはユーザのグループでの配列をいつでも変更できます。

ポリシーグループ内のポリシーも配列されます。

- ◆ ポリシーは、デバイスまたはユーザで有効なポリシーを決定するための設定を持ちます。

同じタイプの複数のポリシーを、直接または継承により、1人のユーザまたは1つのデバイスに適用できます。たとえば、1つのブラウザブックマークポリシーをユーザに関連付け、別のブラウザブックマークポリシーをこのユーザを含むコンテナに関連付けた場合は、ユーザに直接関連付けたポリシーによって、コンテナに関連付けたポリシーが上書きされます。

- ◆ ポリシーは、例外を利用して管理をサポートします。

会社用のグローバルポリシーを定義し、すべてのオブジェクトを含む最上位レベルコンテナに関連付けることができます。その後、新規ポリシーを定義し、特定のユーザまたはユーザグループに関連付けて、グローバルポリシーに含まれる設定項目を上書きすることができます。これらのユーザは、この新規ポリシーから設定を受け取りません。他の全ユーザは、グローバルポリシーから設定を受け取ります。

- ◆ ポリシーはシステム要件をサポートします。

デバイスまたはユーザのシステム要件をポリシーに指定できます。ポリシーは、デバイスまたはユーザがシステム要件を満たす場合にのみそのデバイスまたはユーザに適用されます。

たとえば、SNMP ポリシーは、デフォルトでは、SNMP ポリシーがインストールされているすべてのデバイスに適用されます。

- ◆ ZENworks Configuration Management は、単一ポリシーと複数ポリシーをサポートします。

単一ポリシー デバイスまたはユーザに同じポリシータイプの複数のポリシーが割り当てられている場合に、そのポリシータイプが単一ポリシーである場合は、システム要件を満たす、直近の関連付けられたポリシーのみが適用されます。ポリシータイプがユーザとデバイスの両方に関連付けられている場合は、2つの異なるポリシーをユーザとデバイスに関連付けることができます。

SNMP ポリシー、ダイナミックローカルユーザポリシー、リモート管理ポリシー、ローミングプロファイルポリシー、および ZENworks Explorer の環境設定ポリシー、は単一ポリシーです。

複数ポリシー デバイスまたはユーザに同じポリシータイプの複数のポリシーを割り当て、このポリシータイプが複数タイプである場合は、関連付けられたシステム要件を満たすすべてのポリシーが適用されます。

ブラウザブックマークポリシー、ローカルファイル権限ポリシー、Windows グループポリシー、およびプリンタポリシーは複数ポリシーです。ただし、Windows グループポリシーのセキュリティ設定は複数ではありません。

- ◆ ポリシーは無効にすることができます。

ZENworks Configuration Management で作成したポリシーは、デフォルトで、有効になります。ユーザまたはデバイスに適用しない場合は、ポリシーを無効にすることができます。

- ◆ ZENworks Configuration Management では、ポリシーの競合を解決できます。

割り当てられたポリシーのサブセットが、有効な一連のポリシーになります。デバイスまたはユーザで有効な一連のポリシーは、優先ルール、多重度ルール、および複数割り当てられた一連のポリシーのシステム要件フィルタを適用することにより算出されます。有効なポリシーは、デバイスおよびユーザごとに算出されます。[ポリシー競合の解決] 設定によって、ユーザとデバイスのポリシーが、具体的なユーザとデバイスの組み合わせについてどのように作用するのかが決まります。

有効なポリシーは、デバイスおよびユーザごとに算出されます。ユーザがデバイスにログインすると、ユーザに関連付けられたポリシーとデバイスに関連付けられたポリシーの両方が適用されます。[ポリシー競合の解決] 設定は、デバイスとユーザの両方に同じタイプのポリシーが関連付けられている場合にのみ使用されます。この設定によって、ユーザに関連付けられたポリシーおよびデバイスに関連付けられたポリシーの優先順位が決まります。[ポリシー競合の解決] 設定は、有効なポリシーの算出後に適用されます。

[ポリシー競合の解決] 設定は、デバイスにポリシーを関連付けるときに定義します。ユーザへの関連付けについてこの設定を定義することはできません。各ポリシータイプについて、そのタイプで有効な直近のポリシーに定義されている [ポリシー競合の解決] 設定が、そのタイプの全ポリシーに適用されます。

[ポリシー競合の解決] 設定は、次のいずれかの値を持つことができます。

- ◆ **ユーザが最後** : デバイスに関連付けられたポリシーを先に適用してから、ユーザに関連付けられたポリシーを適用します。これはデフォルト値です。
- ◆ **デバイスが最後** : ユーザに関連付けられたポリシーを先に適用してから、デバイスに関連付けられたポリシーを適用します。
- ◆ **ユーザのみ** : ユーザに関連付けられたポリシーを適用し、デバイスに関連付けられたポリシーは無視します。
- ◆ **デバイスのみ** : デバイスに関連付けられたポリシーを適用し、ユーザに関連付けられたポリシーは無視します。

注: [ポリシー競合の解決] 設定は、優先順位の最も高い、デバイスに関連付けられたポリシーから取得されます。

ポリシーの作成

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management では、ZENworks コントロールセンターまたは zman コマンドラインユーティリティを使用してポリシーを作成できます。

以降のセクションでは、ZENworks コントロールセンターを使用してポリシーを作成するための手順を説明します。

- ◆ 17 ページのセクション 2.1 「ブラウザブックマークポリシー」
- ◆ 19 ページのセクション 2.2 「ダイナミックローカルユーザポリシー」
- ◆ 23 ページのセクション 2.3 「ローカルファイル権利ポリシー」
- ◆ 25 ページのセクション 2.4 「プリンタポリシー」
- ◆ 30 ページのセクション 2.5 「リモート管理ポリシー」
- ◆ 30 ページのセクション 2.6 「ローミングプロファイルポリシー」
- ◆ 31 ページのセクション 2.7 「SNMP ポリシー」
- ◆ 33 ページのセクション 2.8 「Windows グループポリシー」
- ◆ 35 ページのセクション 2.9 「ZENworks Explorer の環境設定ポリシー」

以降のセクションでは、zman コマンドラインユーティリティを使用してポリシーを作成する方法を説明します。

- ◆ 37 ページのセクション 2.10 「zman コマンドラインユーティリティの使用によるポリシーの作成」

2.1 ブラウザブックマークポリシー

ブラウザブックマークポリシーを使用すると、Windows デバイスおよびユーザに対して internet Explorer のお気に入りを設定できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、[新規] をクリックし、[ポリシー] をクリックして [ポリシータイプの選択] ページを表示します。
- 3 [ブラウザブックマークポリシー] を選択し、[次へ] をクリックして [詳細設定] ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名: ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ: ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシーですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明: ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [次へ] をクリックすると [ブックマークツリーのデータソース] ページが表示されます。

- 5 ブラウザブックマークツリーは、以前にエクスポートされたファイルをインポートするか、または手動でデータを入力して作成します。ブックマークファイルをインポートする前にファイルが UTF-8 フォーマットであることを確認してください。ブックマークファイルを UTF-8 フォーマットに手動で変換するには、テキストエディタを使用します。

次のリストには、エクスポートファイルを作成するためのブラウザ固有の情報が含まれています。

- ◆ **Internet Explorer 6.x 8.x:** ブラウザのウィンドウで、[ファイル] > [インポートおよびエクスポート] の順にクリックします。インポート/エクスポートウィザードの指示に従い、bookmark.htm ファイルを作成します。
 - ◆ **Internet Explorer 7:** ブラウザのウィンドウで、[お気に入りに追加] > [インポートおよびエクスポート] の順にクリックします。インポート/エクスポートウィザードの指示に従い、bookmark.htm ファイルを作成します。
 - ◆ **Mozilla Firefox 2.x:** ブラウザのウィンドウで、[ブックマーク] > [ブックマークの管理] の順にクリックし、次に [ファイル] > [エクスポート] の順にクリックして、bookmarks.html ファイルを作成します。
 - ◆ **Mozilla Firefox 3.x:** ブラウザのウィンドウで、[ブックマーク] > [ブックマークの管理] の順にクリックし、次に [インポートとバックアップ] > [HTML のエクスポート] の順にクリックして、bookmarks.html ファイルを作成します。
- 6 [次へ] をクリックして [ブックマークツリーの設定] ページを開き、オプションを使用してブックマークツリーの設定を行います。

次の表は、[新規]、[編集]、および [削除] オプションで実行できるタスクの一覧を示しています。

フィールド 詳細

新規	<ul style="list-style-type: none"> ◆ [新規] > [フォルダ] の順にクリックして、[Add Folder to Bookmarks (フォルダをブックマークに追加する)] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスを使用して、新しいフォルダをブックマークツリーに追加できます。 ◆ [新規] > [ブックマーク] の順にクリックして、[Add Bookmark to Bookmarks (ブックマークをブックマークに追加する)] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでブックマーク名と URL を指定して、新しいブックマークをブックマークツリーに追加できます。[URL] フィールドの横にあるボタンをクリックして、入力した URL が正しいことおよび機能することを確認します。
編集	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 変更するブックマーク名を選択し、[編集] > [名前変更] の順にクリックして、新しい名前を指定します。 ◆ [編集] > [ソート] の順にクリックして、ブックマークを昇順または降順に並べます。 ◆ [編集] > [上へ移動] または [下へ移動] あるいは [移動先] の順にクリックして、ブックマークを再配置します。 ◆ [編集] > [すべての子を選択] の順にクリックして、選択した親ディレクトリのすべてのサブディレクトリおよびブックマークを選択します。 ◆ [編集] > [すべての子を選択解除] > をクリックして、選択した親ディレクトリのサブディレクトリおよびブックマークのすべてを選択解除します。 ◆ [編集] > [選択をクリア] > をクリックして選択をクリアします。

フィールド 詳細

- 削除** ♦ **[削除]** をクリックして、選択されているブックマークとブックマークフォルダをブックマークツリーから削除します。ただし、「Bookmarks」という名前のデフォルトのブックマークフォルダは削除できません。
-

- 7 **[次へ]** をクリックして **[概要]** ページを表示します。
- 8 **[終了]** をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、**[作成後に詳細を設定]** を選択し、ポリシー割り当て、**システム要件**、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。

2.2 ダイナミックローカルユーザポリシー

ダイナミックローカルユーザポリシーを使用すると、ユーザソースに対する認証の成功後、管理対象デバイス上で、新規ユーザを作成し、既存ユーザを管理できます。

注: ダイナミックローカルユーザポリシーを適用する前に、最新バージョンの Novell Client をインストールしてください。最新バージョンを入手するには、[Novell ダウンロード Web サイト \(http://download.novell.com/index.jsp\)](http://download.novell.com/index.jsp) を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、**[ポリシー]** タブをクリックします。
- 2 **[ポリシー]** リストで、**[新規]** をクリックし、**[ポリシー]** をクリックして **[ポリシータイプの選択]** ページを表示します。
- 3 **[ダイナミックローカルユーザポリシー]** を選択し、**[次へ]** をクリックして **[詳細設定]** ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名: ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ: ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシーですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明: ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 **[次へ]** をクリックして表示される **[ユーザ設定]** ページで、ページ上のオプションを使用してユーザアカウントの設定を行います。

次の表に、ダイナミックローカルユーザアカウントの設定と、管理対象デバイスでの管理について示します。

フィールド	詳細
ユーザソースの資格情報を使用	Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista 資格情報の代わりに、ユーザの信頼されたソースアカウント情報を使用してログインできます。

フィールド	詳細
次に指定されたアカウント情報を使用(常に一時的)	<p>一時的ユーザ用に次のユーザ資格情報を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ユーザ名：ユーザの名前を指定します。 ◆ フルネーム：ユーザのフルネームを指定します。 ◆ 説明：管理者がこのユーザアカウントを識別できるような、わかりやすい説明を入力します。 <p>ユーザは、ダイナミックローカルユーザポリシーが適用されたデバイスにログイン後、デバイスがネットワークから接続解除されたときにデバイスからログアウトした場合、接続解除されたデバイスに再びログインすることはできません。この問題については、74 ページの「ダイナミックローカルユーザポリシーのトラブルシューティング」を参照してください。</p>
既存のユーザアカウントを管理する	<p>既存のユーザオブジェクトを管理するために役立ちます。</p> <p>[<i>一時的ユーザ</i>] と [<i>既存のユーザアカウントを管理する(存在する場合)</i>] の両方のチェックボックスを選択し、ユーザがユーザソースに指定された同じユーザ名を使用する永続的ローカルアカウントを持っている場合、永続的アカウントは一時的アカウントに変更され、ユーザがログアウトすると削除されます。</p>
一時的ユーザ	<p>ログインに一時的なユーザアカウントを使用できるようにします。NWGINA によりローカルワークステーションで作成されるユーザアカウントは、一時的または永続的のいずれかになります。</p>
一時的ユーザキャッシュの有効化	<p>指定した期間、デバイスの一時的ユーザアカウントのキャッシュを有効にします。</p>
一時的ユーザのキャッシュ期間(日数)	<p>デバイスで一時的ユーザアカウントをキャッシュする日数を指定します。デフォルト値は 5 です。1 ~ 999 日までの値を指定できます。</p> <p>この一時的ユーザアカウントは、別の DLU ユーザがデバイスからログアウトした場合、指定されたキャッシュ期間の有効期限が過ぎた後に削除されます。</p>
所属しない	<p>ユーザをメンバーとして割り当てることができるグループが表示されません。</p>
所属	<p>ユーザが所属するグループが表示されます。</p>
カスタム	<p>[<i>カスタム</i>] をクリックして、[<i>カスタムグループのプロパティ</i>] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスを使用して、新しいカスタムグループの追加、およびそのグループの権限を設定できます。</p>
編集	<p>[<i>編集</i>] をクリックして、カスタムグループの詳細を表示および編集します。デフォルトの Windows グループは、このオプションでは編集できません。</p>
削除	<p>[<i>削除</i>] をクリックして、カスタムグループを削除します。デフォルトの Windows グループは、このオプションでは削除できません。</p>

- 5 [次へ] をクリックして表示される [ログイン制限] 設定ページで、ページ上のオプションを使用してユーザアクセスの設定を行います。

ダイナミックローカルユーザポリシーは、ユーザまたはデバイスに関連付けることができます。このポリシーがユーザオブジェクトに関連付けられている場合、ワークステーションをリストに含めるか、またはリストから除外することができます。この場合、[包括/除外ユーザ] リストは無視されます。

このポリシーがデバイスオブジェクトに関連付けられている場合、ユーザをリストに含めるか、またはリストから除外することができます。この場合、[包括/除外ワークステーション] リストは無視されます。

[除外されるワークステーションリスト] には、DLU のアクセスを拒否するワークステーションおよびコンテナが表示されます。このボックスに表示されているワークステーション、または表示されているコンテナの一部であるワークステーションでは、DLU アクセスは使用できません。個々のワークステーションに対する例外を設けるには、[含めるワークステーションのリスト] に個々のワークステーションを含めます。これにより、含めたワークステーションへのみ DLU アクセスが許可され、コンテナ内の残りのワークステーションへの DLU アクセスは拒否されます。

ワークステーションのルール：

- デフォルトでは、すべてのワークステーションが包括されます。
- 直接的な関連付けでない場合、オブジェクトが両方のリストにある場合、関連付けがあると見なされます。直接の関連付けは、グループの関連付けより緊密度が高く、同様にグループはフォルダより緊密度が高くなります。
- 緊密度が同じ場合、ワークステーションは直接グループ A とグループ B に追加され、包括リストが優先されます。

除外リスト	包括リスト	結果
ワークステーション -A	ワークステーション -B	ポリシーはワークステーション -A を除くすべてのワークステーションに適用されます。
ワークステーショングループ -1	ワークステーション -A	<p>ポリシーは、ワークステーション -A 以外、ワークステーショングループ -1 のどのワークステーションにも適用されません。</p> <p>ポリシーは、ワークステーショングループ -1 に含まれていないワークステーションに対して適用されます。</p>
コンテナ -1	ワークステーショングループ -1 またはワークステーション -A	<p>ポリシーは、ワークステーショングループ -1 またはワークステーション -A 以外の、コンテナ -1 のどのワークステーションにも適用されません。</p> <p>ポリシーは、コンテナ -1 に含まれていないワークステーションに対して適用されません。</p>

[除外ユーザリスト] には、DLU アクセスを拒否するユーザとコンテナが表示されます。このボックスに表示されているユーザ、または表示されているコンテナの一部であるユーザは、DLU アクセスを使用できません。個々のユーザに対する例外を設けるには、[インクルードされたユーザ] リストに個々のユーザを含めます。これにより、含めたユーザへのみ DLU アクセスが許可され、コンテナ内の残りのユーザへの DLU アクセスは拒否されます。

ユーザのルール：

- デフォルトでは、すべてのユーザが包括されます。
- 直接的な関連付けでない場合、オブジェクトが両方のリストにある場合、関連付けがあると見なされます。直接の関連付けは、グループの関連付けより緊密度が高く、同様にグループはフォルダより緊密度が高くなります。
- 緊密度が同じ場合、ユーザは直接グループ A とグループ B に追加され、包括リストが優先されます。

除外リスト	包括リスト	結果
ユーザ -A	ユーザ -B	ポリシーはユーザ -A を除くすべてのユーザに適用されます。
ユーザグループ -1	ユーザ -A	<p>ポリシーは、ユーザ -A 以外、ユーザグループ -1 のどのユーザにも適用されません。</p> <p>ポリシーは、ユーザグループ -1 に含まれていないユーザに対して適用されます。</p>
コンテナ -1	ユーザグループ -1 またはユーザ -A	<p>ポリシーは、ユーザグループ -1 またはユーザ -A 以外の、コンテナ -1 のどのユーザにも適用されません。</p> <p>ポリシーは、コンテナ -1 に含まれていないユーザに対して適用されます。</p>

6 [次へ] をクリックして、[ファイル権利] ページを表示します。

次の表に、管理対象デバイスでのダイナミックローカルユーザによるファイルシステムのアクセスを管理する方法を示します。

フィールド	詳細
追加	<p>適切なファイル権限を選択して、割り当てることができます。</p> <p>ファイルまたはフォルダを追加するには、次の操作を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [追加] をクリックして、ファイルまたはフォルダを指定します。 2. 指定したファイルまたはフォルダに割り当てるファイル権限を選択します。 3. 権限の継承を直接の子ファイルまたはフォルダのみに制限する場合は、[Restrict inheritance to immediate child files/folders only (継承を直接の子ファイル/フォルダのみに制限)] を選択します。 4. [OK] をクリックします。

フィールド	詳細
編集	<p>[コピー] : ファイル権限設定をコピーしてリストに追加できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファイルまたはフォルダを選択し、[編集] をクリックします。 2. [コピー] をクリックします。 3. 新しい名前を指定します。 4. [OK] をクリックします。 <p>[名前変更] : ファイル名のみを変更できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファイルまたはフォルダを選択し、[編集] をクリックします。 2. [名前変更] をクリックします。 3. 新規ファイル名を指定します。 4. [OK] をクリックします。
[上へ移動] または [下 へ移動]	<p>ファイルまたはフォルダの順序を変更できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移動するファイルまたはフォルダの横にあるチェックボックスをオンにします。 2. [上へ移動] または [下へ移動] をクリックして、再配置します。
削除	<p>リストからファイルまたはフォルダを削除できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファイルまたはフォルダの横にあるチェックボックスをオンにします。 2. [削除] をクリックします。

7 [次へ] をクリックし、[概要] ページを表示します。

8 [終了] をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ポリシー割り当て、システム要件、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。

2.3 ローカルファイル権利ポリシー

ローカルファイル権利ポリシーでは、NTFS ファイルシステムにあるファイルまたはフォルダの権限を設定できます。

1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。

2 [ポリシー] リストで、[新規] をクリックし、[ポリシー] をクリックして [ポリシータイプの選択] ページを表示します。

3 [ローカルファイル権利ポリシー] を選択し、[次へ] をクリックして [詳細設定] ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名 : ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ : ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシーですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明 : ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [次へ] をクリックして表示される [基本プロパティの設定] ページで、ページ上のオプションを使用して属性の設定を行います。

次の表に、ファイルとフォルダ、およびそれに関連付けられた属性の設定に関する情報を示します。

フィールド	詳細
ファイル/フォルダパス	<p>管理対象デバイスのファイルまたはフォルダの完全パスを指定できます。ZENworks システム変数または環境変数を使用してパスを指定できます。</p> <p>ZENworks コントロールセンターでシステム変数を設定するには、[環境設定] タブ > [管理ゾーンの設定] パネルの [コンテンツ] 設定 > [システム変数] をクリックします。システム変数の設定の詳細については、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。</p>
属性	このオプションを選択して、ファイルまたはフォルダの属性 ([読み込み専用] や [非表示] など) を指定できます。

このページでは、1つのファイルまたはフォルダのみの許可を設定できます。複数のファイルまたはフォルダの許可を割り当てる場合は、ポリシーの作成後に [詳細] ページで設定してください。

- 5 [次へ] をクリックすると [許可の設定] ページが表示されます。このページのオプションを使用して、選択したユーザまたはグループの許可を設定します。

次の表に、許可の設定に関する情報を示します。

フィールド	詳細
ユーザまたはグループについての許可	<p>ユーザまたはグループの許可を設定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> [追加] をクリックし、[ユーザ] または [グループ] をクリックして、対応するドロップダウンリストからユーザまたはグループを選択します。 設定する許可のタイプ [シンプルNTFS許可] または [すべてのNTFS許可] を選択します。選択する許可のタイプに基づいて、許可の一覧が表示されます。選択したユーザまたはグループに適用可能な許可を設定します。 デフォルトでは、フォルダに許可が設定されると、すべてのサブフォルダとファイルにもその許可が継承されます。権限の継承を直接の子ファイルまたはフォルダのみに制限する場合は、[継承を直接の子ファイル/フォルダのみに制限] を選択します。 [OK] をクリックします。 <p>ダイナミックローカルユーザポリシーでユーザやグループに対して設定された許可は、ローカルファイル権限ポリシーで設定された許可よりも優先されます。</p>
存在しない場合は、管理対象デバイスにグループを作成	許可を設定するグループを作成します。ただし、グループは管理対象デバイスには配置されません。このオプションでは、ローカルグループのみ作成できます。

フィールド	詳細
ZENworks によって設定されていないアクセス制御ルールを削除	ZENworks ローカルファイル権限ポリシーによって設定されていないユーザまたはグループのアクセス制御エントリをすべて削除します。さらに、ポリシー内で設定されている、ユーザまたはグループの既存のアクセス制御エントリを更新します。ポリシーの適用後は、ポリシーが再度適用されると、ポリシーによって設定されたユーザまたはグループの許可に手動で加えられた変更は失われます。
親フォルダで設定された適用可能なアクセス権を継承	ファイルまたはフォルダにその親オブジェクトの適用可能なアクセス制御ルールを継承する場合は、[はい] を選択します。[いいえ] を選択すると、継承したルールは削除されます。変更を加えたくない場合は、管理対象デバイスで [未設定] を選択します。ポリシーを作成するには、少なくとも1つの属性、許可、または継承設定が設定されている必要があります。何も設定しないと、ポリシーは作成できません。

注: 管理者または認証されたユーザグループの [フル制御] アクセス権が拒否されていても、ポリシーは最初の適用時のみ成功します。ただし、管理者または認証されたユーザグループの [フル制御] アクセス権が拒否され、[ZENworks によって設定されていないアクセス制御ルールを削除] オプションが選択された場合、このポリシーは失敗します。

ローカルファイル権限ポリシーのデバイスからの無効化は、フル制御アクセス権がポリシーで管理者または認証済みユーザグループについて拒否される場合、失敗します。

- 6 [次へ] をクリックして [概要] ページを表示します。
- 7 [終了] をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ポリシー割り当て、システム要件、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。

2.4 プリンタポリシー

プリンタポリシーでは、Windows デバイス上のローカル、SMB、HTTP、および iPrint プリンタを設定できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、[新規] をクリックし、[ポリシー] をクリックして [ポリシータイプの選択] ページを表示します。
- 3 [プリンタポリシー] を選択し、[次へ] をクリックして [詳細設定] ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名: ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ: ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシーですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明: ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [次へ] をクリックすると、[プリンタ識別] ページが表示されます。管理対象デバイスにインストールするプリンタのタイプを選択します。

- 5 [次へ] をクリックし、**ステップ 4** で選択したプリンタタイプに応じた適切な手順までスキップします。
- ローカルプリンタ : **ステップ 6** に進みます。
 - ネットワークプリンタ : に進んでください。 **ステップ 7**
 - iPrint プリンタ : に進んでください。 **ステップ 8**
- 6 (条件付き) ローカルプリンタを設定している場合は、詳細について次の表を参照してください。

フィールド	詳細
名前	ターゲットデバイスで設定するローカルプリンタの名前を指定します。
ポート	プリンタを追加する物理ポート (LPT1 または COM1 など) を選択します。
ドライバ	プリンタに適したドライバを参照して選択します。ブラウザリストにドライバが含まれていない場合は、正しいモデル名を入力してください。ドライバは、ターゲットデバイスにインストールされているか、適用されたポリシーで指定されている必要があります。ドライバは、Microsoft* によってデジタル署名されている必要があります。デジタル署名されていないドライバの使用を選択する場合は、 トラブルシューティングシナリオ を参照してください。
ドライバのインストール	<p>ターゲットデバイスにドライバをインストールするには、このオプションを選択します。ドライバのインストールは非対話式のサイレントインストールで行われる必要があります。サポートされているドライバインストールタイプは、.inf です。.inf ドライバファイルは、.zip または .tar フォーマットにバンドルできます。.inf ファイルは、ターゲットデバイスですでに使用可能な場合は、直接指定できます。.inf ファイルがドライバのインストールをサポートすることを確認します。</p> <p>注: 新しいプリンタドライバを既存のドライバリストに追加するには、次の操作を行います。</p> <p><code>zenworks_installdir\novell\zenworks\share\tomcat\webapps\zenworks\WEB-INF\conf\printerDriverDetails.conf</code> ファイルを編集して次の行を追加します。</p> <pre>Printer_Manufacturername = Printer_Model</pre> <p>たとえば、HP* Color LaserJet* 4550 PCL プリンタを追加する場合は、次の行を追加します。</p> <pre>HP = HP Color LaserJet 4550 PCL</pre>
モデル名	ドライバのモデル名を参照して選択します。
ドライバファイルパス	ドライバファイルを、ブラウザを実行中の特定のデバイスから、または管理対象デバイスのパス (C:\temp\nipp.zip など) から指定します。
サポートされているプラットフォーム	ドライバのプラットフォームを指定します。プラットフォームの情報は、インストールプラットフォームに基づいた使用可能なドライバのリストから適切なドライバを選択するのに役立ちます。
インストールの言語	インストール言語を選択します。選択肢は、英語 (アメリカ)、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語、イタリア語、中国語 (繁体字)、中国語 (簡体字)、または日本語です。

フィールド	詳細
ドライバがすでにインストールされている場合にも強制的にインストールします	ドライバがターゲットデバイスにすでにインストールされている場合でも、ドライバを強制的にインストールするには、このオプションを選択します。

7 (条件付き) ネットワークプリンタを設定している場合は、詳細について次の表を参照してください。

フィールド	詳細
名前/場所	<p>HTTP の UNC パスまたは URL 名、または SMB プリンタを指定します。</p> <p>たとえば、SMB プリンタは \\server-name\printer-name、HTTP プリンタは http://server/printers/.myprinter/.printer となります。</p> <hr/> <p>注: ネットワークプリンタでは、ユーザの資格情報の入力を求める機能はサポートされません。</p>
ドライバ	<p>Windows HTTP プリンタに適したドライバを参照して選択します。SMB プリンタの場合、これは関係ありません。</p> <p>ドライバは、Microsoft* によってデジタル署名されている必要があります。デジタル署名されていないドライバの使用を選択する場合は、トラブルシューティングシナリオを参照してください。</p>
ドライバのインストール	<p>ターゲットデバイスにドライバをインストールするには、このオプションを使用します。ドライバのインストールは非対話式のサイレントインストールで行われます。サポートされているドライバインストールタイプは、.inf です。.inf ドライバファイルは、.zip または .tar フォーマットにバンドルできます。.inf ファイルは、ターゲットデバイスですでに使用可能な場合は、直接指定できます。.inf ファイルがドライバのインストールをサポートすることを確認します。</p> <hr/> <p>注: 新しいプリンタドライバを既存のドライバリストに追加するには、次の操作を行います。</p> <pre>zenworks_installdir\novell\zenworks\ 共用 (する))\tomcat\webapps\zenworks\WEB-INF\conf\printerDriverDetails.conf ファイルを編集して次の行を追加します。</pre> <pre>Printer_Manufacturername = Printer_Model</pre> <p>たとえば、HP* Color LaserJet* 4550 PCL プリンタを追加する場合は、次の行を追加します。</p> <pre>HP = HP Color LaserJet 4550 PCL</pre>
モデル名	ドライバのモデル名を参照して選択します。
ドライバファイルパス	ドライバファイルを、ブラウザを実行中の特定のデバイスから、または管理対象デバイスのパス (c:\temp\nip.zip など) から指定します。

フィールド	詳細
サポートされているプラットフォーム	ドライバのプラットフォームを指定します。プラットフォームの情報は、インストールプラットフォームに基づいた使用可能なドライバのリストから適切なドライバを選択するのに役立ちます。
インストールの言語	インストール言語を選択します。選択肢は、英語 (アメリカ)、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語、イタリア語、中国語 (繁体字)、中国語 (簡体字)、または日本語です。
ドライバがすでにインストールされている場合にも強制的にインストールします	ドライバがすでにデバイスにインストールされている場合にも、ポリシーをデバイスに適用するときにこのオプションを選択して、デバイスに強制的にドライバをインストールします。

8 (条件付き) iPrint プリンタを設定している場合は、詳細について次の表を参照してください。

Windows Vista デバイスの場合は、Novell iPrint クライアント 5.04 以降をインストールする必要があります。

フィールド	詳細
名前/場所	iPrint プリンタの URL 名を指定します。たとえば、ipp://acme.com/ipp/servername のように指定します。
ドライバのインストール中に iPrint プリンタドライバをアップデートする	iPrint プリンタをインストール中にプリンタドライバを更新し、iPrint サーバからプリンタドライバを再インストールするには、このオプションを選択します。
iPrint クライアントをインストール	<p>ターゲットマシンに iPrint クライアントをインストールするには、このオプションを選択します。iPrint クライアントは、64 ビットバージョンの Windows Server 2003 ではサポートされません。</p> <p>インストールファイルは、nipp.zip または nipp-s.ex のいずれかです。どちらのファイルでも非対話式のサイレントインストールを実行できます。これらのファイルは、ブラウザを実行中のマシンからアップロードできます。</p> <p>iPrint クライアントをインストールする場合、サイレントインストールをサポートしない .exe ファイルは使用できません。たとえば、nipp.exe ファイルは iPrint クライアントのインストールに使用できません。</p>
iPrint クライアントインストールのファイルパス	<p>管理対象デバイスに iPrint クライアントをインストールする iPrint クライアントインストールのパスを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 管理対象デバイス側：管理対象デバイス上の iPrint クライアントインストールのパスを指定する場合にこのオプションを選択します。 ◆ このデバイスから選択：ポリシーのコンテンツとして iPrint クライアントインストールを追加する場合にこのオプションを選択します。ポリシーと一緒に iPrint クライアントインストールを配布することもできます。
ドライバがすでにインストールされている場合にも強制的にインストールします	ドライバがターゲットデバイスにすでにインストールされている場合でも、ドライバを強制的にインストールするには、このオプションを選択します。

フィールド	詳細
iPrint クライアントを設定	iPrint プロキシサーバを設定するには、このオプションを選択します。 ワークステーションが物理的なファイアウォールの外側にある場合、このオプションを使用して、プロキシアドレスを指定できます。アドレスの後にはコロン (:) とポート番号を続けます。
プロキシサーバ	iPrint プロキシサーバ名を指定します。たとえば、http://proxy.companyx.com:8080 のように指定します。

- 9 [次へ] をクリックすると [印刷設定] ページが表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
印刷の向き	プリンタの用紙レイアウト (横方向、縦方向など) を指定するには、このオプションを選択します。
両面印刷	用紙の両面に印刷するかどうかを指定します (プリンタに両面印刷機能がある場合)。
部単位で印刷	プリンタで文書の複数の部数をまとめるかどうかを指定します (プリンタにその機能がある場合)。
印刷品質	印刷品質を選択します。可能な限り最高の解像度にするには [高] 品質を、低解像度かつ低品質にするには [低] 品質を選択します。
用紙トレイ	プリンタの用紙ソースを指定します。標準の使用可能なリストに表示されていないソースを指定することもできますが、そのソースはプリンタでサポートされている必要があります。サポートされている用紙ソースの情報はプリンタのマニュアル、または Windows マシンのレジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Print\Printers\printer-name\DsDriver\printBinNames で参照できます。
用紙サイズ	プリンタの用紙サイズを指定します。メニューに一覧表示されているオプションに加え、プリンタでサポートされている任意の用紙サイズを指定できます。サポートされているサイズの情報はプリンタのマニュアル、またはプリンタがローカルでインストールされている Windows マシンのレジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Print\Printers\printer-name\DsDriver\printMediaSupported で参照できます。

- 10 [次へ] をクリックすると、[追加のプリンタポリシー設定] が表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
デフォルトプリンタに設定	プリンタをデフォルトのプリンタとして設定するには、このオプションを選択します。ユーザが他のプリンタを指定していない場合、このプリンタに印刷要求が送信されます。 Windows 7 管理対象デバイスでは、ポリシーで [デフォルトプリンタに設定] オプションが選択されていなくても、割り当てられたプリンタがデバイスのデフォルトプリンタとして設定される場合があります。

フィールド	詳細
ZENworks ポリシーで指定されていないすべてのプリンタを削除	ZENworks プリンタポリシーで指定されていないすべてのプリンタを削除するには、このオプションを選択します。

- 11 [次へ] をクリックし、[概要] ページを表示します。
このウィザードでは、1 台のプリンタのみを設定できます。追加のプリンタを設定する場合は、ポリシーの作成後に [詳細] ページで設定してください。
- 12 [終了] をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ポリシー割り当て、システム要件、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。
プリンタのサポートする設定のみをプリンタに設定できます。

2.5 リモート管理ポリシー

リモート管理ポリシーでは、管理対象デバイスでのリモート管理セッションの動作または実行を設定できます。ポリシーには、リモート管理操作およびセキュリティなどのプロパティが含まれます。

デフォルトでは、セキュアなリモート管理ポリシーは、ZENworks Adaptive Agent がリモート管理コンポーネントと共に展開される時に、管理対象デバイスに作成されます。デフォルトポリシーを使用すると、デバイスをリモートで管理できます。デフォルトポリシーを上書きするには、明示的にそのデバイスのリモート管理ポリシーを作成できます。

リモート管理ポリシーの作成については、『ZENworks 10 Configuration Management Remote Management リファレンス』の「リモート管理ポリシーの作成」を参照してください。

2.6 ローミングプロファイルポリシー

ローミングプロファイルポリシーでは、ネットワークパスに保存されるユーザプロファイルを作成できます。管理者は、ユーザのホームディレクトリに保存されているローミングプロファイルを使用するか、ネットワークディレクトリ上の場所に保存されているプロファイルを使用できます。

重要: Microsoft Vista のセキュリティ設定のため、ローミングプロファイルを有効にするには、管理者はユーザレジストリハイブに適切なセキュリティ権限を手動で追加する必要があります。詳細については、50 ページのセクション 3.7 「Windows 共有ロケーションにユーザプロファイルを格納しているローミングプロファイルポリシーの、Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows 7 デバイス上のユーザへの割り当て」を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、[新規] をクリックし、[ポリシー] をクリックして [ポリシータイプの選択] ページを表示します。
- 3 [ローミングプロファイルポリシー] を選択し、[次へ] をクリックして [詳細設定] ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名: ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ: ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシー ですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明: ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [次へ] をクリックすると、[ローミングプロファイルポリシー] ページが表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
ユーザのホームディレクトリにユーザプロファイルを保存	eDirectory に指定されているユーザのホームディレクトリからユーザのプロファイルをロードして保存するには、このオプションを選択します。 このオプションは、ユーザオブジェクトが eDirectory にある場合にのみ適用できます。ただし、Windows 環境の Domain Services では現在サポートされていません。
ユーザプロファイルのパス	ユーザのローミングプロファイルの UNC パスを選択します。複数のユーザオブジェクト上のポリシーを管理する場合は、%USERNAME% を環境変数として使用します。この場合、環境変数はログオンユーザ名と指定したパスからロードされたユーザプロファイルで解決されます。
ターミナルサーバのプロファイルパスを上書きする	独自のプロファイルを持つターミナルサーバにユーザがアクセスする場合に、このオプションを有効にして、ターミナルサーバのプロファイルを上書きします。

- 5 [次へ] をクリックし、[概要] ページを表示します。
- 6 [終了] をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ポリシー割り当て、システム要件、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。

2.7 SNMP ポリシー

SNMP ポリシーでは、管理対象デバイス上の SNMP パラメータを設定できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、[新規] をクリックし、[ポリシー] をクリックして [ポリシータイプの選択] ページを表示します。
- 3 [SNMP ポリシー] を選択し、[次へ] をクリックして [詳細設定] ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名: ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ: ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシー ですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明：ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [次へ] をクリックすると [SNMP 接続文字列] ページが表示されます。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
接続文字列を追加	コミュニティストリングを追加できます。
接続文字列	追加する SNMP コミュニティ文字列の名前を指定します。
コミュニティ権限	選択したコミュニティの権利 (読み込み専用、読み込みと書き込み、読み込みと作成、および通知など) を管理できます。
ZENworks SNMP ポリシーで指定されていない SNMP 接続文字列すべてを削除	ZENworks SNMP ポリシーで指定されていないすべてのコミュニティ文字列を削除するには、このオプションを選択します。
SNMP 認証トラップを送信	認証トラップ情報を送信する場合は、このオプションを選択します。

このページでは、コミュニティ文字列 1 つのみをポリシーに追加できます。複数のコミュニティ文字列を追加する場合は、ポリシーの作成後に [詳細] ページで設定してください。

- 5 [次へ] をクリックすると、[SNMP デフォルトアクセス制御リスト] ダイアログボックスが表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
SNMP 通信を許可	すべてのホストからの SNMP 通信を許可するのか、リストに事前定義されたホストからの SNMP 通信を許可するのかを指定する場合に、このオプションを選択します。
ZENworks SNMP ポリシーで指定されていない SNMP 許可ホストすべてを削除	ZENworks SNMP ポリシーで指定されていない SNMP 許可ホストをすべて削除するには、このオプションを選択します。

- 6 [次へ] をクリックすると、[SNMP トラップターゲット] ページが表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
トラップターゲットを追加	SNMP サービスのトラップターゲットを追加できます。
IP アドレス/ホスト名	ターゲットデバイスの IP アドレスまたはホスト名を指定します。
接続文字列	[IP アドレス/ホスト名] で定義されたトラップターゲットのコミュニティ文字列を指定します。
ZENworks SNMP ポリシーで指定された以外の、SNMP トラップターゲットすべてを削除	ZENworks SNMP ポリシーで指定されていないトラップターゲットをすべて削除するには、このオプションを選択します。

このページでは、トラップターゲット 1 つのみをポリシーに追加できます。複数のトラップターゲットを追加する場合は、ポリシーの作成後に [詳細] ページで設定してください。

- 7 [次へ] をクリックすると、[SNMP ポリシーのデフォルトのシステム要件] ページが表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
SNMP サービスがターゲットデバイスに存在する場合のみ、ポリシーを適用	SNMP サービスがターゲットデバイスに存在する場合のみ SNMP ポリシーを適用するには、このオプションを選択します。ターゲットデバイスに SNMP サービスが含まれていない場合、SNMP サービスを完全に適用することができないか、ターゲットデバイスで有効にすることができません。

- 8 [次へ] をクリックし、[概要] ページを表示します。
- 9 [終了] をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ポリシー割り当て、システム要件、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。

2.8 Windows グループポリシー

Windows グループポリシーでは、Windows デバイスのグループポリシーを設定できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、[新規] をクリックし、[ポリシー] をクリックして [ポリシータイプの選択] ページを表示します。
- 3 [Windows グループポリシー] を選択し、[次へ] をクリックして [詳細設定] ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名: ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ: ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシーですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明: ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [次へ] をクリックすると、[Windows グループポリシー] ページが表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
管理するグループポリシーの種類を選択します	<p>Windows グループポリシーでは、ローカルグループまたはアクティブディレクトリグループポリシーのいずれかを管理できます。</p> <p>グループポリシーを設定するには、ヘルパアプリケーションをインストールする必要があります。[Install the Group Policy Helper(グループポリシーヘルパのインストール)] をクリックして、novell-zenworks-grouppolicyhelper-10x.x.x.msi をインストールします。これは Windows インストーラパッケージです。インストールは一度だけ実行すれば、後は必要ありません。ヘルパがインストールされている場合、[設定] をクリックすると、ヘルパが起動します。これは、ポリシーの設定またはインポートに使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ローカルのグループポリシー：ローカルのグループポリシーを設定するには、このオプションを選択します。 グループポリシーヘルパを起動するには、[設定] をクリックします。ローカルグループポリシーの設定を設定または編集して、設定したポリシーを ZENworks サーバにアップロードします。 ◆ Active Directory グループポリシー：Active Directory グループポリシーを使用するには、このオプションを選択します。 グループポリシーヘルパを起動するには、[設定] をクリックします。Windows Server 2003 または Windows Server 2008 Active Directory から作成した Active Directory グループポリシーをインポートしてから、ZENworks サーバにアップロードします。(ZENworks コントロールセンターを介して Active Directory ポリシーを編集することはできません。) <p>注：ZENworks Coonfiguration Management SP3 では、Windows Server 2008 R2 Active Directory から作成された Active Directory グループポリシーのインポートをサポートします。</p>
管理対象デバイスに適用される環境設定を選択します	<p>必要に応じてポリシー設定を調整したら、設定が管理対象デバイスでどのように適用されるかを選択できます。</p> <p>コンピュータの環境設定 コンピュータの環境設定を管理対象デバイスに適用するには、このオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ すべての設定を適用：すべてのコンピュータの環境設定を管理対象デバイスに適用するには、このオプションを選択します。 ◆ セキュリティ設定のみを適用：セキュリティ設定のみを管理対象デバイスに適用するには、このオプションを選択します。 ただし、このオプションを選択した場合、セキュリティ設定のソフトウェア制限はデバイスで実施されません。ソフトウェア制限を実施するには、[すべての設定を適用] を選択します。 ◆ セキュリティ設定を除くすべての設定を適用：セキュリティ設定以外のすべてのコンピュータの環境設定を管理対象デバイスに適用するには、このオプションを選択します。 <p>ユーザの環境設定 ユーザの環境設定を管理対象デバイスに適用するには、このオプションを選択します。</p> <p>注：ユーザが Windows 2000 または Windows 2003 Terminal Server にログインしている場合、ユーザに関連付けられたグループポリシーからのシステム環境設定は適用されません。</p>

- 5 [次へ] をクリックして [概要] ページを表示します。
- 6 [終了] をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ポリシー割り当て、システム要件、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。

ログイン/ログオフスクリプトがユーザ関連グループポリシーで設定され、[一般設定] の [直接適用] セクションにある [実施の後、必要に応じて管理対象デバイスへの再ログインを強制します。] オプションが選択されている場合は、再ログインが強制され、ユーザが管理対象デバイスに再びログインしたときにログインスクリプトが実行されます。デバイスに関連付けられたポリシーからのスタートアップスクリプトは、デバイスが次回再起動されたときのみ実行されます。

グループポリシーで設定されたログオフスクリプトは、Windows Server 2000、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 では実行できません。

グループポリシーログインスクリプトは、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、および Windows Server 2008 R2 ではユーザの環境変数をサポートしません。

Active Directory グループポリシーを通じて設定されたスクリプトは、ZENworks Adaptive Agent の [ポリシー] ページで成功を表示された場合でも、デバイスには適用されません。詳細については、92 ページのセクション A.14 「Windows グループポリシーのトラブルシューティング」を参照してください。

重要: Windows グループポリシーのセキュリティ設定を Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイスに適用する場合は、デバイスに Windows ホットフィックス KB897327 がインストールされていることを確認してください。ホットフィックスのインストール方法の詳細については、「[Microsoft サポート Web サイト \(http://support.microsoft.com/KB/897327\)](http://support.microsoft.com/KB/897327)」を参照してください。

2.9 ZENworks Explorer の環境設定ポリシー

ZENworks Explorer の環境設定ポリシーでは、ZENworks Explorer の動作と機能を管理でき、集中管理できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、[新規] をクリックし、[ポリシー] をクリックして [ポリシータイプの選択] ページを表示します。
- 3 [ZENworks Explorer の環境設定ポリシー] を選択し、[次へ] をクリックして [詳細設定] ページを表示し、フィールドに入力します。

ポリシー名: ポリシーの名前を入力します。ポリシー名は、同じフォルダにある他の項目 (グループ、フォルダなど) の名前とは異なっている必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

フォルダ: ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /ポリシーですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

説明: ポリシーのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [次へ] をクリックすると、[ZENworks Explorer 環境設定] ページが表示されます。オプションを使用して設定を指定してください。詳細については、次の表を参照してください。

フィールド	詳細
フォルダビューを有効にする	<p>アプリケーションウィンドウにフォルダリストを表示するには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
フォルダツリー全体を開く	<p>アプリケーションウィンドウが開いたときに、フォルダツリー全体を展開するには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
Windows エクスプローラでアプリケーションを表示する	<p>Windows エクスプローラでアプリケーションリストを表示するには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
ルートフォルダの名前	<p>ルートフォルダの名前を変更するには、このオプションを使用します。</p>
タスクバーの Zicon の非表示	<p>タスクバーの [ZENworks] アイコンを表示するには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
手動更新を有効にする	<p>ZENworks Explorer を起動後に、アプリケーションの手動更新を有効にするかどうかを指定するには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
新規ユーザとしてログアウト/ログインを許可する	<p>ユーザが新規ユーザとしてログアウトおよびログインできるようにするには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
進捗表示	<p>バンドル操作の進捗を表示するかどうかを指定するには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
デフォルト通知を表示	<p>デフォルト通知を表示するかどうかを指定するには、このオプションを使用します。ポリシーまたはバンドルに関連付けられたコンテンツがデバイスにダウンロードされると、通知が表示されます。たとえば、デバイスでプリンタポリシーを実施しているときには、デバイスの通知エリアに次のメッセージが表示されます。</p> <p>プリンタポリシーのファイルのダウンロード</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>
「全フォルダ」を表示して ZENworks Explorer を開始する	<p>ZENworks Explorer を起動するときに [すべて] フォルダを表示するかどうかを指定するには、このオプションを使用します。</p> <p>値は、[はい]、[いいえ]、および [未設定] です。デフォルト値は [未設定] で、管理対象デバイスの既存の設定が維持されます。</p>

- 5 [次へ] をクリックして [概要] ページを表示します。
- 6 [終了] をクリックし、ポリシーを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ポリシー割り当て、システム要件、強制、ステータス、およびポリシーの属するグループなどの追加情報を指定します。

2.10 zman コマンドラインユーティリティの使用によるポリシーの作成

ZENworks Configuration Management では、ブラウザブックマークポリシー、ダイナミックローカルユーザポリシー、ローカルファイル権限ポリシー、プリンタポリシーなど、さまざまな種類のポリシーを作成できます。ポリシーは、それぞれ独自の一連のデータと設定の設定を持ちます。データを引数としてコマンドラインで渡すと複雑であるため、zman ユティリティではポリシー作成の入力として XML ファイルを受け取ります。エクスポートされた XML ファイルをテンプレートとして使用して、ポリシーを作成できます。zman コマンドラインユーティリティを使用してポリシーを作成するには、ZENworks コントロールセンターを使用して同じタイプのポリシーをすでに作成してあり、XML ファイルとしてエクスポートしてある必要があります。ZENworks コントロールセンターを使用してポリシーを作成する方法の詳細については、17 ページの第 2 章「ポリシーの作成」を参照してください。

たとえば、ZENworks コントロールセンターを使用して作成済みのブラウザブックマークポリシーを XML ファイルにエクスポートしてから、zman でこのファイルを使用して別のブラウザブックマークポリシーを作成できます。

ポリシーには、ファイルコンテンツを関連付けできます。たとえば、インストールするプリンタドライバは、プリンタポリシーに関連付けられたファイルです。

zman コマンドラインユーティリティを使用してポリシーを作成する場合は、以降のセクションを参照してください。

- 37 ページのセクション 2.10.1 「コンテンツを持たないポリシーの作成」
- 39 ページのセクション 2.10.2 「コンテンツを持つポリシーの作成」
- 40 ページのセクション 2.10.3 「zman ポリシー XML ファイル形式の理解」

2.10.1 コンテンツを持たないポリシーの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターでポリシーを 1 つ作成します。

たとえば、ZENworks コントロールセンターを使用して、`http://www.google.co.in` というブックマークを含んだ `google` という名前のブラウザブックマークポリシーを作成します。

- 2 次のコマンドを使用して、ポリシーを XML ファイルにエクスポートします。

```
zman policy-export-to-file policy_name policy_filename.xml
```

たとえば、`google` ポリシーを `google.xml` にエクスポートするには、コマンド `zman policy-export-to-file google google.xml` を使用します。

新規データを使用して、新規ポリシーを作成する場合は、ステップ 3 に進んでください。google ポリシーと同じデータを使用して新規ポリシーを作成する場合は、ステップ 4 に進んでください。

- 3 要件に応じて XML ファイルを変更します。

たとえば、google.xml で、<URL> の値を http://www.google.co.in から http://www.yahoo.com に変更します。これは、次に示すように、browserbookmarkspolicy アクション (Enforcement アクションセットと <PolicyData> 要素) にあり、<Actions> 要素と <PolicyData> 要素の両方にあります。

```
<ns2:ActionSets>
  <Id>879de60b7591b6f6aefae09fcd83db54</Id>
  <Type>Enforcement</Type>
  <Version>1</Version>
  <Modified>>false</Modified>
  <Actions>
    <Id>0ab9a1785370bcd38bc862bd2817abac</Id>
    <Name>browserbookmarkspolicy</Name>
    <Type>browserbookmarkspolicy</Type>
    <Data>
      <PolicyData xmlns="http://novell.com/zenworks/datamodel/objects/policies">
        <BookmarksPolicyHandlerData xmlns="">
          <EnforcePolicy>
            <Bookmarks>
              <Bookmark Type="url_string">
                <Name>Google</Name>
                <Url>http://www.yahoo.com</Url>
                <Folder></Folder>
              </Bookmark>
            </Bookmarks>
          </EnforcePolicy>
        </BookmarksPolicyHandlerData>
      </PolicyData>
    </Data>
    <ContinueOnFailure>>true</ContinueOnFailure>
    <Enabled>>true</Enabled>
  <Properties>StandaloneName=browserbookmarksenf;Impersonation=SYSTEM;</Properties>
</Actions>
</ns2:ActionSets>

<ns2:ActionSets xmlns:ns2="http://novell.com/zenworks/datamodel/objects/actions" xmlns="http://novell.com/zenworks/datamodel/objects/actions">
  <Id>4efa37c827cf0e8a8ac20b23a3022227</Id>
  <Type>Distribution</Type>
  <Version>1</Version>
  <Modified>>false</Modified>
  <Actions>
    <Id>27c4a42544210b3ac3b067ff6aff2d5c</Id>
```

```

    <Name>Distribute Action</Name>
    <Type>Distribute Action</Type>
    <ContinueOnFailure>true</ContinueOnFailure>
    <Enabled>true</Enabled>
    <Properties />
  </Actions>
</ns2:ActionSets>
<ApplyImmediate>>false</ApplyImmediate>
<PolicyData>
  <BookmarksPolicyHandlerData>
    <EnforcePolicy>
      <Bookmarks>
        <Bookmark Type="url_string">
          <Name>Google</Name>
          <Url>http://www.yahoo.com</Url>
          <Folder></Folder>
        </Bookmark>
      </Bookmarks>
    </EnforcePolicy>
  </BookmarksPolicyHandlerData>
</PolicyData>

```

- 4 次のコマンドを使用して、新しいポリシーを作成します。

```
zman policy-create new_policy_name policy_xml_filename.xml
```

たとえば、yahoo ポリシーを作成するには、次のコマンドを使用します。

```
zman policy-create yahoo google.xml
```

2.10.2 コンテンツを持つポリシーの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターでポリシーを1つ作成します。

たとえば、ZENworks コントロールセンターを使用して iPrint ポリシーと呼ばれる iPrint タイプのプリンタポリシーを作成します。このポリシーは、ポリシーコンテンツとして用意されている driver.zip ファイルから iPrint ドライバを自動インストールし、デバイスに iPrint プリンタを設定します。

- 2 次のコマンドを使用して、ポリシーを XML ファイルにエクスポートします。

```
zman policy-export-to-file policy_name policy_filename.xml
```

これにより、*policy_filename.xml* と *policy_filename_ActionContentInfo.xml* ファイルが作成されます。

たとえば、iPrintPolicy を iPrintPolicy.xml にエクスポートするには、次のコマンドを使用します。

```
zman policy-export-to-file iPrintPolicy iPrintPolicy.xml
```

iPrintPolicy.xml ファイルと iPrintPolicy_ActionContentInfo.xml ファイルが作成されます。ActionContentInfo.xml の詳細については、[40 ページのセクション 2.10.3 「zman ポリシー XML ファイル形式の理解」](#)を参照してください。

新規データを使用して、新規ポリシーを作成する場合は、[ステップ 3](#)に進んでください。iPrintPolicy と同じデータを使用して新規ポリシーを作成する場合は、[ステップ 4](#)に進んでください。

- 3** 要件に応じて、iPrintPolicy.xml ファイルと iPrintPolicy_actioncontentinfo.xml ファイルを変更します。

たとえば、新しいバージョンのドライバを使用し、ネットワークに別の iPrint を設定およびインストールする新しいポリシーを作成するには、以下を実行します。

- driver.zip の全リファレンスを newDriver.zip に変更します。これは、<ActionSet> セクションと <PolicyData> セクション (iPrintPolicy.xml) および <ActionSet> セクション (iPrintPolicy_actioncontentinfo.xml) にあります。
- iPrintPolicy.xml ファイル内のプリンタ名をプリンタの新しい名前ですべて置換します。

サンプル iPrintPolicy_actioncontentinfo.xml を次に示します。

```
<ActionInformation>
  <ActionSet type="Enforcement">
    <Action name="printer policy" index="1">
      <Content>
        <ContentFilePath>driver.zip</ContentFilePath>
      </Content>
    </Action>
  </ActionSet>
</ActionInformation>
```

- 4** 次のコマンドを使用して、新しいポリシーを作成します。

```
zman policy-create new_policy_name policy_xml_filename.xml --actioninfo
policy_name_actioncontentinfo.xml
```

たとえば、次のコマンドを使用して、New_iPrintPolicy と呼ばれるポリシーを作成します。

```
zman policy-create New_iPrintPolicy iPrintPolicy.xml --actioninfo iPrintPolicy_ActionContentInfo.xml
```

2.10.3 zman ポリシー XML ファイル形式の理解

policy-export-to-file コマンドは、データベースに保存されているポリシー情報を XML ファイルにシリアル化します。各ポリシーは、アクションセット、施行、および配布にグループ化されたアクションを含みます。エクスポートされた XML ファイルは、UID、名前、パス、プライマリタイプ、サブタイプ、ポリシーデータ、システム要件などポリシーに関する情報と、すべてのアクションセットおよびそれらのアクションに関する情報を含みます。デバイスやユーザへのポリシーの割り当てに関する情報は含みません。

サンプル XML フォーマットテンプレート WindowsGroupPolicy.xml が /opt/novell/zenworks/share/zman/samples/policies(Linux サーバの場合) および ZENworks_Installation_directory:\Novell\Zenworks\share\zman\samples\policies(Windows サーバの場合) にあります。

注: エクスポートされる XML ファイルに拡張 ASCII 文字が含まれている場合、ANSI エンコーディングでは拡張 ASCII 文字が文字化けとして表示されるため、ANSI エンコーディングではなく UTF-8 エンコーディングを使用して、エディタで開く必要があります。

XML ファイルからバンドルを作成する場合、zman では、ファイルの <Description>、<SubType>、<Category>、<ActionSets>、<SysReqs> タグに指定されている情報を使用します。[名前] および [親フォルダ] の値は、コマンドラインラインから取得されます。これ以外の要素については、デフォルト値が使用されます。

XML ファイルを扱うときは、次に示すガイドラインに従ってください。

- ◆ ファイルコンテンツを持たないポリシーを作成する場合にポリシーの作成に必要なのは、ポリシー XML ファイルのみです。

たとえば、ローカルファイル権限ポリシーは、関連付けられたファイルコンテンツを持ちません。

- ◆ コンテンツを持つポリシーを作成する場合は、policy-create コマンドの --actioninfo オプションに対する引数として、コンテンツファイルのパスを含む、追加の XML ファイルを提供する必要があります。

たとえば、プリンタポリシーには、ファイルコンテンツとして、インストールするプリンタドライバを関連付けることができます。

サンプル XML フォーマットテンプレート ActionInfo.xml が /opt/novell/zenworks/share/zman/samples/policies(Linux サーバの場合) および

ZENworks_Installation_directory:\Novell\Zenworks\share\zman\samples\policies(Windows サーバの場合) にあります。

- ◆ エクスポートされた XML ファイルで、アクションの <Data> 要素を変更するには、新しいデータが正しく、スキーマに準拠していることを確認します。zman ユーティリティでは、データについて最小限の検証のみを行い、エラーのチェックは行いません。したがって、ポリシーは、無効なデータを使用して、正常に作成される可能性があります。そのようなポリシーは、管理対象デバイスに展開したときに失敗します。
- ◆ ファイルコンテンツは、アクションセット内の特定のアクションに関連付けられません。アクションコンテンツ情報 XML ファイルは、ファイルコンテンツが関連付けられるファイルのパスとアクションセット内のアクションのインデックスを含む必要があります。

たとえば、プリンタポリシーの作成時にインストール用に選択したプリンタドライバは、作成されるプリンタポリシーの実施アクションセットの printerpolicy アクションに関連付けられます。

- ◆ アクションセットは、<ActionSet> 要素の type 属性で指定されます。このタイプは、ポリシー XML ファイルでのアクションセットタイプと同じである必要があります。
- ◆ <Action> 要素は、ユーザの読みやすさのために、オプションの name 属性を持ちます。
- ◆ index 属性は必須です。この属性は、コンテンツを関連付ける必要のあるアクションを指定します。アクションセットの最初のアクションのインデックス値は 1 です。
- ◆ 各アクションは、複数の <Content> 要素を持つことができ、それぞれの要素が <ContentFilePath> 要素を 1 つ含みます。<ContentFilePath> 要素は、アクションに関連付けるファイルコンテンツのパスを含みます。ファイル名が、そのアクションに対する <Data> のポリシー XML ファイルで指定されているファイル名と同じであることを確認します。
- ◆ <Content> 要素の順序が、ポリシー XML ファイルでの順序に対応していることを確認します。たとえば、1 つのプリンタポリシーに複数のドライバを設定できます。ドライバファイルのパスは、次に示すように、アクションのデータにおけるファイルの指定順序と同じ順序で <Content> 要素に指定する必要があります。

<ActionInformaion>

```
<ActionSet type="Enforcement">
  <Action name="printer policy" index="1">
    <Content>
      <ContentFilePath>driver1.zip</ContentFilePath>
    </Content>
    <Content>
      <ContentFilePath>driver2.zip</ContentFilePath>
    </Content>
  </Action>
</ActionSet>
</ActionInformation>
```

ポリシーの管理

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management では、ZENworks システム内のソフトウェアとコンテンツを効率的に管理できます。既存のオブジェクトの編集および削除だけでなく、新規オブジェクトを作成してオブジェクトでさまざまなタスクを実行できます。

ZENworks コントロールセンターまたは `zman` コマンドラインユーティリティを使用して、ポリシーを管理できます。このセクションでは、ZENworks コントロールセンターを使用してこのタスクを実行する方法を説明します。`zman` コマンドラインユーティリティを使用する場合は、『ZENworks 10 Configuration Management コマンドラインユーティリティリファレンス』の「ポリシーコマンド」を参照してください。

- ◆ 43 ページのセクション 3.1 「ポリシーグループ」
- ◆ 44 ページのセクション 3.2 「ポリシーの編集」
- ◆ 45 ページのセクション 3.3 「ポリシーの削除」
- ◆ 46 ページのセクション 3.4 「グループへのポリシーの追加」
- ◆ 47 ページのセクション 3.5 「デバイスへのポリシーの割り当て」
- ◆ 48 ページのセクション 3.6 「ユーザへのポリシーの割り当て」
- ◆ 50 ページのセクション 3.7 「Windows 共有ロケーションにユーザプロファイルを格納しているローミングプロファイルポリシーの、Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows 7 デバイス上のユーザへの割り当て」
- ◆ 52 ページのセクション 3.8 「異なる言語を実行するデバイスへのローカルファイル権限ポリシーの割り当て」
- ◆ 53 ページのセクション 3.9 「デバイスからのポリシーの適用解除」
- ◆ 53 ページのセクション 3.10 「ユーザからのポリシーの適用解除」
- ◆ 53 ページのセクション 3.11 「ポリシーのシステム要件の追加」
- ◆ 59 ページのセクション 3.12 「ポリシーの無効化」
- ◆ 59 ページのセクション 3.13 「無効化したポリシーの有効化」
- ◆ 59 ページのセクション 3.14 「ポリシーをコンテンツサーバにコピーする」
- ◆ 61 ページのセクション 3.15 「ポリシーバージョンのカウントアップ」
- ◆ 62 ページのセクション 3.16 「管理対象デバイスにあるポリシーの状態の確認」
- ◆ 63 ページのセクション 3.17 「Windows 7 デバイス、Windows Server 2008 デバイス、または Windows Server 2008 R2 デバイスでのポリシーの問題」
- ◆ 64 ページのセクション 3.18 「事前定義されたレポートの参照」

3.1 ポリシーグループ

ポリシーグループは、2 つ以上のポリシーから構成されます。ポリシーグループを作成すると、デバイスおよびユーザに個別のポリシーではなくグループを割り当てることによって管理が簡単になります。単一のポリシーを持つポリシーグループを作成し、必要に応じてポリシーを追加できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。

- 2 [ポリシー] リストで [新規]、[ポリシーグループ] の順にクリックして [基本情報] ページを表示し、フィールドに入力します。

グループ名: ポリシーグループの固有の名前を入力します。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターインタフェースに表示されます。

フォルダ: このポリシーグループを含むフォルダの名前を入力するか、名前を参照して選択します。

説明: ポリシーグループのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。


- 3 [次へ] をクリックすると [グループメンバーの追加] ページが表示されます。ポリシーはいくつでもグループに追加できます。別のポリシーグループをグループに追加することはできません。

ポリシーを追加するには、次の手順に従います。

- 3a [追加] をクリックして、[メンバーの選択] ダイアログボックスを表示します。

ポリシーをグループに追加しているため、[メンバーの選択] ダイアログボックスは [ポリシー] フォルダが表示された状態で開きます。

- 3b グループに追加するポリシーを参照して選択します。手順は次のとおりです。

- 3b1 フォルダの隣にある  をクリックして、選択するポリシーが見つかるまでフォルダを移動します。

探しているポリシーの名前がわかっている場合は、[項目名] ボックスを使用して、ポリシーを検索できます。

- 3b2 [名前] カラムで下線付きのリンクをクリックして、ポリシーを選択すると、その名前が [選択済み] リストに表示されます。

- 3b3 (オプション) **ステップ 3b1** から **ステップ 3b2** を繰り返して、[選択済み] リストに追加のポリシーを追加します。

- 3b4 [OK] をクリックして、選択済みポリシーをグループに追加します。

- 4 [次へ] をクリックし、[概要] ページを表示します。

- 5 [終了] をクリックし、ポリシーグループを今すぐ作成するか、[作成後に詳細を設定] を選択し、ユーザ割り当て、デバイス割り当て、およびポリシーグループの属するメンバーなどの追加情報を指定します。

3.2 ポリシーの編集

次の表は、ポリシーについて実行できるタスクのリストです。

タスク	手順	追加の詳細
ポリシーのコンテンツの編集	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンテンツを編集するポリシーをクリックします。 2. [詳細] タブをクリックし、要件に応じて設定を編集します。 3. [適用] をクリックします。 4. [概要] ページをクリックします。 5. ポリシーのバージョンをカウントアップして、ポリシーに対する変更内容が実施されるようにします。 	
ポリシーの名前を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポリシーの横にあるチェックボックスをオンにします。 2. [編集] > [名前変更] の順にクリックし、新規名を指定します。 	<p>複数のチェックボックスを選択する場合は、[名前変更] オプションを [編集] メニューで使用することはできません。</p> <p>ポリシーの名前を変更する場合は、ポリシーのバージョンを増やして、すでにこのポリシーを持っているユーザや割り当て済みデバイスへの配布が確実に行われるようにしてください。</p>
ポリシーのコピーの作成	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポリシーの横にあるチェックボックスをオンにします。 2. [編集] > [コピー] の順にクリックし、新規名を指定します。 	<p>複数のチェックボックスを選択する場合は、[コピー] オプションを [編集] メニューで使用することはできません。</p> <p>コピーオプションは、既存のポリシーに似た新しいポリシーを作成するのに便利です。ポリシーをコピーし、新しいポリシーの設定を編集できます。</p>
ポリシーを別のフォルダに移動	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポリシー (複数可) の横にあるチェックボックスをオンにします。 2. [編集] > [移動] の順にクリックし、ターゲットフォルダを選択します。 	
ポリシーのシステム要件を別のポリシーにコピー	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポリシーの横にあるチェックボックスをオンにします。 2. [編集] > [システム要件のコピー] の順にクリックします。 3. [ポリシー] を選択し、[追加] をクリックして、選択したポリシーグループのシステム要件をコピーするポリシーを選択します。 	<p>複数のチェックボックスを選択する場合は、[システム要件のコピー] オプションを [編集] メニューで使用することはできません。</p>

3.3 ポリシーの削除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 削除するポリシー (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [削除] をクリックします。

3.4 グループへのポリシーの追加


- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 グループに追加するポリシー (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [グループに追加] の順にクリックします。[既存のグループまたは新しいグループ] ページが表示されます。
- 4 選択済みのオブジェクト (ユーザ、デバイス、バンドル、ポリシー) を既存グループまたは新規グループに追加できます。
 - オブジェクトを追加するグループがすでに存在する場合は、[選択した項目を既存のグループに追加します] を選択してから [次へ] をクリックして **ステップ 5** に進みます。
 - 選択したオブジェクト用に新規グループを作成する必要がある場合は、[新しいグループを作成し、そのグループに選択した項目を含めず] を選択してから [次へ] をクリックして **ステップ 6** へスキップします。
- 5 (条件付き) 選択した項目を既存のグループに追加する場合は、[ターゲット] ページが表示されます。オブジェクトを追加するグループ (ユーザ、デバイス、バンドル、ポリシー) を選択します。

ポリシーはいくつでもグループに追加できます。別のポリシーグループをグループに追加することはできません。

5a [追加] をクリックして、[グループの選択] ダイアログボックスを表示します。

ポリシーをグループに追加しているので、[メンバーの選択] ダイアログボックスは [ポリシー] フォルダが表示された状態で開きます。

5b グループに追加するポリシーを参照して選択します。手順は次のとおりです。

5b1 フォルダの隣にある  をクリックして、選択するポリシーが見つかるまでフォルダをナビゲートします。

探しているポリシーの名前がわかっている場合は、[項目名] ボックスを使用してポリシーを検索することもできます。

5b2 [名前] カラムで下線付きのリンクをクリックして、ポリシーを選択すると、その名前が [選択済み] リストに表示されます。

5b3 (オプション) **ステップ 5a** から **ステップ 5b** を繰り返して、[選択済み] リストに追加のポリシーを追加します。

5b4 [OK] をクリックして、選択済みポリシーをグループに追加します。

5c [次へ] をクリックし、**ステップ 7** までスキップします。

- 6 (条件付き) 選択した項目を含める新規グループを作成している場合は、[基本情報] ページが表示されます。次の各項目に入力してから、[次へ] をクリックして、**ステップ 7** に進みます。

グループ名 : ポリシーグループの固有の名前を入力します。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターインタフェースに表示されます。

フォルダ : このポリシーグループを含むフォルダの名前を入力するか、名前を参照して選択します。

説明 : ポリシーグループのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。


- 7 [完了] ページで、情報を確認します。必要な場合は、[戻る] ボタンを使用して情報を修正します。
- 8 [完了] をクリックします。

3.5 デバイスへのポリシーの割り当て

ポリシーをデバイスに割り当てる前に、次の要点に注意してください。

- ◆ 異なる言語を実行するデバイスから構成されているネットワークにローカルファイル権利ポリシー割り当てる場合は、[52 ページのセクション 3.8 「異なる言語を実行するデバイスへのローカルファイル権限ポリシーの割り当て」](#)を参照してください。
- ◆ ダイナミックローカルユーザポリシーとローミングプロファイルポリシーは、64 ビットの Windows Server 2003 デバイスではサポートされません。

次の手順を実行して、ポリシーをデバイスに割り当てます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、ポリシーやポリシーグループなどのオブジェクトの横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [デバイスへの割り当て] の順にクリックします。
- 4 グループの割り当て先であるデバイス、デバイスグループ、およびデバイスフォルダを参照して選択します。手順は次のとおりです。
 - 4a フォルダ (たとえば、[ワークステーション] フォルダまたは [サーバ] フォルダ) の隣にある  をクリックし、選択したいデバイス、グループ、またはフォルダが見つかるまでフォルダをナビゲートします。
[ワークステーション] や [ワークステーショングループ] などの特定のアイテムを探す場合は、[項目のタイプ] リストを使用して、表示されるアイテムのタイプを制限できます。また、探している項目の名前が分かっている場合は、[項目名] ボックスを使用して、項目を検索できます。
 - 4b [名前] 列にある下線付きのリンクをクリックし、デバイス、グループ、またはフォルダを選択すると、その名前が [選択済み] リストボックスに表示されます。
 - 4c [OK] をクリックして、選択済みのデバイス、フォルダ、およびグループを [デバイス] リストに追加します。
- 5 [次へ] をクリックします。[ポリシー競合の解決] ページが表示されます。
- 6 同じタイプのポリシーが、デバイスとユーザの両方に関連付けられている場合に発生する競合を解決するために、デバイスに関連付けられたポリシーとユーザに関連付けられたポリシーの間の優先度を設定します。
 - ◆ **ユーザが最後** : デバイスに関連付けられているポリシーを先に適用し、ユーザに関連付けられているポリシーを適用するには、このオプションを選択します。
 - ◆ **デバイスが最後** : ユーザに関連付けられているポリシーを先に適用し、デバイスに関連付けられているポリシーを適用するには、このオプションを選択します。
 - ◆ **デバイスのみ** : デバイスにのみ関連付けられるポリシーを適用するには、このオプションを選択します。
 - ◆ **ユーザのみ** : ユーザにのみ関連付けられるポリシーを適用するには、このオプションを選択します。

- 7 [次へ] をクリックして [完了] ページを表示し、情報を確認して、必要に応じて [戻る] ボタンを使用して情報を修正します。

割り当てられているすべてのデバイスにポリシーを即座に施行するには、[割り当てられているすべてのデバイスに、ポリシーをただちに強制適用します] を選択します。

- 8 [完了] をクリックします。

ポリシーをデバイスに割り当てる際は、次の点に留意します。

- ◆ ユーザがログインしたデバイスに DLU ポリシーを割り当てた場合、ユーザはデバイスに再びログインするよう求められます。ユーザがデバイスに再びログインしない限り、新しいポリシーはデバイスに適用されません。
- ◆ デバイスに ZENworks Explorer 設定ポリシーを割り当てた場合は、そのポリシーに指定された設定はデバイスにすぐには反映されません。たとえば、ポリシーで [タスクバーの Z アイコンを非表示] が有効になっていても、ポリシーがデバイスに割り当てた後に ZENworks アイコンが数秒間表示されます。
- ◆ 1つのデバイスでユーザ関連ポリシーとデバイス関連ポリシーが両方とも有効な場合、[ポリシー競合の解決] の設定に従って優先されるポリシーのみがデバイスに適用されます。ただし、[ZENworks Adaptive Agent] アイコンには、両方のポリシーの [有効] ステータスが [成功] と表示されます。
- ◆ デバイスに関連付けられたグループポリシーのユーザ設定は、Windows Server 2003、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスのコンソールセッションでは実施できません。
- ◆ 管理対象デバイスで、iPrint ポリシーが設定されている Citrix サーバにインストールされている発行されたアプリケーションを起動すると、サーバ上でポリシーが実施されるまで、かなり時間がかかる場合があります。この間は、iPrint 機能をアプリケーションに使用できません。

ZENUserDaemon および DisableUserDaemonHealing のレジストリキーをデバイスに設定することにより、Windows Server 2003、Windows Server 2008、および Windows Server 2008 R2 のデバイスの端末セッションで適用されるグループポリシーで設定されているユーザ環境設定を有効化した場合は、デバイス上で iPrint ポリシーが実施されます。詳細については、ZENworks 10 Configuration Management SP3 の Readme (<http://www.novell.com/documentation/zcm10/>) を参照してください。


3.6 ユーザへのポリシーの割り当て

ポリシーをユーザに割り当てる前に、次の要点に注意してください。

- ◆ ユーザには2つのタイプがあります。社内ディレクトリのユーザと管理対象デバイスのローカルユーザです。ポリシーは社内ディレクトリのユーザに関連付けできます。ZENworks では、社内ディレクトリのユーザとデバイス上のユーザの間にマッピングが存在すると想定しています。ユーザが社内ディレクトリにログインすると、ZENworks は社内ユーザのポリシーを取得し、これをデバイス上にキャッシュします。
- ◆ 社内ユーザとローカルユーザの間にマッピングが存在すると、ZENworks は、キャッシュしたポリシーとローカルユーザの関連付けも行います。ユーザがデバイスにログインすると、前にキャッシュされたポリシーがそのローカルユーザに施行されます。ユーザが社内ディレクトリにもログインすると、社内ユーザ用のポリシーが更新されてから施行されます。

- ◆ 直接割り当てられたポリシーと継承されたポリシーの両方による一連のポリシーを、デバイスまたはユーザに割り当てられた一連のポリシーと呼びます。割り当てられた一連のポリシーを算出するとき、多重度やシステム要件などのフィルターは適用されません。グループとコンテナも割り当てられたポリシーを持ちます。無効にされたポリシーは、割り当てられたポリシーには含まれません。
- ◆ 異なる言語を実行するデバイスから構成されているネットワークにローカルファイル権利ポリシー割り当てる場合は、[52 ページのセクション 3.8「異なる言語を実行するデバイスへのローカルファイル権限ポリシーの割り当て」](#)を参照してください。
- ◆ Windows Vista デバイスまたは Windows Server 2008 デバイス上のユーザにローミングプロファイルポリシーを割り当てる前に、正しいレジストリハイブ許可を持つユーザプロファイルがデバイスで利用可能であることを確認してください。参照先 [50 ページのセクション 3.7「Windows 共有ロケーションにユーザプロファイルを格納しているローミングプロファイルポリシーの、Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows 7 デバイス上のユーザへの割り当て」](#)。

次の手順を実行して、ポリシーをユーザに割り当てます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、ポリシーやグループなどのオブジェクトの横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [ユーザへの割り当て] の順にクリックします。
- 4 グループの割り当て先であるユーザ、ユーザグループ、およびユーザフォルダを参照して選択します。手順は次のとおりです。
 - 4a フォルダの隣にある  をクリックして、選択したいユーザ、グループ、またはフォルダが見つかるまでフォルダをナビゲートします。
[ユーザ] や [ユーザグループ] などの特定のアイテムを探す場合は、[項目タイプ] リストを使用して、表示されるアイテムのタイプを制限できます。また、探している項目の名前が分かっている場合は、[項目名] ボックスを使用して、項目を検索できます。
 - 4b [名前] 列にある下線付きのリンクをクリックし、ユーザ、グループ、またはフォルダを選択すると、その名前が [選択済み] リストボックスに表示されます。
 - 4c [OK] をクリックして、選択済みのデバイス、フォルダ、およびグループを [ユーザ] リストに追加します。
- 5 [次へ] をクリックして [完了] ページを表示し、情報を確認して、必要に応じて [戻る] ボタンを使用して情報を修正します。
- 6 [終了] をクリックします。

ポリシーをユーザに割り当てるときは、次の点に留意します。

- ◆ ユーザに ZENworks Explorer 設定ポリシーを割り当てた場合、そのポリシーに指定された設定はユーザがログインしているデバイスにすぐには反映されません。たとえば、ポリシーで [タスクバーの Z アイコンを非表示] が有効になっていても、ポリシーがユーザに割り当てられた後に ZENworks アイコンが数秒間表示されます。
- ◆ ユーザによって割り当てられたポリシーは、Windows Server 2003、Windows Server 2008、および Windows Server 2008 R2 のデバイスのコンソールセッションでは実施されません。

- Citrix サーバから発行されているアプリケーションをデバイス上で起動すると、iPrint プリンタのリストがデバイスで表示されるまで、かなり時間がかかる場合があります。
- iPrint プリンタポリシーが設定されている Citrix サーバにインストールされている発行済みのアプリケーションを起動すると、ポリシーがサーバ上で実施されるまで、かなり時間がかかる場合があります。この間は、iPrint 機能をアプリケーションに使用できません。

3.7 Windows 共有ロケーションにユーザプロファイルを格納しているローミングプロファイルポリシーの、Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows 7 デバイス上のユーザへの割り当て

Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows 7 デバイス上のユーザにローミングプロファイルポリシーを割り当てた場合、ユーザプロファイルが Windows 共有ロケーションに格納されていると、ポリシーは失敗します。このため、ユーザプロファイルのレジストリハイブには、他のデバイスにプロファイルを読み込む許可がありません。詳細については、[Microsoft TechNet Web サイト \(http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc766489.aspx\)](http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc766489.aspx) を参照してください。

共有された場所にデフォルトのプロファイルがすでに存在する場合は、**ステップ 3** から始めてください。デフォルトのプロファイルがまだ存在しない場合は、**ステップ 1** から始めてください。

Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows 7 デバイス上のユーザにローミングプロファイルポリシーを割り当てる前に、次の操作を行ってください。

- 1 共有された場所にデフォルトのプロファイルフォルダを作成します。
デフォルトのプロファイルフォルダの作成に関する詳細については、[51 ページのセクション 3.7.1 「共有された場所でデフォルトのプロファイルフォルダを作成」](#) を参照してください。
- 2 Windows Vista デバイス、Windows 2008 デバイス、または Windows 7 デバイスのデフォルトのプロファイルを、共有された場所にあるデフォルトのプロファイルフォルダにコピーします。
共有された場所にデフォルトのプロファイルのコピーに関する詳細については、[51 ページのセクション 3.7.2 「デフォルトのプロファイル Windows Vista デバイス、Windows 2008 デバイス、または Windows 7 デバイスから共有された場所のデフォルトのプロファイルフォルダにコピー」](#) を参照してください。
- 3 デフォルトのプロファイルのレジストリハイブ許可を設定します。
レジストリハイブ許可の設定の詳細については、[51 ページのセクション 3.7.3 「デフォルトのプロファイルレジストリハイブの許可を設定」](#) を参照してください。
- 4 デフォルトのプロファイルをユーザフォルダにコピーします。
デフォルトのプロファイルをユーザフォルダにコピーに関する詳細については、[52 ページのセクション 3.7.4 「ユーザフォルダへのデフォルトプロファイルのコピー」](#) を参照してください。

3.7.1 共有された場所でデフォルトのプロファイルフォルダを作成

ユーザプロファイルを格納する場所に応じて、共有された場所にデフォルトのプロファイルフォルダを作成します。次に例を示します。

- ◆ ユーザのホームディレクトリにユーザプロファイルを保存：`\\DNS_name_of_Netware_server\sys\profiles\DefaultProfile\Windows NT 6.1 Workstation Profile.V2`
- ◆ ユーザプロファイルのパス：`\\DNS_name_of_file_server\profiles\DefaultProfile.V2`

3.7.2 デフォルトのプロファイルを Windows Vista デバイス、Windows 2008 デバイス、または Windows 7 デバイスから共有された場所のデフォルトのプロファイルフォルダにコピー

デフォルトのプロファイルとしてコピーするユーザプロファイルがすでにデバイスに存在することを確認します。必要なプロファイルが利用可能でない場合は、新しいユーザアカウントを作成し、その新しいアカウント情報でデバイスにログインしてプロファイルを作成します。

共有された場所のデフォルトのプロファイルフォルダにデフォルトのプロファイルをコピーするには、次の手順に従います。

- 1 管理者としてデバイスにログインします。
- 2 [コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [システムの詳細設定] の順にクリックします。
- 3 [ユーザプロファイル] セクションで [設定] をクリックします。
- 4 デバイス上のプロファイルを選択してデフォルトのプロファイルとして保存します。
- 5 [コピー先] をクリックします。
- 6 [51 ページのセクション 3.7.1 「共有された場所でデフォルトのプロファイルフォルダを作成」](#) で作成したデフォルトのプロファイルフォルダを参照して選択します。
- 7 [使用を許可するユーザ/グループ] セクションの [変更] をクリックします。
- 8 許可を提供するために [Enter the object name to select(選択するオブジェクト名を入力してください)] オプションの [Everyone] を指定し、[OK] をクリックします。
- 9 [OK] をクリックして共有された場所にプロファイルをコピーし、[OK] をクリックします。
- 10 [OK] をクリックします。

3.7.3 デフォルトのプロファイルレジストリハイブの許可を設定

- 1 共有された場所で、regedit を実行し、レジストリエディタを開きます。
共有された場所が Netware® または Linux デバイス上にある場合は、Windows デバイスから場所をマッピングし、Windows デバイス上でレジストリエディタを開きます。
- 2 HKEY_USERS を選択し、[ファイル] > [ハイブの読み込み] の順にクリックします。
- 3 [51 ページのセクション 3.7.1 「共有された場所でデフォルトのプロファイルフォルダを作成」](#) で作成されたデフォルトのプロファイルフォルダから NTUSER.DAT ファイルを開きます。

NTUSER.DAT ファイルは非表示になっている場合があります。ファイルを表示にするには、次の手順に従います。

1. Windows エクスプローラでデフォルトのプロファイルフォルダを開きます。
2. [ツール] > [フォルダオプション] [表示] の順にクリックします。
3. [Hide protected operating system files(保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない)] を選択解除します。
- 4 [Load Hive(ハイブの読み込み)] ダイアログボックスで、ハイブのキー名を指定します。たとえば、「Vista」の場合を考えてみます。
- 5 Vista ハイブを右クリックし、[Permissions(許可)] をクリックします。
- 6 次のグループまたはユーザ名がフル制御の許可を持っていることを確認します。
 - ◆ 管理者
 - ◆ SYSTEM
 - ◆ ユーザ
- 7 [詳細] をクリックします。
- 8 [Replace permission entries on all child objects with entries shown here that apply to child objects(すべての子オブジェクトにある許可エントリを、子オブジェクトに適用する、ここに表示されているエントリで置き換える)] オプションを選択し、[OK] をクリックして [はい] を選択します。
- 9 [OK] をクリックします。
- 10 ハイブを確実にアンロードしてください。ハイブをアンロードするには、作成した Vista レジストリハイブを選択し、> [ファイル] > [ハイブのアンロード] の順にクリックします。

3.7.4 ユーザフォルダへのデフォルトプロファイルのコピー

ユーザにローミングプロファイルポリシーを割り当てる前にユーザフォルダにデフォルトのプロファイルのコピーしてください。保存されたユーザプロファイルに応じて、次のフォルダを使用します。

- ◆ ユーザのホームディレクトリにユーザプロファイルを保存： \\DNS_name_of_Netware_machine\sys\profiles\Username\Windows NT 6.1 Workstation Profile.V2
- ◆ ユーザプロファイルのパス： \\DNS_name_of_file_server\profiles\Username.V2

3.8 異なる言語を実行するデバイスへのローカルファイル権限ポリシーの割り当て

- 1 それぞれの言語ごとに別のローカルファイル権限ポリシーを作成します。ポリシー作成の詳細については、[23 ページのセクション 2.3 「ローカルファイル権利ポリシー」](#)を参照してください。
- 2 各ポリシーにフィルタを追加します。
 - 2a ポリシーをクリックした後、[要件] をクリックします。
 - 2b [フィルタの追加] をクリックし、[レジストリキーの値] 条件を選択してから、次を指定します。

キー:

\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\WindowsNT\CurrentVersion\WOW\boot.description

値: language.dll

比較演算子 := (文字列型)

[値のデータ]: 言語

たとえば、英語を使用しているデバイスでは、*language* は *is English (American)* となります。レジストリエディタを使用して言語の値のデータを判別できます。

2c [適用] をクリックします。

- 3 デバイスにポリシーを割り当てます。デバイスへのポリシー割り当ての詳細については、[47 ページのセクション 3.5 「デバイスへのポリシーの割り当て」](#) を参照してください。

または

ユーザにポリシーを割り当てます。ユーザへのポリシー割り当ての詳細については、[48 ページのセクション 3.6 「ユーザへのポリシーの割り当て」](#) を参照してください。

3.9 デバイスからのポリシーの適用解除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、適用を解除するポリシーをクリックします。
- 3 [関係] をクリックします。
- 4 [デバイス割り当て] パネルで、ポリシーの適用を解除するデバイスを選択します。
- 5 [削除] をクリックします。

Windows Server 2008 デバイスでは、ユーザがログアウトしても、そのユーザに関連付けられたグループポリシーユーザ設定が適用解除されません。

3.10 ユーザからのポリシーの適用解除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、適用を解除するポリシーをクリックします。
- 3 [関係] をクリックします。
- 4 [ユーザ割り当て] パネルで、ポリシーの適用を解除するユーザを選択します。
- 5 [削除] をクリックします。

ユーザに割り当てられているプリンタポリシーの適用を解除すると、ユーザのプリンタパーミッションがデバイスから削除されます。ただし、プリンタはデバイスで設定されたままです。

3.11 ポリシーのシステム要件の追加

[システム要件] パネルでは、割り当てられるポリシーについてデバイスが満たす必要がある特定の要件を定義できます。

フィルタを使用して、要件を定義します。フィルタは、ポリシーを適用するためにデバイスが満たす必要のある条件です。たとえば、フィルタを追加して、ポリシーを適用するためには 512 MB の RAM がデバイスに必要なように指定できます。また、別のフィルタを追加して、ハードドライブの容量が少なくとも 20 GB あるように指定することもできます。

ポリシーのシステム要件を作成するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 該当するポリシーの下線付きリンクをクリックして、ポリシーの概要ページを表示します。
- 3 [要件] タブをクリックします。
- 4 [フィルタの追加] をクリックして、ドロップダウンリストからフィルタ条件を選択し、フィールドに値を入力します。
フィルタを構築するには、使用できる条件と希望する結果を取得するためのフィルタの分類方法を知っておく必要があります。詳細については、[54 ページのセクション 3.11.1 「フィルタ条件」](#) および [58 ページのセクション 3.11.2 「フィルタロジック」](#) を参照してください。
- 5 (条件付き) フィルタとフィルタセットを追加します。
- 6 [適用] をクリックして、設定を保存します。

3.11.1 フィルタ条件

フィルタを作成する場合は、次の条件のいずれかを選択できます。

バンドルインストール済み: 特定のポリシーがインストールされているかどうかを決定します。バンドルを指定後に、使用して要件に設定できる 2 つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、要件を満たすために指定済みバンドルはすでにインストールされている必要があります。[いいえ] を選択する場合は、バンドルはインストールされていない必要があります。

接続済み: デバイスがネットワークに接続されているかどうかを決定します。使用して要件に設定できる 2 つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、要件を満たすためにデバイスはネットワークに接続されている必要があります。[いいえ] を選択する場合は、接続されていない必要があります。

接続速度: デバイスのネットワークへの接続速度を決定します。使用して要件を設定する条件には、オペレータおよび値があります。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。可能な値は、毎秒ビット ([bps])、毎秒キロビット ([Kbps])、毎秒メガビット ([Mbps])、および毎秒ギガビット ([Gbps]) です。たとえば、条件を ≥ 100 Mbps に設定する場合は、要件を満たすために接続速度は秒ごとに 100 メガビット以上である必要があります。

ディスク空き容量: デバイスのディスク空き容量が決定されます。使用して要件を設定する条件には、ディスク指定、オペレータ、および値があります。ディスク指定は、ローカルドライブマップである必要があります (たとえば c: または d:)。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) で

す。可能な値は、バイト ([バイト])、キロバイト ([KB])、メガバイト ([MB])、およびギガバイト ([GB]) です。たとえば、条件を `c: >= 80 MB` に設定する場合は、要件を満たすためにディスク空き容量は 80 メガバイト以上である必要があります。

ディスク容量合計: デバイスのディスク容量合計が決定されます。使用して要件を設定する条件には、ディスク指定、オペレータ、および値があります。ディスク指定は、ローカルドライブマップである必要があります (たとえば `c:` または `d:`)。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。可能な値は、バイト ([バイト])、キロバイト ([KB])、メガバイト ([MB])、およびギガバイト ([GB]) です。たとえば、条件を `c: >= 40 GB` に設定する場合は、要件を満たすためにディスク容量合計は 40 ギガバイト以上である必要があります。

使用済みディスク容量: デバイスの使用済みディスク容量が決定されます。使用して要件を設定する条件には、ディスク指定、オペレータ、および値があります。ディスク指定は、ローカルドライブマップである必要があります (たとえば `c:` または `d:`)。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。可能な値は、バイト ([バイト])、キロバイト ([KB])、メガバイト ([MB])、およびギガバイト ([GB]) です。たとえば、条件を `c: <= 10 GB` に設定する場合は、要件を満たすために使用済みディスク容量は 10 ギガバイト以下である必要があります。

環境変数あり: 特定の環境変数がデバイスにあるかどうかを決定します。環境変数を指定後に、使用して要件に設定できる 2 つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、要件を満たすために環境変数はデバイスにある必要があります。[いいえ] を選択する場合は、存在しない必要があります。

環境変数値: 環境変数値がデバイスにあるかどうかを決定します。使用して要件を設定する条件には、環境変数、オペレータ、および変数値があります。環境変数は、環境変数にサポートされるオペレーティングシステムならどれでも可能です。可能なオペレータは、[次と等しい]、[次と等しくない]、[含む]、[含まない] です。可能な変数値は、環境変数によって決定されます。たとえば、条件を `Path contains c:\windows\system32` に設定する場合は、要件を満たすために `Path` 環境変数には `c:\windows\system32` パスが含まれる必要があります。

ファイルの日付: ファイルの日付を決定します。使用して要件を設定する条件には、ファイル名、オペレータ、および日付があります。ファイル名は、オペレーティングシステムによってサポートされるファイル名ならどれでも可能です。可能なオペレータは、[オン]、[以降]、[>= 以降]、[以前]、および [<= 以前] です。可能な日付は、あらゆる有効日付です。たとえば、条件を `app1.msi on or after 6/15/07` に設定する場合は、要件を満たすために `app1.msi` ファイルは 6/15/2007 の日付以降である必要があります。

ファイルが存在します: ファイルが存在するかどうかを判断します。ファイル名を指定後に、使用して要件に設定できる 2 つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、要件を満たすために指定済みのファイルが存在する必要があります。[いいえ] を選択する場合は、ファイルは存在しません。

ファイルサイズ: ファイルのサイズを決定します。使用して要件を設定する条件には、ファイル名、オペレータ、およびサイズがあります。ファイル名は、オペレーティングシステムによってサポートされるファイル名ならどれでも可能です。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。可能なサイズは、バイト ([バイト])、キロバイト ([KB])、メガバイト ([MB])、

およびギガバイト ([GB]) で指定されます。たとえば、条件を doc1.pdf <= 3 MB に設定する場合は、要件を満たすために doc1.pdf ファイルは 3 メガバイト以下である必要があります。

ファイルバージョン: ファイルのバージョンを決定します。要件を設定するのに使用する条件には、ファイル名、オペレータ、およびバージョンがあります。ファイル名は、オペレーティングシステムによってサポートされるファイル名ならどれでも可能です。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。

ファイルのバージョン番号には、メジャー、マイナー、リビジョン、ビルドの 4 つのコンポーネントがあることに注意してください。たとえば、calc.exe のファイルバージョンは 5.1.2600.0 のようになります。それぞれのコンポーネントは独立して扱われます。このため、設定したシステム要件から予期した結果が得られないことがあります。4 つのコンポーネントで指定しないものがあれば、ワイルドカードと見なされます。

たとえば、条件を calc.exe <= 5 に設定すると、バージョン番号の最初のコンポーネント (メジャー) だけを指定していることとなります。この結果、5.0.5、5.1、および 5.1.1.1 のバージョンも条件に一致します。

ただし、それぞれのコンポーネントは独立しているため、条件を calc.exe <= 5.1 に設定した場合は、条件を満たす calc.exe ファイルはバージョン 5.1 以下となります。

IP セグメント: デバイスの IP アドレスが決定されます。IP セグメント名を指定後に、使用して要件に設定できる 2 つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、デバイスの IP アドレスが IP セグメントを満たす必要があります。[いいえ] を選択する場合は、IP アドレスは IP セグメントを満たさない必要があります。

メモリ: デバイスにあるメモリ量を決定します。使用して要件を設定する条件には、オペレータおよびメモリ量があります。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。メモリ量は、メガバイト単位 ([MB]) およびギガバイト単位 ([GB]) で指定されます。たとえば、条件を >= 2 GB に設定する場合は、要件を満たすためにデバイスには少なくとも 2 ギガバイトのメモリがある必要があります。

Novell Client 32 接続使用: デバイスが Novell Client™ をネットワーク接続に使用しているかどうかを決定します。使用して要件に設定できる 2 つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、要件を満たすためにデバイスで Novell Client が使用されている必要があります。[いいえ] を選択する場合は、Novell Client を使用していない必要があります。

オペレーティングシステム - Windows: デバイス上で実行されている、アーキテクチャ、サービスパックレベル、タイプ、および Windows のバージョンが決定されます。使用して要件を設定する条件には、プロパティ、オペレータ、およびプロパティ値があります。考えられるプロパティには、[プロパティ]、[サービスパック]、[タイプ]、および [バージョン] です。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。プロパティ値は、プロパティによって異なります。たとえば、条件を architecture = 32 に設定する場合は、デバイスの Windows* オペレーティングシステムは要件を満たすために 32 ビットである必要があります。

注: オペレーティングシステムのバージョン番号には、メジャー、マイナー、リビジョン、ビルドの4つのコンポーネントがあります。たとえば、Windows 2000 SP4 リリースの番号は 5.0.2159.262144 で、それぞれのコンポーネントは独立して処理されます。このため、設定したシステム要件から予期した結果が得られないことがあります。

たとえば、最初のフィールドに [オペレーティングシステム - Windows]、2 番目のフィールドに [バージョン]、3 番目のフィールドに [>]、最後のフィールドに [5.0 - Windows 2000 バージョン] と指定した場合、バージョン番号の最初の2つのコンポーネント、メジャー (Windows) とマイナー (5.0) のみを指定したことになります。このため、要件が True と評価されるには、OS は少なくとも 5.1 (Windows XP) である必要があります。Windows 2003 はバージョン 5.0 なので、「> 5.2」と指定しても true と評価されます。

ただし、各コンポーネントは依存しないため、バージョンを >5.0 と指定すると、Windows 2000 SP4 は false と評価されます。これは、実際のバージョン番号が 5.0.2159.262144 であるためです。5.0.0 と入力すると、実際のリビジョンコンポーネントが 0 より大きいいため、要件が true と評価されます。

ドロップダウンリストから OS バージョンを選択すると、メジャーおよびマイナーコンポーネントに値が入力されます。リビジョンおよびビルドコンポーネントは手動で入力する必要があります。

プライマリユーザのログイン: デバイスのプライマリユーザがログインしているかどうかを決定します。使用して要件に設定できる2つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、要件を満たすためにはプライマリユーザがログインしている必要があります。[いいえ] を選択する場合は、ユーザはログインしていません。

プロセッサファミリ: デバイスのプロセッサタイプを決定します。使用して要件を設定する条件には、オペレータおよびプロセッサファミリがあります。可能な演算子は、次と等しい ([=]) および次と等しくない ([<>]) です。可能なプロセッサファミリは、[Pentium]、[Pentium Pro]、[Pentium II]、[Pentium III]、[Pentium 4]、[Pentium M]、[WinChip]、[Duron]、[BrandID]、[Celeron]、および [Celeron M] です。たとえば、条件を < Celeron に設定する場合は、デバイスのプロセッサは、要件を満たすためには Celeron* 以外のプロセッサファミリが可能です。

プロセッサ速度: デバイスのプロセッサ速度を決定します。使用して要件を設定する条件には、オペレータおよびプロセッサ速度があります。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次と等しい ([>=])、より小さい ([<])、およびより小さいまたは次と等しい ([<=]) です。可能なプロセッサの速度は、ヘルツ ([Hz])、キロヘルツ ([KHz])、メガヘルツ ([MHz])、およびギガヘルツ ([GHz]) です。たとえば、条件を >= 2 GHz に設定する場合は、要件を満たすためにデバイスの速度は少なくとも 2 ギガヘルツである必要があります。

レジストリキーの存在: レジストリキーが存在するかどうかを決定します。キー名を指定後に、使用して要件に設定できる2つの条件は、[はい] および [いいえ] です。[はい] を選択する場合は、要件を満たすために指定済みのキーが存在する必要があります。[いいえ] を選択する場合は、キーは存在しません。

レジストリキー値: レジストリキー値がデバイスに存在するかどうかを決定します。要件に設定して使用する条件には、キー名、値名、オペレータ、値タイプ、値データがあります。キー名と値名は、確認するキー値を識別する必要があります。可能な演算子は、次と等しい ([=])、次と等しくない ([<>])、より大きい ([>])、より大きいまたは次

と等しい ($[>=]$)、より小さい ($[<]$)、およびより小さいまたは次と等しい ($[<=]$) です。可能な値タイプは、`[INT_TYPE]` および `[STR_TYPE]` です。可能な値データは、キー、値名、および値タイプによって決定されます。

レジストリキーおよび値あり：レジストリキーおよび値が存在するかどうかを決定します。キー名および値を指定後に、使用して要件に設定できる2つの条件は、`[はい]` および `[いいえ]` です。`[はい]` を選択する場合は、要件を満たすために指定済みのキーおよび値が存在する必要があります。`[いいえ]` を選択する場合は、キーおよび値は存在しません。

サービスが存在します：サービスが存在するかどうかを判断します。サービス名を指定後に、使用して要件に設定できる2つの条件は、`[はい]` および `[いいえ]` です。`[はい]` を選択する場合は、要件を満たすためにサービスが存在する必要があります。`[いいえ]` を選択する場合は、サービスは存在しません。

指定デバイス：デバイスが指定済みデバイスであるかどうかを決定します。デバイスを指定後に、使用して要件に設定できる2つの条件は、`[はい]` および `[いいえ]` です。`[はい]` を選択する場合は、要件を満たすためにデバイスは指定済みデバイスリストに含まれている必要があります(包括リスト)。`[いいえ]` を選択する場合は、デバイスはリストに含まれていない必要があります(排他リスト)。

3.11.2 フィルタロジック

1つまたは複数のフィルタを使用して、ポリシーをデバイスに割り当てるべきかどうかを決定できます。ポリシーをデバイスに適用するには、デバイスがフィルタリスト全体と一致する必要があります(下で説明されている論理オペレータによって決定されます)。

使用するフィルタ数には技術的な制限はありませんが、次のように実用上の制限があります。

- わかりやすいフィルタ構造の設計
- フィルタが競合しないようなフィルタの分類

フィルタ、フィルタセット、および論理演算子

フィルタを個別に追加またはフィルタをセットで追加できます。*And* または *OR* のどちらかの論理オペレータを使用して、フィルタとフィルタセットのどちらかを結合します。デフォルトでは、フィルタは *OR* で結合され(`[次の項目を使用してフィルタを結合]` フィールドで決定する場合)、フィルタセットは *AND* で結合されます。デフォルトを変更して、*AND* を使用してフィルタを結合することもできます。この場合は、自動的にフィルタセットは *OR* で結合されます。つまり、個別フィルタ(セット内)を結合する論理オペレータは、フィルタセットの間の結合に使用するオペレータとは逆になります。

これらの論理オペレータ作業方法は簡単に表示できます。`[フィルタの追加]` と `[フィルタセットの追加]` のオプションをそれぞれ数回クリックしてから、`[次の項目を使用してフィルタを結合]` フィールドで *AND* および *OR* を切り換えて、オペレータの変更方法を表示します。

フィルタとフィルタセットを構築する場合には、代数的な表記法の挿入語句に関して考えることができます。この場合、フィルタは挿入句内に含まれ、セットは挿入句のグループの連続に分けられます。論理演算子 (*AND* および *OR*) は、括弧内のフィルタを分け、演算子は挿入語句を分けるのに使用されます。

たとえば、「(u AND v AND w) OR (x AND y AND z)」は「uvw または xyz のどちらかに一致する」という意味です。フィルタリストでは、このようになります：

```
u AND
v AND
w
OR
x AND
y AND
z
```

ネストされたフィルタおよびフィルタセット

フィルタおよびフィルタセットはネストできません。連続して入力のみを行うことができ、デバイスに一致する最初のフィルタまたはフィルタセットを使用します。したがって、リストされた順序は問題ではありません。単純に一致するものを探し、ポリシーをデバイスに適用します。

3.12 ポリシーの無効化

ZENworks Configuration Management で作成したポリシーは、デフォルトで、有効になります。管理者はポリシーを無効にできます。ポリシーを無効にすると、このポリシーは適用されているどのデバイスおよびユーザでも施行を考慮されなくなります。

ポリシーを無効にする

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 無効にするポリシー (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [ポリシーの無効化] の順にクリックします。

[ポリシー] リストにあるポリシーの [使用可能] の状態が [いいえ] に変更されません。

いくつかの管理対象デバイスおよびユーザにすでに施行されたポリシーを無効にすると、それらのデバイスから削除されます。新しいデバイスとユーザには施行されません。

3.13 無効化したポリシーの有効化

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 有効にするポリシー (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [ポリシーの有効化] の順にクリックします。

[ポリシー] リストにあるポリシーの [使用可能] 列の状態が [はい] に変更されません。

3.14 ポリシーをコンテンツサーバにコピーする

デフォルトでは、ポリシーは各コンテンツサーバにコピーされます。特定のコンテンツサーバをホストとして指定する場合は、ポリシーはそのコンテンツサーバでのみホスティングされます。これは、すべてのコンテンツサーバにはコピーされません。選択したポリシーを、管理ゾーンに追加される新しいコンテンツサーバ (ZENworks サーバとサテライトサーバ) に複製するかどうかも指定できます。


コンテンツサーバを指定するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [バンドル] リストで、ポリシー (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [コンテンツサーバの指定] をクリックして [新しいコンテンツ複製ルール] ページを表示します。

コンテンツの指定

🔍 ステップ 1: 新規サーバコンテンツリプリケーションルール

システムに追加された新しいサーバがこのウィザードで選択されたコンテンツを複製するかどうかを選択します。

 **警告:** このウィザードで選択されたコンテンツとサーバ間で以前に設定されたコンテンツリプリケーション関係は失われます。

選択したコンテンツについて、システムに追加される新しいサーバ用にデフォルトのリプリケーション動作を選択してください:

新規 **プライマリ** サーバ:

このコンテンツを含める
 このコンテンツを除外する

新規 **サテライト** サーバ:

このコンテンツを含める
 このコンテンツを除外する

- 4 システムに追加された新しいサーバに対するデフォルトの複製動作を指定します。
 - ◆ **新しいプライマリサーバは次を実行します。**システムに追加する新しい ZENworks Primary Server に対してデフォルトの複製動作を指定します。
 - ◆ 次のコンテンツを含めます。後で作成する任意のサーバにコンテンツを複製します。
 - ◆ 次のコンテンツを除外します。後で作成する任意のサーバに対する複製からコンテンツを除外します。
 - ◆ **新しいサテライトサーバでは以下が実行されます。**システムに追加する新しい ZENworks サテライトサーバに対してデフォルトの複製動作を指定します。
 - ◆ 次のコンテンツを含めます。後で作成する任意のサーバにコンテンツを複製します。
 - ◆ 次のコンテンツを除外します。後で作成する任意のサーバに対する複製からコンテンツを除外します。

コンテンツとサーバの間で事前に設定された任意のコンテンツの複製関係は、このウィザードの完了時に失われます。

- 5 [次へ] をクリックすると、[コンテンツサーバ / 配布ポイントの包含または除外] ページが表示されます。

コンテンツの指定

ステップ 2: プライマリサーバ/サテライトサーバを含めるまたは除外

使用可能なコンテンツサーバから、このウィザードで選択されたコンテンツを複製する必要のあるすべてのサーバを選択します。指定したコンテンツは、含まれるとしてマークされていないすべてのサーバから削除されます。

警告: このウィザードで選択されたコンテンツとサーバ間で以前に設定されたコンテンツレプリケーション関係は失われます。

除外プライマリサーバ	>	<	包括プライマリサーバ
デバイス/サーバ/krobinson2 デバイス/サーバ/Primary Server 1 デバイス/サーバ/Primary Server 2			
除外サテライトサーバ	>	<	包括サテライトサーバ
デバイス/サーバ/Satellite Server 1 デバイス/サーバ/Satellite Server 2 デバイス/サーバ/DP 1 デバイス/サーバ/DP 2			
<input data-bbox="971 821 1089 846" type="button" value=" << 戻る "/> <input data-bbox="1097 821 1232 846" type="button" value=" 次 >> "/> <input data-bbox="1240 821 1351 846" type="button" value=" キャンセル "/>			

このページでは、コンテンツがホストされるコンテンツサーバ (ZENworks サーバおよびサテライトサーバ) を指定します。

このウィザードを使用して作成するコンテンツとコンテンツサーバ間のリレーションシップは、既存のすべてのリレーションシップを上書きします。たとえば、ポリシー A が現在サーバ 1 とサーバ 2 でホストされており、このウィザードを使用してサーバ 1 でだけホストする場合、ポリシー A はサーバ 2 から除外され、次回スケジュールされているレプリケーションの際に削除されます。

5a [除外したプライマリサーバ] または [除外したサテライトサーバ] リストでは、必要なコンテンツサーバを選択します。

<Shift> または <Ctrl> を押しながらかlickすると、複数のバンドルまたはポリシーを選択できます。

サテライトサーバの ZENworks 親サーバに含めなければ、サテライトサーバにコンテンツを含めることはできません。サテライトサーバとその親の両方を選択する必要があります。

5b のボタンをクリックして、選択したコンテンツサーバを [含めたプライマリサーバ] または [含めたサテライトサーバ] リストに移動します。

6 [次へ] をクリックして [完了] ページを表示し、情報を確認して、必要に応じて [戻る] ボタンを使用して情報を修正します。

7 [完了] をクリックして、コンテンツとコンテンツサーバ間のリレーションシップを作成します。作成したリレーションシップに応じて、コンテンツは次にスケジュールされたコピーの際にコンテンツサーバに (またはコンテンツサーバから) コピーまたは削除されます。

3.15 ポリシーバージョンのカウントアップ

ポリシーのバージョン番号は、ポリシーが更新されるたびに増やす必要があります。これにより、最新のポリシーを管理対象デバイスに適用することができます。

3.15.1 [アクション] メニューの使用

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 バージョンをカウントアップするポリシー (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [バージョンのカウントアップ] の順をクリックします。
- 4 [バージョンのカウントアップの確認] ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。


3.15.2 ポリシーの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、[名前] カラムのポリシーの下線付きリンクをクリックすると [概要] ページが表示されます。
- 3 [バージョンをカウントアップ] をクリックします。
- 4 [バージョンのカウントアップの確認] ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。

3.16 管理対象デバイスにあるポリシーの状態の確認


ZENworks Adaptive Agent は、管理者が定義するポリシーを適用します。ポリシーは、ハードウェアとソフトウェアの設定範囲を制御するルールです。たとえば、管理者は、使用できる Adaptive Agent 機能、ブラウザで使用可能なブックマーク、アクセスできるプリンタ、およびセキュリティとシステム設定を制御するポリシーを作成できます。

管理者によって適用されたポリシーをユーザーが変更することはできませんが、ポリシーは、ユーザーに割り当てるか、ユーザーのデバイスに割り当てることができます。ユーザーに割り当てられたポリシーは、ユーザー割り当てポリシーと呼ばれ、デバイスに割り当てられたポリシーは、デバイス割り当てポリシーと呼ばれます。

ZENworks Adaptive Agent は、ユーザーディレクトリ (Microsoft* Active Directory* または Novell eDirectory™) にログインしている場合にのみ、ユーザー割り当てポリシーを適用します。ログインしていない場合は、ZENworks Configuration Management ログイン画面でログインできます。これを実行するには、通知領域にある ZENworks アイコン  を右クリックし、[ログイン] をクリックします。

Adaptive Agent は、ログインしているかどうかにかかわらず常にデバイス割り当てポリシーを適用します。したがって、デバイス割り当てポリシーはデバイスのすべてのユーザーに適用されます。

ユーザーおよびデバイスに割り当てられたポリシーを削除するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある ZENworks アイコン  をダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[ポリシー] をクリックします。

3.17 Windows 7 デバイス、Windows Server 2008 デバイス、または Windows Server 2008 R2 デバイスでのポリシーの問題

- ◆ Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスから端末セッションを開始した場合は、Windows Server 2008 デバイスまたは Windows Server 2008 R2 デバイスの端末セッションでは、ローミングプロファイルポリシー（ホームディレクトリオプション付き）が実施されません。これは、Novell Client のログインダイアログボックスがデバイス上で表示されず、リモートデスクトップのログインだけがデバイスで実行されるからです。

Novell Client のログインダイアログボックスを表示するには、次の手順を実行します。

1. レジストリエディタを開きます。
 2. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Novell\Login に移動します。
 3. TSClientAutoAdminLogon という文字列を作成し、その値を 1 に設定します。
 4. DefaultLoginProfile という文字列を作成し、その値を Default に設定します。
 5. レジストリエディタを閉じます。
 6. Windows Vista デバイスまたは Windows 7 デバイスから、Windows Server 2008 R2 デバイスに対するリモートデスクトップセッションを開始し、Windows ユーザアカウント情報を指定します。
 7. [Novell Client] ウィンドウが表示されます。[キャンセル] をクリックします。
 8. 次の画面で、[Novell ログオン] をクリックして、Novell Client へのログインダイアログボックスを表示します。
- ◆ Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスから端末セッションを開始した場合は、Windows Server 2008 デバイスまたは Windows Server 2008 R2 デバイスの端末セッションでは、ダイナミックローカルユーザプロファイルポリシーは実施されません。これは、Novell Client のログインダイアログボックスがデバイス上で表示されず、リモートデスクトップのログインだけがデバイスで実行されるからです。
この問題の解決方法については、ZENworks Cool Solutions Community (<http://www.novell.com/communities/cool solutions/zenworks>) で、Windows Server 2008 R2 Remote Desktop Session Host の記事から「Using Dynamic Local User Policy(ダイナミックローカルユーザポリシーの使用)」を検索してください。
 - ◆ ローミングプロファイルのユーザが、Windows Server 2008 デバイスまたは Windows Server 2008 R2 デバイスにログインし、その後、ログアウトした場合、このユーザは、Windows 7 デバイス、または他の Windows Server 2008 デバイスや Windows Server 2008 R2 デバイスにログインできません。
 - ◆ ユーザプロファイルが Windows Server 2003 の共用の場所に保存されている場合は、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスでローミングプロファイルポリシーを実施することはできません。詳細は、トラブルシューティングシナリオ 88 ページの「ユーザプロファイルが Windows Server 2003 デバイス上の共有フォルダに保存されている場合は、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスでローミングプロファイルポリシーを実施できない」を参照してください。

3.18 事前定義されたレポートの参照

事前定義されたレポートを参照するには、ZENworks Reporting Server がインストールされている必要があります。ZENworks Reporting Server のインストール方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Reporting Server インストールガイド](#)』を参照してください。

ポリシーに定義済みレポートを表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 ZENworks Reporting Server の [レポート] パネルで、[ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックして ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 3 *Novell ZENworks Reports* フォルダ > *Predefined Reports* > *Bundles and Policies* フォルダの順にナビゲートします。
- 4 ポリシー用には、次の事前定義されたレポートが付属しています。
 - ◆ **デバイス別に割り当てられたバンドルおよびポリシー**：特定のデバイスに割り当てられているすべてのポリシーに関する情報を表示します。
 - ◆ **サーバ別コンテンツ**：選択したサーバのコンテンツ情報を表示します。コンテンツ名、コンテンツタイプ、レプリケーション状態、ディスク容量などの情報が含まれます。
 - ◆ **バンドルおよびポリシー別コンテンツ**：バンドルおよびポリシーのコンテンツ情報を表示します。コンテンツサーバ、コンテンツタイプ、レプリケーション状態、ディスク容量などの情報が含まれます。

レポートの作成と管理の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システムレポートングリファレンス](#)』マニュアルを参照してください。

ポリシーグループの管理

ポリシーグループを使用すると、ポリシーをグループ化して管理を容易にすることができ、ポリシーグループ内でのポリシーの割り当ておよびスケジューリングが簡単になります。

ZENworks® コントロールセンターまたは `zman` コマンドラインユーティリティを使用して、ポリシーグループを作成できます。このセクションでは、ZENworks コントロールセンターを使用してこの作業を実行する方法を説明します。`zman` コマンドラインユーティリティを使用する場合は、『ZENworks 10 Configuration Management コマンドラインユーティリティリファレンス』の「[ポリシーコマンド](#)」を参照してください。

- ◆ [65 ページのセクション 4.1 「ポリシーグループの作成」](#)
- ◆ [66 ページのセクション 4.2 「ポリシーグループのリネームまたは移動」](#)
- ◆ [67 ページのセクション 4.3 「ポリシーグループの削除」](#)
- ◆ [67 ページのセクション 4.4 「ポリシーグループのデバイスへの割り当て」](#)
- ◆ [67 ページのセクション 4.5 「ポリシーグループのユーザへの割り当て」](#)
- ◆ [68 ページのセクション 4.6 「ポリシーのグループへの追加」](#)

4.1 ポリシーグループの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[[ポリシー](#)] タブをクリックします。
- 2 [[新規](#)] > [[ポリシーグループ](#)] の順にクリックします。
- 3 次のフィールドに入力します：

グループ名：ポリシーグループの名前を入力します。名前は、同じフォルダにある他の項目（ポリシー、グループ、フォルダなど）の名前と異なる必要があります。入力した名前は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management [システム管理リファレンス](#)』の「[ZENworks コントロールセンターの命名規則](#)」を参照してください。

フォルダ：ポリシーを配置する ZENworks コントロールセンターフォルダの名前を入力するか、参照して選択します。デフォルトは /[ポリシー](#) ですが、さらにフォルダを追加してポリシーを整理できます。

別のフォルダにグループを作成する場合は、フォルダを参照して選択します。デフォルトでは、グループは現在のフォルダで作成されます。

説明：ポリシーグループのコンテンツの短い説明を入力します。この説明は、ZENworks コントロールセンターに表示されます。

- 4 [[次へ](#)] をクリックして [[グループメンバーの追加](#)] ページを表示し、グループのメンバーとするポリシーを指定します。

ポリシーはいくつでもグループに追加できます。別のポリシーグループをグループに追加することはできません。

- 4a [[追加](#)] をクリックして、[[メンバーの選択](#)] ダイアログボックスを表示します。
ポリシーをグループに追加しているため、[[メンバーの選択](#)] ダイアログボックスは [[ポリシー](#)] フォルダが表示された状態で開きます。

- 4b** グループに追加するポリシーを参照して選択します。手順は次のとおりです。
- 4b1** フォルダの隣にある **+** をクリックして、選択するポリシーが見つかるまでフォルダをナビゲートします。
探しているポリシーの名前がわかっている場合は、[項目名] ボックスを使用して、ポリシーを検索できます。
 - 4b2** [名前] カラムで下線付きのリンクをクリックして、ポリシーを選択すると、その名前が [選択済み] リストに表示されます。
 - 4b3** (オプション) **ステップ 4a** から **ステップ 4b** を繰り返して、[選択済み] リストに追加のポリシーを追加します。
 - 4b4** [OK] をクリックして、選択済みポリシーをグループに追加します。
- 5** [次へ] をクリックして [概要] ページを表示し、情報を確認して、必要に応じて [戻る] ボタンを使用して情報を修正します。
- 6** (オプション) [作成後に詳細を設定] オプションを選択して、グループの作成後にグループのプロパティページが表示されるようにします。その後、追加のポリシープロパティを設定できます。
- 7** [終了] をクリックすると、グループが作成されます。

バンドルグループのコンテンツをデバイスまたはユーザに配布する前に、[47 ページのセクション 3.5「デバイスへのポリシーの割り当て」](#) または [48 ページのセクション 3.6「ユーザへのポリシーの割り当て」](#) を進める必要があります。

4.2 ポリシーグループのリネームまたは移動

[ポリシー] ページの [編集] ドロップダウンリストを使用して既存のオブジェクトを編集します。[編集] ドロップダウンリストにアクセスするには、リストのオブジェクト名の隣のチェックボックスをクリックしてオブジェクトを選択する必要があります。

選択したオブジェクトのタイプに応じて、選択したオブジェクトの名前を変更、コピー、あるいは移動できます。たとえば、ポリシーオブジェクトを選択した場合は、ポリシーを名前変更、コピー、および移動できます。ポリシーグループオブジェクトを選択した場合は、ポリシーグループオブジェクトの名前変更または移動はできませんが、コピーはできません。オプションが非表示になっている場合、選択されたオブジェクトタイプに対してそのオプションは使用可能ではありません。

複数のオブジェクトに対しては実行できないアクションもあります。たとえば、複数のチェックボックスを選択した場合は、[リネーム] オプションを [編集] メニューで使用することはできません。

- 1** ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2** [ポリシー] リストで、ポリシーグループ名の隣のボックスを選択し、[編集] をクリックしてから、オプションをクリックします。

リネーム: [リネーム] をクリックして、ポリシーグループに新しい名前を付け、[OK] をクリックします。

移動: [移動] をクリックして、選択したオブジェクトの宛先フォルダを選択してから、[OK] をクリックします。

4.3 ポリシーグループの削除

ポリシーグループを削除しても、ポリシーは削除されません。また、ポリシーは、すでに適用されたデバイスから適用解除されることもありません。デバイスからポリシーを適用解除するには、ポリシーグループを削除する前にデバイスまたはユーザから各ポリシーの割り当てを削除します。


ユーザからポリシーを適用解除する詳細については、[53 ページのセクション 3.10「ユーザからのポリシーの適用解除」](#)を参照してください。

デバイスからポリシーを適用解除する詳細については、[53 ページのセクション 3.9「デバイスからのポリシーの適用解除」](#)を参照してください。

ポリシーグループを削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、ポリシーグループ (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [削除] をクリックします。


4.4 ポリシーグループのデバイスへの割り当て

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、ポリシーグループ (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [デバイスへの割り当て] をクリックします。
- 4 グループの割り当て先であるデバイス、デバイスグループ、およびデバイスフォルダを参照して選択します。手順は次のとおりです。
 - 4a フォルダ (たとえば、[ワークステーション] フォルダまたは [サーバ] フォルダ) の隣にある  をクリックし、選択したいデバイス、グループ、またはフォルダが見つかるまでフォルダ内をナビゲートします。

[ワークステーション] や [ワークステーショングループ] などの特定のアイテムを探す場合は、[項目のタイプ] リストを使用して、表示されるアイテムのタイプを制限できます。また、探している項目の名前が分かっている場合は、[項目名] ボックスを使用して、項目を検索できます。
 - 4b [名前] 列にある下線付きのリンクをクリックし、デバイス、グループ、またはフォルダを選択すると、その名前が [選択済み] リストボックスに表示されます。
 - 4c [OK] をクリックして、選択済みのデバイス、フォルダ、およびグループを [デバイス] リストに追加します。
- 5 [次へ] をクリックして [完了] ページを表示し、情報を確認して、必要に応じて [戻る] ボタンを使用して情報を修正します。
- 6 [終了] をクリックします。

4.5 ポリシーグループのユーザへの割り当て

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。

- 2 [ポリシー] リストで、ポリシーグループ (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [アクション] > [ユーザへの割り当て] をクリックします。
- 4 グループの割り当て先であるユーザ、ユーザグループ、およびユーザフォルダを参照して選択します。手順は次のとおりです。
 - 4a フォルダの隣にある  をクリックして、選択するユーザ、グループ、またはフォルダを見つけるまでフォルダを移動します。

[ユーザ] や [ユーザグループ] などの特定のアイテムを探す場合は、[項目タイプ] リストを使用して、表示されるアイテムのタイプを制限できます。また、探している項目の名前が分かっている場合は、[項目名] ボックスを使用して、項目を検索できます。
 - 4b [名前] 列にある下線付きのリンクをクリックし、ユーザ、グループ、またはフォルダを選択すると、その名前が [選択済み] リストボックスに表示されます。
 - 4c [OK] をクリックして、選択済みのデバイス、フォルダ、およびグループを [ユーザ] リストに追加します。
- 5 [次へ] をクリックして [完了] ページを表示し、情報を確認して、必要に応じて [戻る] ボタンを使用して情報を修正します。
- 6 [終了] をクリックします。

4.6 ポリシーのグループへの追加

詳細については、[46 ページのセクション 3.4 「グループへのポリシーの追加」](#) を参照してください。

フォルダの管理

フォルダは、組織的なオブジェクトです。フォルダを使用すると、ポリシーおよびポリシーグループを ZENworks® システムで管理できる階層に構造化できます。たとえば、ポリシーの各タイプごとのフォルダ (ブラウザブックマークポリシー、ダイナミックローカルユーザポリシーなど) が必要な場合があります。または、アプリケーションが部署固有である場合は、各部署ごとのフォルダ (経理部フォルダ、給料部フォルダなど) が必要な場合があります。

詳細情報については、次のセクションを参照してください。

- ◆ 69 ページのセクション 5.1 「フォルダの作成」
- ◆ 69 ページのセクション 5.2 「フォルダの名前変更または移動」
- ◆ 70 ページのセクション 5.3 「フォルダの削除」

5.1 フォルダの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [新規] > [フォルダ] の順にクリックします。
- 3 フォルダに対する固有の名前を入力します。このフィールドは必須です。

ZENworks コントロールセンター内でオブジェクト (フォルダ、ポリシー、ポリシーグループなど) に名前を付ける場合は、名前が命名規則に従うようにしてください。すべての文字がサポートされているわけではありません。命名規則の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks コントロールセンターの命名規則」を参照してください。

- 4 ZENworks コントロールセンターインタフェースでこのフォルダを含むフォルダの名前を入力するか参照して、フォルダを選択します。このフィールドは必須です。
- 5 フォルダのコンテンツの短い説明を入力します。
- 6 [OK] をクリックします。

5.2 フォルダの名前変更または移動

[ポリシー] ページの [編集] ドロップダウンリストを使用して既存のオブジェクトを編集します。[編集] ドロップダウンリストにアクセスするには、リストのオブジェクト名の隣のチェックボックスをクリックしてオブジェクトを選択する必要があります。

選択したオブジェクトのタイプに応じて、選択したオブジェクトの名前を変更、コピー、あるいは移動できます。たとえば、ポリシーオブジェクトを選択した場合は、ポリシーを名前変更、コピー、および移動できます。フォルダオブジェクトを選択した場合は、フォルダオブジェクトを名前変更あるいは移動できますが、コピーはできません。オプションが非表示になっている場合、選択されたオブジェクトタイプに対してそのオプションは使用可能ではありません。

複数のオブジェクトに対しては実行できないアクションもあります。たとえば、複数のチェックボックスを選択した場合は、[リネーム] オプションを [編集] メニューで使用することはできません。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、フォルダ名の隣のボックスを選択してから、[編集] をクリックします。
- 3 オプションを選択します。
 - ◆ **リネーム**: [リネーム] をクリックして、フォルダに新しい名前を付け、[OK] をクリックします。
 - ◆ **移動**: [移動] をクリックして、選択したオブジェクトの宛先フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

5.3 フォルダの削除

フォルダを削除すると、そのコンテンツ (ポリシー、ポリシーグループ、およびサブフォルダ) もすべて削除されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] タブをクリックします。
- 2 [ポリシー] リストで、フォルダ (複数可) の横のチェックボックスをオンにします。
- 3 [削除] をクリックします。

ポリシー管理のトラブルシューティング

A

次の各セクションでは、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management のポリシーの使用時に表示されることがあるエラーメッセージや発生することがある問題の詳細について説明します。

- ◆ 71 ページのセクション A.1 「ブラウザブックマークポリシーのエラー」
- ◆ 73 ページのセクション A.2 「ブラウザブックマークポリシーのトラブルシューティング」
- ◆ 73 ページのセクション A.3 「ダイナミックローカルユーザポリシーのエラー」
- ◆ 74 ページのセクション A.4 「ダイナミックローカルユーザーポリシーのトラブルシューティング」
- ◆ 76 ページのセクション A.5 「一般的なポリシーのトラブルシューティング」
- ◆ 78 ページのセクション A.6 「ローカルファイル権限ポリシーのエラー」
- ◆ 79 ページのセクション A.7 「ローカルファイル権限ポリシーのトラブルシューティング」
- ◆ 80 ページのセクション A.8 「プリンタポリシーのエラー」
- ◆ 83 ページのセクション A.9 「プリンタポリシーのトラブルシューティング」
- ◆ 87 ページのセクション A.10 「ローミングプロファイルポリシーのエラー」
- ◆ 87 ページのセクション A.11 「ローミングプロファイルポリシーのトラブルシューティング」
- ◆ 89 ページのセクション A.12 「SNMP ポリシーのエラー」
- ◆ 89 ページのセクション A.13 「Windows グループポリシーのエラー」
- ◆ 92 ページのセクション A.14 「Windows グループポリシーのトラブルシューティング」
- ◆ 97 ページのセクション A.15 「ZENworks Explorer の環境設定ポリシーのエラー」

A.1 ブラウザブックマークポリシーのエラー

- ◆ 72 ページの 「Internet Explorer によって許可されないフォルダであるため、ブックマークを追加するフォルダを作成できません」
- ◆ 72 ページの 「ブックマーク名が適切でないため、ブックマークを作成できません。Internet Explorer ではこのようなブックマークは許可されません。Internet Explorer では、このようなブックマークは許可されません」
- ◆ 72 ページの 「ブラウザブックマークポリシーを適用できません。詳細については、<http://www.novell.com/documentation> の ZENworks エラーメッセージオンラインマニュアルを参照してください」
- ◆ 72 ページの 「管理対象デバイスで、ユーザのお気に入りフォルダの中に空のフォルダを作成できません」
- ◆ 72 ページの 「ブラウザブックマークポリシーが Windows Vista の管理対象デバイスで失敗します」

Internet Explorer によって許可されないフォルダであるため、ブックマークを追加するフォルダを作成できません

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：Windows 管理対象デバイスの Internet Explorer では、!、*、/、\ などの特殊文字を含むブックマークフォルダ名を使用できません。

アクション：ポリシーの作成時に、!、*、/、\ などの特殊文字がブックマークフォルダ名に含まれないようにしてください。

ブックマーク名が適切でないため、ブックマークを作成できません。Internet Explorer ではこのようなブックマークは許可されません。Internet Explorer では、このようなブックマークは許可されません

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：Windows 管理対象デバイスの Internet Explorer では、!、*、/、\ などの特殊文字を含むブックマーク名を使用できません。

アクション：ポリシーの作成時に、!、*、/、\ などの特殊文字がブックマーク名に含まれないようにしてください。

ブラウザブックマークポリシーを適用できません。詳細については、<http://www.novell.com/documentation> の ZENworks エラーメッセージオンラインマニュアルを参照してください

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：ブラウザブックマークポリシーが正しく作成されたことを確認してください。詳細については、[17 ページのセクション 2.1 「ブラウザブックマークポリシー」](#) を参照してください。

アクション：問題が解決しない場合は、[Novell Support \(http://www.novell.com/support\)](http://www.novell.com/support) にお問い合わせください。

管理対象デバイスで、ユーザのお気に入りフォルダの中に空のフォルダを作成できません

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：なし。

ブラウザブックマークポリシーが Windows Vista の管理対象デバイスで失敗します

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：Windows Vista の管理対象デバイスにブラウザブックマークポリシーを割り当てると、次のエラーが表示されます。

The Favorites folder for the user was not found to operate on.

アクション：管理対象デバイスを更新します。

A.2 ブラウザブックマークポリシーのトラブルシューティング

- 73 ページの「ZENworks Adaptive Agent をアンインストールしても、ブラウザブックマークポリシーの設定がユーザのお気に入りから削除されない」
- 73 ページの「.json ファイル形式でエクスポートされたブックマークファイルがまだサポートされていない」

ZENworks Adaptive Agent をアンインストールしても、ブラウザブックマークポリシーの設定がユーザのお気に入りから削除されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：ブラウザブックマークポリシーがユーザまたは管理対象デバイスに割り当てられた場合、ZENworks Adaptive Agent がアンインストールされても、ブラウザブックマークポリシー設定はユーザのお気に入りから削除されません。

アクション：ユーザのお気に入りからブラウザブックマークポリシー設定を削除するには、ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする前に、デバイスまたはユーザからポリシーの適用を解除し、管理対象デバイスを更新します。

.json ファイル形式でエクスポートされたブックマークファイルがまだサポートされていない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：Mozilla Firefox 3.0 以上では、[ブックマーク] > [ブックマークの管理] > [インポートとバックアップ] > [バックアップ] の順にクリックしてブックマークをエクスポートすると、ブックマークは.json ファイルにエクスポートされます。ただし、.json ファイル形式はZENworks ではまだサポートされていません。

アクション：html ファイルにブックマークをエクスポートします。[ブックマーク] > [ブックマークの管理] > [インポートとバックアップ] > [HTML のエクスポート] の順にクリックして、ブックマークをエクスポートします。

A.3 ダイナミックローカルユーザポリシーのエラー

- 73 ページの「ポリシー policy_name が、包含 / 除外リスト計算で失敗しました。」
- 74 ページの「グループ group_name についての設定を適用中にエラーがありました。」
- 74 ページの「ファイル filename についての設定を適用中にエラーがありました。」
- 74 ページの「ポリシーデータが空のため、policy_name ポリシーを強制できません。」

ポリシー policy_name が、包含 / 除外リスト計算で失敗しました。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： このエラーは包含 / 除外ワークステーションまたはユーザリストが設定されており、ワークステーションまたはユーザが適格でなかった場合に発生します。

アクション： ポリシーに設定されている除外リストからそのユーザまたはデバイスを削除し、ポリシーのバージョンをカウントアップして、ポリシーの更新を管理対象デバイスに実行します。

グループ `group_name` についての設定を適用中にエラーがありました。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、[Novell Support \(http://www.novell.com/support\)](http://www.novell.com/support) にお問い合わせください。

ファイル `filename` についての設定を適用中にエラーがありました。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、[Novell Support \(http://www.novell.com/support\)](http://www.novell.com/support) にお問い合わせください。

ポリシーデータが空のため、`policy_name` ポリシーを強制できません。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因： ZENworks Adaptive Agent は、管理対象デバイスに設定するデータを受け取りませんでした。

アクション： ZENworks コントロールセンターでポリシーコンテンツを確認します。ダイナミックローカルユーザポリシーの詳細については、[19 ページのセクション 2.2 「ダイナミックローカルユーザポリシー」](#) を参照してください。

A.4 ダイナミックローカルユーザポリシーのトラブルシューティング

- ◆ [75 ページの「管理対象デバイスのユーザのグループメンバシップを更新できない」](#)
- ◆ [75 ページの「ダイナミックローカルユーザが管理対象デバイスにログオンできない」](#)

- ◆ 75 ページの「最初のログイン以降、DLU ユーザは、ポリシーで指定されたキャッシュ期間中に再びデバイスにログインしようとする、資格情報を入力するように求められる」
- ◆ 76 ページの「ネットワークから接続解除された管理対象デバイスからログアウトしたダイナミックローカルユーザが、そのデバイスに再ログインできない」

管理対象デバイスのユーザのグループメンバシップを更新できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：管理対象デバイスで、ダイナミックローカルユーザポリシーのユーザ設定に従ってユーザのメンバシップが更新されません。

考えられる原因： *DontUpdateGroupMemberships* レジストリキー

アクション：管理対象デバイスで、レジストリキー
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Novell\NWGINA\Dynamic Local
User\DontUpdateGroupMemberships を 0 に設定します。

ダイナミックローカルユーザが管理対象デバイスにログオンできない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：ユーザソースのダイナミックローカルユーザのパスワードがパスワード複雑化の要件を満たしていない場合、ユーザは管理対象デバイスにログオンできません。

考えられる原因：デバイスのグループポリシーのパスワードポリシー設定で、*[Password must meet complexity requirements(パスワード複雑化要件を満たす必要がある)]* が有効になっています (*[コンピュータの環境設定]* > *[Windows 設定]* > *[セキュリティ設定]* > *[Account Policies(アカウントポリシー)]* > *[パスワードポリシー]* の順に選択)。

アクション：次のいずれかの操作を行います。

- ◆ ユーザソースでユーザに指定されたパスワードが、パスワードを複雑化するための要件を満たしていることを確認します。パスワード複雑化要件については、グループポリシーのパスワードポリシー設定で *[Password must meet complexity requirements(パスワード複雑化要件を満たす必要がある)]* をダブルクリックします (*[コンピュータの環境設定]* > *[Windows 設定]* > *[セキュリティ設定]* > *[Account Policies(アカウントポリシー)]* > *[パスワードポリシー]* の順に選択)。
- ◆ 管理対象デバイスの *[Password must meet complexity requirements(パスワード複雑化要件を満たす必要がある)]* 設定を無効にします。

最初のログイン以降、DLU ユーザは、ポリシーで指定されたキャッシュ期間中に再びデバイスにログインしようとする、資格情報を入力するように求められる

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： *ダイナミックローカルユーザポリシー*で [次に指定されたアカウント情報を使用] と [一時的ユーザキャッシュの有効化] とが設定されている場合、最初のログイン以降、DLU ユーザは、ポリシーで指定されたキャッシュ期間中に再びデバイスにログインしようとすると、資格情報を入力するように求められます。

アクション： 次回以降のログインでユーザが資格情報を入力せずにデバイスにログインできるようにするには、ポリシーで [既存のユーザアカウントを管理する] オプションを有効にします。これにより、ZENworks エージェントがユーザに代わってパスワードを管理します。

ネットワークから接続解除された管理対象デバイスからログアウトしたダイナミックローカルユーザが、そのデバイスに再ログインできない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： [次に指定されたアカウント情報を使用]、[既存のユーザアカウントを管理する]、および [一時的ユーザキャッシュの有効化] の各オプションが有効になっているダイナミックローカルユーザポリシーがデバイスに割り当てられており、デバイスがネットワークから接続解除されたときにユーザがデバイスからログアウトした場合、そのユーザは、接続解除されたデバイスに再びログインすることはできません。

アクション： ポリシーがデバイスに割り当てられる前か、デバイスがネットワークから接続解除される前に、管理対象デバイスで次の手順を実行して、デバイスへのログインにユーザソースパスワードを使用します。

- 1 レジストリエディタを開きます。
- 2 \HKLM\SOFTWARE\Novell\NWGINA\Dynamic Local User\ に移動します。
- 3 EnableEDirPasswordForFA と呼ばれる DWORD を作成し、その値を 1 に設定します。

A.5 一般的なポリシーのトラブルシューティング

- ◆ 77 ページの「ユーザは、ZENworks アイコンを使用して ZENworks にログインした直後に、再度ログインするように求められる」
- ◆ 77 ページの「新しく追加されたユーザソースを、ZENworks コントロールセンターのその他すべての同時セッションで表示できない」
- ◆ 77 ページの「ZENworks Configuration Management の中で Wake-on-LAN ポリシーが利用できない」
- ◆ 78 ページの「zman pvst コマンドは、管理対象デバイスのポリシー割り当てと展開の正しいステータスを表示しないことがある」
- ◆ 78 ページの「DLU ポリシー、ローミングプロファイルポリシー、またはグループポリシーなどのポリシーの適用が管理対象デバイスで失敗する」
- ◆ 78 ページの「発行されているアプリケーションを閉じたり、Citrix サーバの共有デスクトップからログアウトしても、Citrix サーバでセッションが終了しない」

ユーザは、ZENworks アイコンを使用して ZENworks にログインした直後に、再度ログインするように求められる

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理。

説明： 次の条件が揃うと、正しい資格情報を入力したにもかかわらず、ZENworks ユーザはデバイスにログインした直後に再度ログインするように求められます。

- ◆ 他のZENworksユーザがデバイスにログインしてログアウトしたデスクトップログインの時間が、5～10分以内の場合に、ユーザがそのデバイスにログインした。
- ◆ ユーザに割り当てられているダイナミックローカルユーザポリシーまたは Windows グループポリシーで、*[After enforcement, force a re-login on the managed device, if necessary (施行後に、必要に応じて管理対象デバイスに再ログインを強制する)]* オプションが選択されている。

アクション： ポリシーを編集し、*[After enforcement, force a re-login on the managed device, if necessary (施行後に、必要に応じて管理対象デバイスに再ログインを強制する)]* を選択解除します。

新しく追加されたユーザソースを、ZENworks コントロールセンターのその他すべての同時セッションで表示できない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理

説明： ZENworks コントロールセンターが、同時に複数のユーザによって開かれ、その中の 1 ユーザによって新しいユーザソースが管理ゾーンに追加された場合は、新しく追加されたユーザソースは、ZENworks コントロールセンターのその他の開かれたセッションには反映されません。その結果、ポリシーが新しいユーザソースに割り当てられない可能性があります。

アクション： 新しいユーザソースにポリシーを割り当てるには、ZENworks コントロールセンターに再度ログインします。

ZENworks Configuration Management の中で Wake-on-LAN ポリシーが利用できない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理。

アクション： 次の手順を実行し、Wake-on-LAN ポリシーの機能を作成します。

1. ZENworks コントロールセンターで、アクションを持たない空のバンドルを作成します。
2. バンドルをクリックし、*[アクション] > [Assign Bundle to Device (バンドルのデバイスへの割り当て)]* の順をクリックし、*[次へ]* をクリックします。
3. *[Distribution Schedule (配布スケジュール)]* オプションを選択し、*[次へ]* をクリックします。
4. *[Wake-on-LAN]* オプションを選択し、*[次へ]* をクリックします。
5. *[終了]* をクリックします。

zman pvst コマンドは、管理対象デバイスのポリシー割り当てと展開の正しいステータスを表示しないことがある

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理

説明：ユーザまたはデバイスにポリシーを割り当て、デバイス上で zman pvst コマンドを実行した場合、ポリシーの割り当てステータスと全体の展開ステータスが正しく表示されないことがあります。

アクション：デバイスを更新します。

DLU ポリシー、ローミングプロファイルポリシー、またはグループポリシーなどのポリシーの適用が管理対象デバイスで失敗する

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理

考えられる原因：ユーザが末尾にスペースがある eDirectory ユーザアカウントで認証して管理対象デバイスにログインした場合は、DLU ポリシー、ローミングプロファイルポリシー、またはグループポリシーなどのポリシーは管理対象デバイスで適用されません。

アクション：eDirectory ユーザアカウントの末尾にスペースがないことを確認します。

発行されているアプリケーションを閉じたり、Citrix サーバの共有デスクトップからログアウトしても、Citrix サーバでセッションが終了しない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理

説明：発行されているアプリケーションを閉じたり、Citrix サーバの共有デスクトップからログアウトした後でも、ユーザはZENworks にログインしたままです。したがって、一部のポリシーがデバイスで実施されない場合があります。

アクション：次の手順をデバイス上で実行します。

- 1 レジストリエディタを開きます。
- 2 HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix\wfshell\TWI に移動します。
- 3 LogoffCheckSysModules の値を、ZCMUMHelper.exe から ZenUserDaemon.exe,ZCMUMHelper.exe に変更します。
- 4 デバイスをリブートします。

A.6 ローカルファイル権限ポリシーのエラー

- ◆ 79 ページの「ポリシー policy_name の適用中にファイル/フォルダ filename or folder_name が見つかりませんでした。」
- ◆ 79 ページの「ポリシーの適用を解除する際にエラーが発生しました。」
- ◆ 79 ページの「ポリシー「policy_name」を適用中にエラーが発生しました。」

ポリシー *policy_name* の適用中にファイル / フォルダ *filename or folder_name* が見つかりませんでした。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：このエラーは、ポリシーに設定されたファイルまたはフォルダが管理対象デバイスに見つからない場合に発生します。

アクション：管理対象デバイスで、次のことを実行します。

- 1 ファイルまたはフォルダが存在するかどうかおよび名前とパスが正しいかどうかを確認します。
- 2 既知の種類ファイルについて拡張子を表示するよう Windows Explorer が設定されていることを確認します。Windows Explorer で、[ツール] > [フォルダ オプション] の順にクリックします。[フォルダ オプション] ダイアログボックスが表示されます。[表示] タブをクリックし、[登録されている拡張子は表示しない] オプションがオフであることを確認します。

ポリシーの適用を解除する際にエラーが発生しました。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション：問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

ポリシー「*policy_name*」を適用中にエラーが発生しました。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション：問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

A.7 ローカルファイル権限ポリシーのトラブルシューティング

- 80 ページの「ローカルファイル権限ポリシーで設定されたユーザ権限はデバイスで有効ではない」

ローカルファイル権限ポリシーで設定されたユーザ権限はデバイスで有効ではない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：ローカルファイル権限ポリシーで設定されたユーザ権限は、ダイナミックローカルユーザポリシーで設定されたユーザ権限と競合することがあります。ダイナミックローカルユーザポリシーでユーザやグループに対して設定された許可は、ローカルファイル権限ポリシーで設定された許可よりも優先されます。

アクション：ローカルファイル権限ポリシーで設定されたユーザ権限がダイナミックローカルユーザポリシーで設定されたユーザ権限と競合していないことを確認します。

A.8 プリンタポリシーのエラー

- ◆ 80 ページの「printer_name 向けのプリンタドライバのインストールに失敗しました。提供されたドライバインストールファイルのタイプはサポートされていません。」
- ◆ 81 ページの「printer_name 向けのプリンタドライバのインストールに失敗しました。filename 向けのファイルの抽出に失敗しました。」
- ◆ 81 ページの「printer_name 向けのプリンタドライバのインストールに失敗しました。提供されたドライバ inf ファイルが適切な形式かどうか確認してください。」
- ◆ 81 ページの「管理対象デバイスの指定した場所から iPrint インストールファイルを取得できません。ファイルが指定した場所にあるかどうかを確認してください。」
- ◆ 81 ページの「コンテンツから iPrint クライアントインストーラを抽出できません。」
- ◆ 82 ページの「iPrint インストールファイルが不正です。setupipp.exe ファイルを解凍できません。setupipp.exe をルートに解凍する ZIP ファイルが予期されたものです。インストール用に言及されたファイルを確認してください。」
- ◆ 82 ページの「iPrint クライアントのインストールに失敗しました。提供された iPrint クライアントがサイレントインストールをサポートするかチェックしてください。」
- ◆ 82 ページの「smb プリンタ printer_name の追加に失敗しました。」
- ◆ 82 ページの「iPrint プリンタ printer_name の追加に失敗しました。」
- ◆ 82 ページの「iPrint ポリシーを実施できないという正しくないエラーメッセージがデバイス上で表示される」

printer_name 向けのプリンタドライバのインストールに失敗しました。提供されたドライバインストールファイルのタイプはサポートされていません。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：プリンタポリシーは .inf ドライバのみをサポートしています。

アクション：.inf タイプのドライバは、すべての従属ファイルと一緒に zip または tar し、ポリシーを使用してアップロードできます。自己解凍式の exe ファイルの場合は、一時的な場所に解凍して、.zip ファイルに圧縮してから、ポリシーを使用して配布します。

printer_name 向けのプリンタドライバのインストールに失敗しました。filename 向けのファイルの抽出に失敗しました。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因： 恐らくファイルが破損しているため、ポリシーはドライバーの zip または tar されたファイルを解凍できません。

アクション： .tar ファイルまたは .zip ファイルを手動で解凍して、ファイルが破損していないことを確認してから、その .tar ファイルまたは .zip ファイルをポリシーに組み込みます。

printer_name 向けのプリンタドライバのインストールに失敗しました。提供されたドライバ inf ファイルが適切な形式かどうか確認してください。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因： このエラーは、ドライバ .inf ファイルの形式が適切でないか、.inf ファイルにドライバのモデル名に関する指示が含まれていないために発生することがあります。

アクション： ドライバファイルを解凍し、プリンタポリシーに設定されたドライバのモデル名が .inf ファイルに含まれているかどうかを確認します。モデル名は、ファイルに含まれているモデル名と完全に一致する必要があります。

管理対象デバイスの指定した場所から iPrint インストールファイルを取得できません。ファイルが指定した場所にあるかどうかを確認してください。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因： iPrint インストーラが、管理対象デバイスに見つかりません。このエラーメッセージは、ファイルの場所がプリンタポリシーに正しく指定されていないか、ファイルが共有ネットワークの場所にあり、この場所がプリンタポリシーのハンドラモジュールから使用できないために発生することがあります。

アクション： ファイルが管理対象デバイスに存在すること、またはプリンタポリシーに直接関連付けられていることを確認します。

コンテンツから iPrint クライアントインストーラを抽出できません。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因： プリンタポリシーに添付された iPrint クライアントが管理対象デバイスで使用できません。このエラーメッセージは、作成直後にポリシーを適用したときに発生することがあります。

アクション： ポリシーの作成後に、5 分から 10 分待ってからポリシーを適用し、その後管理対象デバイスにログインします。

iPrint インストールファイルが不正です。setupipp.exe ファイルを解凍できません。setupipp.exe をルートに解凍する ZIP ファイルが予期されたものです。インストール用に言及されたファイルを確認してください。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：プリンタポリシーは、サイレントモードでありユーザ操作を必要としない iPrint インストールのみをサポートしています。したがって、nipp-s.exe または nipp.zip は使用できますが、nipp.exe は使用できません。

アクション：インストールに nipp.zip を使用する場合は、これを解凍して、インストールファイルが正しいかどうかおよび抽出されたファイルに setupipp.exe が含まれているかどうかを確認します。

iPrint クライアントのインストールに失敗しました。提供された iPrint クライアントがサイレントインストールをサポートするかチェックしてください。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：プリンタポリシーは、サイレントモードでありユーザ操作を必要としない iPrint インストールのみをサポートしています。したがって、nipp-s.exe または nipp.zip は使用できますが、nipp.exe は使用できません。

アクション：インストールに nipp.zip を使用する場合は、これを解凍して、インストールファイルが正しいかどうかおよび抽出されたファイルに setupipp.exe が含まれているかどうかを確認します。

smb プリンタ printer_name の追加に失敗しました。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：SMB プリンタ接続が無効。

アクション：Windows の追加ウィザード経由でプリンタを追加する UNC パスを使用して、ネットワークに問題がないことを確認します。

iPrint プリンタ printer_name の追加に失敗しました。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：iPrint URL が正しいかどうかを確認します。iPrint URL は、ipp://server-address/ipp/printer name という形式で指定する必要があります。

管理対象デバイスに iPrint クライアントがインストールされているかどうかを確認してください。クライアントがインストールされていない場合は、プリンタポリシーを通じて添付します。

iPrint ポリシーを実施できないという正しくないエラーメッセージがデバイス上で表示される

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： iPrint プリンタドライバのサイズとネットワークの接続性によっては、iPrint ポリシーが iPrint プリンタをデバイスにインストールするまで、かなり時間がかかる場合があります。そのようなシナリオでは、iPrint プリンタがデバイスに正常にインストールされても、iPrint ポリシーを実施できないという正しくないメッセージが管理対象デバイスで表示されます。

アクション： エラーメッセージを無視して、デバイスを更新します。

手動または自動による更新後に、ポリシーが正常に実施されたことを示す正しいメッセージがデバイスに表示されます。

A.9 プリンタポリシーのトラブルシューティング

- ◆ 83 ページの「プリンタポリシーを通じて、Windows 管理対象デバイスにプリンタドライバをインストールできません。」
- ◆ 84 ページの「Windows Vista SP1 デバイスにプリンタドライバをインストールできない」
- ◆ 84 ページの「サーバで iPrint プリンタドライバを変更しても管理対象デバイスのドライバが更新されない」
- ◆ 85 ページの「ポリシーの再実行時にプリンタドライバをインストールまたは更新できない」
- ◆ 85 ページの「Windows 2000 管理対象デバイスに iPrint プリンタをインストールできない」
- ◆ 85 ページの「Windows XP 管理対象デバイスに iPrint プリンタをインストールできない」
- ◆ 85 ページの「アンインストール時、以前に適用されていたプリンタポリシーがロールバックされない」
- ◆ 86 ページの「プリンタにサポートされているドライバがない場合、デバイスでの iPrint プリンタのインストールが失敗する」
- ◆ 86 ページの「ネットワークプリンタのインストールが Windows Server 2008 R2 デバイスで失敗する場合がある」
- ◆ 86 ページの「管理対象デバイスにインストールされたプリンタドライバに署名がない場合、そのデバイスにはプリンタポリシーを実施できない」
- ◆ 87 ページの「iPrint プリンタドライバがポリシーで設定されていない場合、プリンタポリシーによる管理対象デバイスへの iPrint プリンタのインストールが失敗することがある」

プリンタポリシーを通じて、Windows 管理対象デバイスにプリンタドライバをインストールできません。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因： プリンタモデル名は、Windows 管理対象デバイス上で、さまざまな方法で表現されます。たとえば、「HP LaserJet 8100 Series PCL6」プリンタモデルは、Windows 2000 では、「HP LaserJet 8100 Series PCL 6」と示されます。(PLC と 6 の間にスペースがあります。)

プリンタモデルは、プリンタポリシーの作成時に、手動で指定するか、事前定義されたリストから選択することができます。事前定義されたリストから選択した場合は、リストに定義されたモデル名に基づいてプリンタがインストールされます。このときのモデル名が Windows 管理対象デバイスにあるプリンタモデル名と異なる場合があります。たとえば、HP LaserJet 8100 Series PCL6 を選択した場合、プリンタドライバは、HP LaserJet 8100 Series PCL6 プリンタモデルが存在する管理対象デバイスにのみインストールされます。したがって、Windows 2000 管理対象デバイスにはドライバはインストールされません。

アクション：プリンタポリシーの作成時に、正しいプリンタモデル名を指定します。

Windows Vista SP1 デバイスにプリンタドライバをインストールできない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：プリンタドライバに複数の .inf ファイルが含まれている場合、ポリシードライバはどの .inf ファイルを使用すべきか分からないためドライバのインストールは失敗します。

アクション：プリンタドライバをインストールする際、ZIP ファイルでは有効な .inf ファイルだけ使用できるようになっていることを確認してください。たとえば、Vista 用に HP 4700 Color LaserJet プリンタドライバをインストールすると、ZIP ファイルには複数の .inf ファイルが含まれています。hpc4700c.inf 以外の、その他の .inf ファイルはすべて削除してください。HP 4700 Color LaserJet プリンタドライバをインストールするのに必要なのはこの .inf ファイルだけだからです。

サーバで iPrint プリンタドライバを変更しても管理対象デバイスのドライバが更新されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：iManager などのコンソールを介してサーバで iPrint プリンタドライバを更新しても、管理対象デバイスのドライバは更新されません。

アクション：iManager で iPrint ドライバを更新した後、次のステップを実行してデバイスのドライバを更新します。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[ポリシー] をクリックします。
- 2 ポリシーを選択してから、[アクション] > [ポリシーの無効化] > をクリックしてポリシーを無効にします。
- 3 [クイックタスク] > [すべてのデバイスの更新] の順にクリックします。
- 4 [アクション] > [ポリシーの有効化] をクリックしてポリシーを有効にします。
- 5 [クイックタスク] > [すべてのデバイスの更新] の順にクリックします。

ポリシーの再実行時にプリンタドライバをインストールまたは更新できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：ポリシーの最初の施行時に、プリンタポリシーによって、プリンタドライバがインストールされます。ポリシーの最初の施行後にドライバを変更する場合、ポリシーの後続の施行によって新しいドライバのインストールや更新は行われません。

アクション：新しいドライバを含む新しいプリンタポリシーを作成し、それを同じデバイスまたはユーザに割り当てます。

Windows 2000 管理対象デバイスに iPrint プリンタをインストールできない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：管理対象デバイスに iPrint プリンタをインストールするために設定されたプリンタポリシーが Windows 2000 管理対象デバイスにログインするユーザに割り当てられた場合、iPrint プリンタはデバイスにインストールされません。

アクション：デバイスにプリンタポリシーを割り当てます。

Windows XP 管理対象デバイスに iPrint プリンタをインストールできない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：管理対象デバイスに iPrint プリンタをインストールするために設定されたプリンタポリシーが、iPrint Client 4.x がインストールされた Windows XP デバイスにログインするユーザに割り当てられた場合、iPrint プリンタはデバイスにインストールされません。

アクション：次を実行します。

1 デバイスから iPrint Client 4.x をアンインストールします。

2 iPrint Client 5.x を [Novell ダウンロードサイト \(http://download.novell.com/index.jsp\)](http://download.novell.com/index.jsp) からダウンロードします。

3 管理対象デバイスに iPrint Client 5.x をインストールします。

iPrint Client のインストールの詳細については、[25 ページのセクション 2.4 「プリンタポリシー」のステップ 8](#) を参照してください。

アンインストール時、以前に適用されていたプリンタポリシーがロールバックされない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：ZENworks をアンインストールしても、以前に適用されていたプリンタポリシーはロールバックされません。

アクション：ZENworks をアンインストールする前に、ユーザまたはデバイスからプリンタポリシーの関連付けを解除し、ポリシーを適用解除します。

プリンタにサポートされているドライバがない場合、デバイスでの iPrint プリンタのインストールが失敗する

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：iPrint ポリシーで設定されたプリンタに、管理対象デバイスのオペレーティングシステムでサポートされていないドライバが割り当てられた場合は、プリンタのインストールが失敗します。

たとえば、Windows XP および Windows Vista のドライバを持つプリンタが iPrint ポリシーで設定され、そのポリシーが Windows 7 デバイスに割り当てられている場合、Windows 7 デバイスでのプリンタのインストールは失敗します。

アクション：iPrint ポリシーをデバイスに割り当てる前に、ポリシーで設定されたプリンタに割り当てられたドライバが、デバイスのオペレーティングシステムでサポートされていることを確認します。

ネットワークプリンタのインストールが Windows Server 2008 R2 デバイスで失敗する可能性がある

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：Windows Server 2008 R2 デバイス用にネットワークプリンタが設定されているプリンタポリシーを割り当てる場合、インターネット印刷クライアントがデバイスにインストールされていないと、プリンタのインストールが失敗する場合があります。

アクション：次の手順を実行して、デバイスにインターネット印刷クライアントをインストールします。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [Server Manager(サーバマネージャ)] の順にクリックします。
- 2 Server Manager(サーバマネージャ) ウィンドウで、[Features(機能)] > [Add Features(機能の追加)] の順にクリックします。
- 3 [Internet Printing Client(インターネット印刷クライアント)] を選択します。
- 4 [インストール] をクリックします。
- 5 デバイスを再起動します。

管理対象デバイスにインストールされたプリンタドライバに署名がない場合、そのデバイスにはプリンタポリシーを実施できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：デバイスにインストールされているプリンタドライバに、Microsoft によるデジタル署名がありません。

アクション：プリンタポリシーで、未署名ドライバの使用を有効にします。

- 1 デバイス上で、[マイコンピュータ] > [プロパティ] の順に右クリックします。

- 2 [システムプロパティ] ウィンドウで、[ハードウェア] > [ドライバ署名] の順にクリックします。
- 3 [無視- ソフトウェアをインストールし、承認を求めない] を選択します。

iPrint プリンタドライバがポリシーで設定されていない場合、プリンタポリシーによる管理対象デバイスへの iPrint プリンタのインストールが失敗することがある

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： iPrint プリンタドライバがポリシーで設定されていない場合は、iPrint ポリシーが iPrint プリンタを管理対象デバイスにインストールできないことがあります。iPrint プリンタがデバイスにインストールされると、iPrint ドライバが iPrint サーバから自動的にダウンロードされるので、プリンタポリシーの詳細ページの [プリンタドライバのインストール] パネルで iPrint プリンタドライバを追加しないでください。

アクション： ポリシーの編集によって、プリンタポリシーの詳細ページにある [プリンタドライバのインストール] パネルの [ドライバリスト] から iPrint プリンタを削除します。

A.10 ローミングプロファイルポリシーのエラー

- 87 ページの「ポリシーデータが空なため、ポリシー `policy_name` が正常に適用できませんでした。」

ポリシーデータが空なため、ポリシー `policy_name` が正常に適用できませんでした。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス*』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

A.11 ローミングプロファイルポリシーのトラブルシューティング

- 88 ページの「ユーザプロファイルが Windows Server 2003 デバイス上の共有フォルダに保存されている場合は、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスでローミングプロファイルポリシーを実施できない」

ユーザプロファイルが Windows Server 2003 デバイス上の共有フォルダに保存されている場合は、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスでローミングプロファイルポリシーを実施できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：ローミングプロファイルポリシーの割り当て前に Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスに一度もログインしていないユーザに、ローミングプロファイルポリシーが割り当てられた場合は、デバイスでのポリシーの実施が失敗します。これは、Windows Server 2003 デバイス上のユーザプロファイルを含む共有フォルダに十分なパーミッションが設定されていないためです。

アクション：Windows Server 2003 デバイスで、次の手順を実行します。

- 1 Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスにログインするためにユーザが指定するものと同じアカウント情報でローカルユーザアカウントを作成します。
たとえば、ユーザ名が user1 の場合、user1 のアカウント情報でローカルアカウントを作成します。
- 2 *username.v2* という名前のフォルダを作成します。
たとえば、user1.v2 というフォルダを作成します。
- 3 フォルダを右クリックし、次に、[プロパティ] をクリックします。
- 4 [共有] をクリックして、フォルダを共有します。
- 5 [パーミッション.] をクリックして、ユーザにフル制御パーミッションを付与し、[適用] をクリックし、最後に [OK] をクリックします。
- 6 [セキュリティ] をクリックします。
- 7 グループ名またはユーザ名のパネルで、[作成者/所有者] をクリックしてから、[詳細] をクリックします。
- 8 [高度なセキュリティ設定] ボックスで、[所有者] をクリックします。
- 9 [他のユーザまたはグループ] をクリックします。
- 10 [ユーザまたはグループの選択] ダイアログボックスで、[詳細] をクリックしてこのユーザをフォルダの現在の所有者として追加します。
- 11 [OK] をクリックします。
- 12 [作成者/所有者] にフル制御パーミッションを与えます。
- 13 [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

A.12 SNMP ポリシーのエラー

- ◆ 89 ページの「エラーが原因で、ポリシー `policy_name` が正常に適用できませんでした。」
- ◆ 89 ページの「ポリシーデータが空なため、ポリシー `policy_name` が正常に適用できませんでした。」

エラーが原因で、ポリシー `policy_name` が正常に適用できませんでした。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：ポリシーの設定中に内部エラーが発生した。

アクション：管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、`zmd-messages.log` ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション：問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

ポリシーデータが空なため、ポリシー `policy_name` が正常に適用できませんでした。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：エージェントが、管理対象デバイスに設定するデータを受け取りませんでした。

アクション：ZENworks コントロールセンターでポリシーコンテンツを確認します。

A.13 Windows グループポリシーのエラー

- ◆ 90 ページの「ポリシー `policy_name` を適用中にエラーが発生しました。詳細について、管理デバイスのログを参照してください。」
- ◆ 90 ページの「ポリシー `policy_name` が適用されませんでした。」
- ◆ 90 ページの「ポリシー `polycname` の中のセキュリティ設定が適用されませんでした。」
- ◆ 90 ページの「グループポリシーのセキュリティ設定を Windows XP 上でエクスポートしたり適用したりするために必要な Windows のホットフィックス「KB897327」が見つかりませんでした。コンピュータ設定のセキュリティ設定がエクスポート/適用できませんでした」
- ◆ 91 ページの「グループポリシー設定の適用を解除中にエラーが発生しました」
- ◆ 91 ページの「ユーザ `username` のログアウト時のグループポリシー設定のクリーンアップ中にエラーが発生しました。」
- ◆ 91 ページの「ポリシー `policy_name` のコンテンツにアクセス中にエラーが発生しました」
- ◆ 91 ページの「一部のセキュリティ設定を設定できませんでした。」

- ◆ 92 ページの「セキュリティ設定を操作するには、Windows XP のホットフィックス KB897327 が必要です」
- ◆ 92 ページの「グループポリシー設定のインポートが失敗しました」

ポリシー *policy_name* を適用中にエラーが発生しました。詳細について、管理デバイスのログを参照してください。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション：問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

ポリシー *policy_name* が適用されませんでした。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：管理対象デバイスが ZENworks Configuration Management の要件を満たすことを確認します。管理対象デバイスのシステム要件の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』を参照してください。

ポリシー *policyname* 中のセキュリティ設定が適用されませんでした。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：高いバージョンの Windows でローカルグループポリシーが作成された場合は、セキュリティ設定が適用されませんが、低いバージョンの Windows が実行されている管理対象デバイスには適用されます。

アクション：ZENworks サーバと管理対象デバイスが、ZENworks Configuration Management 要件を満たすことを確認します。管理対象デバイスのシステム要件の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』を参照してください。

グループポリシーのセキュリティ設定を Windows XP 上でエクスポートしたり適用したりするために必要な Windows のホットフィックス「KB897327」が見つかりませんでした。コンピュータ設定のセキュリティ設定がエクスポート / 適用できませんでした

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：このメッセージは、ポリシーの適用前に、Windows XP SP1 または SP2 デバイスにホットフィックス KB897327 が適用されていない場合に記録されます。このホットフィックスは、管理対象デバイスにセキュリティ設定を行うために必要です。

アクション: [Microsoft サポート Web サイト \(http://support.microsoft.com/KB/897327\)](http://support.microsoft.com/KB/897327) から Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイスに Windows ホットフィックス KB897327 をインストールします。

グループポリシー設定の適用を解除中にエラーが発生しました

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション: 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション: 問題が解決しない場合は、[Novell Support \(http://www.novell.com/support\)](http://www.novell.com/support) にお問い合わせください。

ユーザ username のログアウト時のグループポリシー設定のクリーンアップ中にエラーが発生しました。

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション: 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバイスの記録をオンにする方法の詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション: 問題が解決しない場合は、[Novell Support \(http://www.novell.com/support\)](http://www.novell.com/support) にお問い合わせください。

ポリシー policy_name のコンテンツにアクセス中にエラーが発生しました

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因: このエラーは、ポリシーの作成と割り当て直後に管理対象デバイスを更新した場合に発生します。このために、ポリシー管理のコンテンツがサーバで最後まで処理されていない可能性があります。

アクション: 5 分間待ってから管理対象デバイスをリフレッシュします。

一部のセキュリティ設定を設定できませんでした。

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因: このメッセージは、ポリシーの一部のセキュリティ設定が管理対象デバイスに適用されない場合に記録されます。

アクション: [Novell Support](http://www.novell.com/support) にお問い合わせください。(http://www.novell.com/support)

セキュリティ設定を操作するには、Windows XP のホットフィックス KB897327 が必要です

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：このエラーメッセージは、Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイス用のグループポリシーを作成または編集しているときに発生することがあります。

考えられる原因：Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイスに Windows ホットフィックス KB897327 がインストールされていません。

アクション：Windows グループポリシーにセキュリティ設定を設定しない場合は、このエラーメッセージを無視してください。

アクション：[Microsoft サポート Web サイト \(http://support.microsoft.com/KB/897327\)](http://support.microsoft.com/KB/897327) から Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイスに Windows ホットフィックス KB897327 をインストールします。

グループポリシー設定のインポートが失敗しました

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：gpedit.msc が閉じられると、GPHelper は ID POLICYHANDLERS.WinGPPolicy.ExportFailure を使用して、エラーメッセージを表示します。

考えられる原因：Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイスに Windows ホットフィックス KB897327 がインストールされていません。

アクション：Windows グループポリシーにセキュリティ設定を設定しない場合は、このエラーメッセージを無視してください。

アクション：[Microsoft サポート Web サイト \(http://support.microsoft.com/KB/897327\)](http://support.microsoft.com/KB/897327) から Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイスに Windows ホットフィックス KB897327 をインストールします。

A.14 Windows グループポリシーのトラブルシューティング

- ◆ 93 ページの「グループポリシーヘルパツールは、ZENworks Configuration Management の以前のバージョンと下位互換性がない」
- ◆ 93 ページの「グループポリシーが施行されないと、グループポリシーを使用して設定したお気に入りやクリーンアップされない」
- ◆ 93 ページの「グループポリシーで設定した Internet Explorer Settings が Internet Explorer で適用されない」
- ◆ 94 ページの「Windows グループポリシーのセキュリティ設定がデバイスで有効ではない」
- ◆ 94 ページの「Windows グループポリシー内で設定されたセキュリティ設定が、Windows XP SP1 または SP2 の管理対象デバイスに適用されない」
- ◆ 94 ページの「Windows Vista デバイス上でグループポリシーヘルパツールを起動できない」

- ◆ 95 ページの「ポリシーの施行状態が適切に表示されない」
- ◆ 95 ページの「グループポリシーのコンテンツをエクスポートできない」
- ◆ 95 ページの「グループポリシーヘルパツール内に 64 ビットのスナップインを表示できない」
- ◆ 96 ページの「ターミナルサーバおよび Windows Vista デバイスで、GUI アプリケーションを起動するログオンスクリプトとログオフスクリプトが正しく機能しない」
- ◆ 96 ページの「Active Directory グループポリシーをユーザまたはデバイスに割り当てると、デバイスでアプリケーションイベントログが生成される場合がある」
- ◆ 96 ページの「特定のオペレーティングシステムがインストールされたデバイス上で作成されたグループポリシーが、別のオペレーティングシステムがインストールされたデバイスには適用されない」
- ◆ 97 ページの「64 ビットバージョンの Windows Vista デバイス、Windows Server 2008 デバイス、および Windows 7 デバイスでのグループポリシーの設定がまだサポートされていない」
- ◆ 97 ページの「Active Directory グループポリシーから設定したスクリプトがデバイスで適用されない」
- ◆ 97 ページの「ZENworks グループポリシーが管理対象デバイスで実施されると、ZENworks グループポリシーで設定されていないセキュリティ設定も管理対象デバイスで実施される」

グループポリシーヘルパツールは、ZENworks Configuration Management の以前のバージョンと下位互換性がない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：対応する ZENworks Configuration Management リリースで使用可能なグループポリシーヘルパツールバージョンをインストールしてください。

グループポリシーが施行されないと、グループポリシーを使用して設定したお気に入りやクリーンアップされない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：グループポリシーの *Internet Explorer Maintenance* 設定を使用してお気に入りを設定している場合、グループポリシーが施行されないと、グループポリシーを使用して設定したお気に入りはクリーンアップされません。

アクション：ブラウザブックマークポリシーを使用してお気に入りを設定してください。

グループポリシーで設定した Internet Explorer Settings が Internet Explorer で適用されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明: Internet Explorer ブラウザを起動すると、グループポリシーで設定したホームページではなく [runonce \(http://runonce.msn.com/runonce2.aspx\)](http://runonce.msn.com/runonce2.aspx) ページが表示されます。

アクション: [runonce \(http://runonce.msn.com/runonce2.aspx\)](http://runonce.msn.com/runonce2.aspx) ページで、画面のプロンプトに従って設定を行ってください。

Windows グループポリシーのセキュリティ設定がデバイスで有効ではない

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明: Windows グループポリシーでセキュリティ設定が行われていない場合、ポリシーでは作成されたデバイスのデフォルトのセキュリティ設定を使用します。1つのデバイスに複数の Windows グループポリシーが適用されている場合、デバイスでは最後に適用されたポリシーのセキュリティ設定が有効となります。

アクション: デバイスに複数のポリシーを割り当てる場合は、デバイスで有効にするセキュリティ設定のポリシーをデバイスで必ず最後に適用するようにしてください。

Windows グループポリシー内で設定されたセキュリティ設定が、Windows XP SP1 または SP2 の管理対象デバイスに適用されない

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション: [Microsoft サポート Web サイト \(http://support.microsoft.com/KB/897327\)](http://support.microsoft.com/KB/897327) から Windows XP SP1 または SP2 管理対象デバイスに Windows ホットフィックス KB897327 をインストールします。

Windows Vista デバイス上でグループポリシーヘルパツールを起動できない

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明: ユーザアカウントコントロール ([スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [ユーザアカウント]) が有効化され、Mozilla Firefox 3.0.10 以降が使用されている場合、グループポリシーヘルパツールは Windows Vista デバイス上では起動しません。

アクション: Firefox が管理者の資格情報で実行されるように設定します。

- ◆ セッション用に Firefox を設定するには、デスクトップ上の Firefox のショートカットアイコンを右クリックし、[管理者として実行する] を選択します。
- ◆ Firefox を永続的に設定するには、次の手順に従います。
 1. デスクトップで、Firefox のショートカットアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。[ショートカット] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。[詳細プロパティ] ダイアログボックスで、[管理者として実行する] を選択します。

または

Windows Explorer で、Firefox の実行ファイルを参照し、ファイルを右クリックして、[プロパティ] を選択します。[互換性] タブをクリックし、[このプログラムを管理者として実行する] を選択します。

2. ブラウザを再起動します。

ポリシーの施行状態が適切に表示されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：ユーザまたはデバイスに複数のポリシーを割り当てる場合、ポリシーの施行状態が適切に表示されません。施行された最新のポリシーのみに関して、グループポリシーの統合された状態が ZENworks アイコンに表示されます。つまり、グループポリシーのいずれかが失敗すると、有効な最新のポリシーが、ZENworks アイコン上で [Failed (失敗)] と表示され、残りのポリシーは、[成功] と表示されます。

考えられる原因：統合された設定は、最新のポリシーにのみ適用されます。

アクション：なし。

グループポリシーのコンテンツをエクスポートできない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：zman コマンドを使用してポリシーとそのコンテンツをエクスポートする場合、コンテンツ (.zip ファイル) がエクスポートされません。

アクション：次の手順を実行します。

1. ZENworks コントロールセンターで、エクスポートするポリシーを編集します。
2. [アップロード] をクリックし、コンテンツサーバへポリシー設定をアップロードします。
3. [アップロード確認] ダイアログボックスにポリシー設定が保存されている .zip ファイルの名前が表示されます。 .zip ファイルを、c:\ などの必要な場所にコピーします。
4. zman petf コマンドを実行し、ポリシーを export.xml などの XML ファイルにエクスポートします。
たとえば、zman petf \policies c:\export.xml のように実行します。
5. export_actioncontentinfo.xml ファイルを編集し、.zip ファイルへのパスを更新します。

グループポリシーヘルパツール内に 64 ビットのスナップインを表示できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：ZENworks コントロールセンターでグループポリシーを作成または編集する際、グループポリシーヘルパツールの 32 ビットバージョンがデフォルトで起動されるので、グループポリシーヘルパツール内に 64 ビットのスナップインを表示できません。

アクション： なし。

ターミナルサーバおよび Windows Vista デバイスで、GUI アプリケーションを起動するログオンスクリプトとログオフスクリプトが正しく機能しない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： ターミナルサーバおよび Windows Vista デバイスでは、デスクトップでグラフィカルユーザインタフェースが起動されていないため、GUI アプリケーションを起動するログオンスクリプトとログオフスクリプトは正しく機能しません。

アクション： ディレクティブバンドルを使用して GUI アプリケーションを起動します。

- 1 ディレクティブバンドルを作成します。
- 2 Windows 実行可能ファイルの起動アクションを追加して、mspaint などの GUI アプリケーションを起動します。
- 3 バンドルをデバイスに割り当てます。
- 4 [起動スケジュール] を選択し、スケジュールタイプを [イベント] として選択します。
- 5 スケジュールをトリガするために [ユーザログイン] または [ユーザログアウト] イベントを選択します。

Active Directory グループポリシーをユーザまたはデバイスに割り当てると、デバイスでアプリケーションイベントログが生成される場合がある

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： Active Directory グループポリシーを設定し、ユーザまたはデバイスに割り当てた場合、デバイスでポリシーが正しく適用されていても、デバイスでアプリケーションイベントログが生成される場合があります。

アクション： アプリケーションイベントログを無視してください。

特定のオペレーティングシステムがインストールされたデバイス上で作成されたグループポリシーが、別のオペレーティングシステムがインストールされたデバイスには適用されない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明： ポリシーを適用したデバイスのオペレーティングシステムとポリシーを作成したデバイスのオペレーティングシステムが異なる場合、ローカルグループポリシー設定が含まれる Windows グループポリシーはデバイスで適用されません。

アクション： オペレーティングシステム固有のシステム要件を Windows グループポリシーから削除した後で、ポリシーを適用します。

ただし、ポリシーを適用したデバイスのオペレーティングシステムのバージョンが、ポリシーを作成したデバイスのオペレーティングシステムより新しい場合に限り、セキュリティ設定が適用されます。

64 ビットバージョンの Windows Vista デバイス、Windows Server 2008 デバイス、および Windows 7 デバイスでのグループポリシーの設定がまだサポートされていない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：64 ビットバージョンの Windows Vista デバイス、Windows Server 2008 デバイス、および Windows 7 デバイスでは、グループポリシーを設定できません。ただし、これらのデバイスでグループポリシーを適用することは可能です。

アクション：64 ビットバージョンのデバイスでグループポリシーを適用するには、対応する 32 ビットバージョンのデバイスでグループポリシーを設定して、64 ビットデバイスに割り当てます。たとえば、32 ビット Windows 7 デバイスでグループポリシーを作成して、64 ビット Windows 7 デバイスにそれを割り当てます。

Active Directory グループポリシーから設定したスクリプトがデバイスで適用されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：Active Directory グループポリシーを通じて設定されたスクリプトは、ZENworks Adaptive Agent の [ポリシー] ページで成功と表示された場合でも、デバイスには適用されません。ただし、ポリシーで他の設定が設定されていれば、その設定はデバイスに適用されます。

アクション：ローカルグループポリシーからスクリプトを設定します。

ZENworks グループポリシーが管理対象デバイスで実施されると、ZENworks グループポリシーで設定されていないセキュリティ設定も管理対象デバイスで実施される

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

説明：一部のセキュリティ設定がすでに設定されているデバイスの ZENworks コントロールセンターを介して Windows グループポリシーを作成し、このポリシーを管理対象デバイスに割り当てる場合は、グループポリシーの作成に使用したデバイスで設定されていたセキュリティ設定も、管理対象デバイスに適用されます。

アクション：デバイス上ですでに設定されているセキュリティ設定をすべて削除するには、次のコマンドを実行してから、デバイス上で ZENworks コントロールセンターを起動してグループポリシーを作成します。

```
secedit /configure /cfg %windir%\repair\secsetup.inf /db secsetup.sdb /verbose
```

A.15 ZENworks Explorer の環境設定ポリシーのエラー

- ◆ 98 ページの「ポリシーの適用を解除する際にエラーが発生しました。」

- ◆ 98 ページの「ポリシー `policy_name` を適用中にエラーが発生しました。詳細について、管理デバイスのログを参照してください。」
- ◆ 98 ページの「デスクトップアイコン名を設定する際にエラーが発生しました。」
- ◆ 99 ページの「ポリシーデータが空なため、ポリシー `policy_name` が正常に適用できませんでした。」
- ◆ 99 ページの「[手動更新の有効化] の設定を行う際に、エラーが発生しました」
- ◆ 99 ページの「[フォルダビューの有効化] の設定を行う際に、エラーが発生しました」
- ◆ 99 ページの「[フォルダツリー全体の展開] の設定を行う際に、エラーが発生しました」
- ◆ 100 ページの「[Explorer 内にアプリケーションを表示] の設定を行う際に、エラーが発生しました」
- ◆ 100 ページの「[Allow logout/login as new user (新しいユーザでのログアウト/ログインを許可)] の設定を行う際に、エラーが発生しました」

ポリシーの適用を解除する際にエラーが発生しました。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、`zmd-messages.log` ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション：問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

ポリシー `policy_name` を適用中にエラーが発生しました。詳細について、管理デバイスのログを参照してください。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション：管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、`zmd-messages.log` ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション：問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

デスクトップアイコン名を設定する際にエラーが発生しました。

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

考えられる原因：このエラーは、ZENworks Application Launcher のデスクトップアイコンの設定中にエラーが発生した場合に記録されます。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

ポリシーデータが空なため、ポリシー *policy_name* が正常に適用できませんでした。

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

【手動更新の有効化】の設定を行う際に、エラーが発生しました

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

「フォルダビューの有効化」の設定を行う際に、エラーが発生しました

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

「フォルダツリー全体の展開」の設定を行う際に、エラーが発生しました

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

「Explorer 内にアプリケーションを表示」の設定を行う際に、エラーが発生しました

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

「Allow logout/login as new user (新しいユーザでのログアウト/ログインを許可)」の設定を行う際に、エラーが発生しました

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、ポリシー管理、ブラウザブックマークポリシー。

アクション： 管理対象デバイスのデバッグのログをオンにし、zmd-messages.log ファイルを参照して、エラーの詳細を取得します。デバッグの記録をオンにする方法の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「メッセージログ」を参照してください。

アクション： 問題が解決しない場合は、Novell Support (<http://www.novell.com/support>) にお問い合わせください。

ベストプラクティス

B

次の各セクションでは、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management のポリシーを使用する際に従う必要のあるベストプラクティスについて説明します。

- 101 ページのセクション B.1 「ローカルファイル権利ポリシー」
- 101 ページのセクション B.2 「ダイナミックローカルユーザポリシー」
- 101 ページのセクション B.3 「ローミングプロファイルポリシー」
- 102 ページのセクション B.4 「SNMP ポリシー」
- 102 ページのセクション B.5 「Windows グループポリシー」
- 102 ページのセクション B.6 「プリンタポリシー」

B.1 ローカルファイル権利ポリシー

- ファイルとフォルダに対するアクセス制御の管理の詳細については、[Microsoft アクセス制御ベストプラクティス Web サイト \(http://technet2.microsoft.com/windowsserver/en/library/5a6d7830-6c5e-4c93-b8e7-fb446954d91b1033.mspx?mfr=true\)](http://technet2.microsoft.com/windowsserver/en/library/5a6d7830-6c5e-4c93-b8e7-fb446954d91b1033.mspx?mfr=true) を参照してください。

B.2 ダイナミックローカルユーザポリシー

- ダイナミックローカルユーザポリシーを適用する前に、最新バージョンの Novell Client™ をインストールしてください。Novell Client の最新バージョンを入手するには、[Novell ダウンロード Web サイト \(http://download.novell.com/index.jsp\)](http://download.novell.com/index.jsp) を参照してください。
- ログイン制限の設定がないダイナミックローカルユーザポリシーが管理対象デバイスに割り当てられている場合は、次のように `DonotFetchUserGroups` レジストリキーを追加することによって、その管理対象デバイスへのログインに要する時間を著しく短縮できます。
 1. レジストリエディタを開きます。
 2. `HKLM\Software\Novell\ZCM\AgentSettings` に移動します。
 3. `DonotFetchUserGroups` という名前の文字列を作成し、その値を `True` に設定します。

B.3 ローミングプロファイルポリシー

- Windows は、デバイスをまたいでプロファイルをロードまたは保存する前に、ユーザの認証を行うため、ローカルユーザアカウントは、管理対象デバイスと、ユーザプロファイルを格納した共用サーバで同じユーザ名とパスワードを持つ必要があります。
- ローミング用にプロファイルを設定するユーザについて、必要な許可を共用ロケーションに設定してください。

B.4 SNMP ポリシー

- ◆ SNMP ポリシーを適用する前に、SNMP サービスが実行されていることを確認してください。

B.5 Windows グループポリシー

- ◆ Windows 2000 または Windows 2003 ドメインコントローラには Windows グループポリシーを適用しないでください。
- ◆ Microsoft ドメインの一部で、Windows ドメインコントローラから適用されたグループポリシーを持っている Windows 管理対象デバイスには、Windows グループポリシーを適用しないでください。ZENworks Windows グループポリシーは、Windows ドメインコントローラからグループポリシーが適用されていない場合にのみ、適用する必要があります。
- ◆ デバイスのすべてのユーザに Windows グループポリシーの設定を適用する場合、設定はデバイスに割り当てられたポリシーの一部として構成されている必要があります。ユーザ割り当てのポリシーには、ポリシーが割り当てられるユーザに固有の環境設定だけが含まれている必要があります。
- ◆ ZENworks グループポリシーがすでに適用された管理対象デバイスにローカルグループポリシーを適用する場合は、設定の一部が正常に動作しないことがあります。

B.6 プリンタポリシー

プリンタポリシーを編集することによって、プリンタポリシーの詳細ページの [プリンタドライバのインストール] パネルに iPrint プリンタドライバを追加しないでください。これは、iPrint プリンタをデバイスにインストールするときに iPrint サーバから iPrint ドライバが自動的にダウンロードされるからです。ただし、ポリシーにローカルプリンタまたはネットワークプリンタが設定されている場合は、ローカルプリンタドライバまたはネットワークプリンタドライバをドライバのリストに追加できます。

iPrint ポリシー管理ユーティリティ

C

iPrint ポリシー管理 (IPPman) ユーティリティを使用すると、特定の iPrint URI または特定の検索条件に一致する iPrint プリンタを持つプリンタポリシーで、反復および一括操作を実行できます。このユーティリティを使用して、ある iPrint サーバから別の iPrint サーバに iPrint プリンタを移行できます。

IPPman ユーティリティでは、iPrint プリンタを持つ既存のプリンタポリシーを編集することにより、iPrint オブジェクトの作成、複製、名前変更、変更、および削除を行えます。特定のプリンタ URI 条件に一致するすべてのポリシーの iPrint プリンタ設定をエクスポートおよびインポートすることもできます。

以降のセクションで、このユーティリティの詳細について説明しています。

- ◆ 103 ページのセクション C.1 「IPPman ユーティリティのインストール」
- ◆ 104 ページのセクション C.2 「IPPman コマンドを使用した iPrint プリンタの設定」
- ◆ 110 ページのセクション C.3 「iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式の理解」
- ◆ 112 ページのセクション C.4 「iPrint プリンタの印刷初期設定」
- ◆ 112 ページのセクション C.5 「iPrint プリンタリストインポートファイルの形式」

C.1 IPPman ユーティリティのインストール

IPPman ユーティリティは、デフォルトで、ZENworks Configuration Management サーバの ZENworks® インストールディレクトリにインストールされます。ただし、以降のシナリオでは、ユーティリティを手動でデバイスにインストールする必要がある場合があります。

- ◆ あるデバイスから別のデバイスに iPrint プリンタを移行します。
 - ◆ ZENworks サーバではないデバイスにユーティリティをインストールします。
- 1 `ZENworks_installation_directory\novell\zenworks\install\downloads\tools` ディレクトリから一時的な場所に `ippmanagement.zip` ファイルをコピーします。
または
ZENworks コントロールセンター ([共通タスク] で [ZENworks ツールのダウンロード] > [管理ツール] の順にクリック) からファイルをダウンロードします。
 - 2 `ippmanagement.zip` ファイルを一時的な場所に抽出します。
 - 3 デバイスのコマンドプロンプトで、`.zip` の内容を抽出したディレクトリに移動し、`ippmanagement.exe` を実行します。
 - 4 IPPman を抽出したディレクトリに `IPPMAN_HOME` 環境変数を設定します。
 - 5 `JAVA_HOME` 環境変数を JDK インストールディレクトリに設定します。

C.2 IPPman コマンドを使用した iPrint プリンタの設定

ZENworks コントロールセンターまたは `zman` コマンドラインユーティリティを使用して、iPrint プリンタを設定できます。さらに、IPPman ユーティリティを使用して、特定の iPrint URI または特定の検索条件に一致する iPrint プリンタを持つプリンタポリシーで、反復および一括操作を実行できます。

ZENworks コントロールセンターを使用してプリンタポリシーを作成する方法の詳細については、[25 ページのセクション 2.4 「プリンタポリシー」](#) を参照してください。

`zman` コマンドラインユーティリティを使用してプリンタポリシーを作成する方法の詳細については、「[ZENworks コマンドラインユーティリティ](#)」を参照してください。

IPPman コマンドの使用の詳細については、以降のセクションを参照してください。

- ◆ [104 ページのセクション C.2.1 「iPrint プリンタの作成」](#)
- ◆ [105 ページのセクション C.2.2 「iPrint プリンタの複製」](#)
- ◆ [106 ページのセクション C.2.3 「iPrint プリンタの名前変更」](#)
- ◆ [107 ページのセクション C.2.4 「iPrint プリンタの変更」](#)
- ◆ [108 ページのセクション C.2.5 「iPrint プリンタの削除」](#)
- ◆ [109 ページのセクション C.2.6 「iPrint プリンタのエクスポート」](#)
- ◆ [109 ページのセクション C.2.7 「iPrint プリンタのインポート」](#)

C.2.1 iPrint プリンタの作成

特定のプリンタ URI 条件に一致するすべてのポリシー用の新しい iPrint プリンタ環境設定を作成するには、次の手順に従います。

- 1 iPrint プリンタ環境設定ファイルを作成します。

iPrint 環境設定ファイルを作成する方法の詳細については、[110 ページのセクション C.3 「iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式の理解」](#) を参照してください。

- 2 `ippman create` コマンドを使用して、コマンドで URI が指定された iPrint プリンタを持つすべてのプリンタポリシー用の新しい iPrinter プリンタを作成します。

iPrinter プリンタのプリンタ名と印刷初期設定は、iPrint プリンタ環境設定ファイルで指定されます。

- ◆ ZENworks サーバでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman create -uri iprint_printer_uri -conf iprint_printer_configuration_file -username username -password password
```

例：

```
ippman create -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -conf "c:\printerdata.xml" -username Administrator -password xxxxx
```

- ◆ ZENworks サーバ以外のデバイスでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman create -uri iprint_printer_uri -conf iprint_printer_configuration_file -server ZENworks_server_ip -port port_number -username username -password password
```


例：

```
ippman create -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -conf "c:\printerdata.xml" -server 10.0.0.0 -port 80 -username Administrator -password xxxxx
```

表 C-1 作成コマンドで使用するオプション

オプション	説明
uri	検索する iPrint プリンタの URI。
conf	プリンタ名と印刷初期設定を含んだ iPrint プリンタ環境設定ファイル。
ユーザ名とパスワード	ZENworks 管理者の資格情報。
サーバ	ZENworks サーバの IP アドレス。
port	ZENworks サーバのポート。デフォルトポートは 80 です。

オンラインヘルプでコマンドについて参照するには、次のコマンドを入力します。

```
ippman create -help
```

C.2.2 iPrint プリンタの複製

特定のプリンタ URI 条件に一致するすべてのポリシー用の iPrint プリンタ環境設定を複製するには、`ippman clone` コマンドを使用します。

このコマンドは、コマンドで URI が指定された iPrinter プリンタを持つすべてのプリンタポリシー用の新しい iPrinter プリンタを作成します。コマンドでは新しい iPrint プリンタの URI も指定します。複製されたプリンタの印刷初期設定はもとのプリンタと同じになります。

- ◆ ZENworks サーバでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman clone -uri iprint_printer_uri -uri2 iprint_printer_uri_for_clone -default true/false -updatedriver true/false -username username -password password
```

例：

```
ippman clone -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer -uri2 ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -default true -updatedriver true -username Administrator -password xxxxx
```

- ◆ ZENworks サーバ以外のデバイスでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman clone -uri iprint_printer_uri -uri2 iprint_printer_uri_for_clone -default true/false -updatedriver true/false -server ZENworks_server_ip -port port_number -username username -password password
```

例：

```
ippman clone -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer -uri2 ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -default true -updatedriver true -server 10.0.0.0 -port 80 -username Administrator -password xxxxx
```

表 C-2 複製コマンドで使用するオプション

オプション	説明
uri	検索する iPrint プリンタの URI。
uri2	複製する iPrint プリンタの URI。
デフォルト	これがデフォルトのプリンタかどうか。使用できるオプションは true または false です。
updatedriver	プリンタドライバを更新します。使用できるオプションは true または false です。
ユーザ名とパスワード	ZENworks 管理者の資格情報。
サーバ	ZENworks サーバの IP アドレス。
port	ZENworks サーバのポート。デフォルトポートは 80 です。

オンラインヘルプでコマンドについて参照するには、次のコマンドを入力します。

```
ippman clone -help
```

iPrint プリンタの複製後、もとの iPrint プリンタを削除することもできます。iPrint プリンタを削除する方法の詳細については、[108 ページのセクション C.2.5 「iPrint プリンタの削除」](#)を参照してください。

C.2.3 iPrint プリンタの名前変更

特定のプリンタ URI 条件に一致するすべてのポリシー用の iPrint プリンタ環境設定の名前を変更するには、ippman rename コマンドを使用します。

- ◆ ZENworks サーバでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman rename -uri iprint_printer_uri -uri2 renamed_iprint_printer_uri -default true/false -updatedriver true/false -username username -password password
```

例：

```
ippman rename -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer -uri2 ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -default true -updatedriver true -username Administrator -password xxxxx
```

- ◆ ZENworks サーバ以外のデバイスでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman rename -uri iprint_printer_uri -uri2 renamed_iprint_printer_uri -default true/false -updatedriver true/false -server ZENworks_server_ip -port port_number -username username -password password
```

例：

```
ippman rename -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer -uri2 ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -default true -updatedriver true -server 10.0.0.0 -port 80 -username Administrator -password xxxxx
```

表 C-3 名前変更コマンドで使用するオプション

オプション	説明
uri	検索する iPrint プリンタの URI。
uri2	名前変更する iPrint プリンタの URI。
デフォルト	これがデフォルトのプリンタかどうか。使用できるオプションは true または false です。
updatedriver	プリンタドライバを更新します。使用できるオプションは true または false です。
ユーザ名とパスワード	ZENworks 管理者の資格情報。
サーバ	ZENworks サーバの IP アドレス。
port	ZENworks サーバのポート。デフォルトポートは 80 です。

オンラインヘルプでコマンドについて参照するには、次のコマンドを入力します。

```
ippman rename -help
```

C.2.4 iPrint プリンタの変更

特定のプリンタ URI 条件に一致するすべてのポリシー用の新しい iPrint プリンタ環境設定を作成し、デフォルトの設定を変更するには、次の手順に従います。

- 1 iPrint プリンタ環境設定ファイルを作成します。

iPrint プリンタ環境設定ファイルを作成する方法の詳細については、[110 ページのセクション C.3 「iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式の理解」](#) を参照してください。

- 2 ippman modify コマンドを使用します。

- ◆ ZENworks サーバでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman modify -uri ippman_printer_uri -conf ippman_printer_configuration_file -username username -password password
```

例：

```
ippman modify -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -conf "c:\printerdata.xml" -username Administrator -password xxxxx
```

- ◆ ZENworks サーバ以外のデバイスでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman modify -uri ippman_printer_uri -conf ippman_printer_configuration_file -server ZENworks_server_ip -port port_number -username username -password password
```

例：

```
ippman modify -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -conf "c:\printerdata.xml" -server 10.0.0.0 -port 80 -username Administrator -password xxxxx
```

表 C-4 変更コマンドで使用するオプション

オプション	説明
uri	検索する iPrint プリンタの URI。
conf	プリンタ名と印刷初期設定を含んだ iPrint プリンタ環境設定ファイル。
ユーザ名とパスワード	ZENworks 管理者の資格情報。
サーバ	ZENworks サーバの IP アドレス。
port	ZENworks サーバのポート。デフォルトポートは 80 です。

オンラインヘルプでコマンドについて参照するには、次のコマンドを入力します。

```
ippman modify -help
```

C.2.5 iPrint プリンタの削除

特定のプリンタ URI 条件に一致するすべてのポリシー用の新しい iPrint プリンタを削除するには、ippman delete コマンドを使用します。

- ◆ ZENworks サーバでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman delete -uri iprint_printer_uri -username username -password password
```

例：

```
ippman delete -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -username Administrator -password xxxxx
```

- ◆ ZENworks サーバ以外のデバイスでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman delete -uri iprint_printer_uri -server ZENworks_server_ip -port port_number -username username -password password
```

例：

```
ippman delete -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -server 10.0.0.0 -port 80 -username Administrator -password xxxxx
```

表 C-5 削除コマンドで使用するオプション

オプション	説明
uri	削除する iPrint プリンタの URI。
ユーザ名とパスワード	ZENworks 管理者の資格情報。
サーバ	ZENworks サーバの IP アドレス。
port	ZENworks サーバのポート。デフォルトポートは 80 です。

オンラインヘルプでコマンドについて参照するには、次のコマンドを入力します。

```
ippman delete -help
```

C.2.6 iPrint プリンタのエクスポート

特定のプリンタ URI 条件に一致するすべてのポリシー用の iPrint プリンタ環境設定をエクスポートするには、`ippman export` コマンドを使用します。

- ◆ ZENworks サーバでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman export -uri iprint_printer_uri -folder export_folder -username username -password password
```

例：

```
ippman export -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -folder "c:\\export" -username Administrator -password xxxxx
```

- ◆ ZENworks サーバ以外のデバイスでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman export -uri iprint_printer_uri -folder export_folder -server ZENworks_server_ip -port port_number -username username -password password
```

例：

```
ippman export -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -folder "c:\\export" -server 10.0.0.0 -port 80 -username Administrator -password xxxxx
```

表 C-6 エクスポートコマンドで使用するオプション

オプション	説明
uri	検索する iPrint プリンタの URI。
フォルダ	iPrint プリンタ環境設定を含む XML ファイルのエクスポート先のフォルダ。検索条件に一致するプリンタポリシーごとに、XML ファイルが作成されます。 XML ファイルには、 <i>polycyname_policyUID</i> という名前が付けられます。 ここで <i>polycyname</i> はプリンタポリシーの名前であり、 <i>policyUID</i> はプリンタポリシーの固有の ID です。
ユーザ名とパスワード	ZENworks 管理者の資格情報。
サーバ	ZENworks サーバの IP アドレス。
port	ZENworks サーバのポート。デフォルトポートは 80 です。

オンラインヘルプでコマンドについて参照するには、次のコマンドを入力します。

```
ippman export -help
```

C.2.7 iPrint プリンタのインポート

iPrint プリンタ環境設定をプリンタポリシーにインポートするには、エクスポートした iPrint プリンタ環境設定情報を含む XML ファイルを使用する必要があります。

ファイルの形式については、[112 ページのセクション C.5 「iPrint プリンタリストインポートファイルの形式」](#) を参照してください。

- 1 (条件付き) 要件に応じて、iPrint プリンタをエクスポートするときに作成した XML ファイルを変更してください。

iPrint プリンタのエクスポートの詳細については、109 ページの「iPrint プリンタのエクスポート」を参照してください。

2 `ippman import` コマンドを使用して、iPrint プリンタ環境設定を、特定の iPrint URI または特定の検索条件に一致するすべてのプリンタポリシーにインポートします。

- ◆ ZENworks サーバでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman import -uri iprint_printer_uri -folder import_folder -username username -password password
```

例：

```
ippman import -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -folder "c:\\export" -username Administrator -password xxxxx
```

- ◆ ZENworks サーバ以外のデバイスでは、次のようにコマンドを入力します。

```
ippman import -uri iprint_printer_uri -folder import_folder -server ZENworks_server_ip -port port_number -username username -password password
```

例：

```
ippman import -uri ipp://10.0.0.0/ipp/Printer1 -folder "c:\\export" -server 10.0.0.0 -port 80 -username Administrator -password xxxxx
```

表 C-7 インポートコマンドで使用するオプション

オプション	説明
uri	検索する iPrint プリンタの URI。
フォルダ	iPrint プリンタ環境設定のインポート元のフォルダ。 このフォルダには、 <i>polycname_policyUID</i> という XML ファイルに保存された、エクスポート後の iPrint プリンタ環境設定が含まれます。 ここで、 <i>polycname</i> はプリンタポリシーの名前であり、 <i>policyUID</i> はプリンタポリシーの固有の ID です。
ユーザ名とパスワード	ZENworks 管理者の資格情報。
サーバ	ZENworks サーバの IP アドレス。
port	ZENworks サーバのポート。デフォルトポートは 80 です。

オンラインヘルプでコマンドについて参照するには、次のコマンドを入力します。

```
ippman import -help
```

C.3 iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式の理解

iPrint プリンタ環境設定ファイルには、プリンタ名、iPrint URI、印刷初期設定など、iPrint プリンタに関する情報が含まれます。

- ◆ 111 ページのセクション C.3.1「デフォルトの印刷初期設定での iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式」
- ◆ 111 ページのセクション C.3.2「[例] 複数の印刷初期設定が指定された iPrint プリンタ環境設定ファイル」

C.3.1 デフォルトの印刷初期設定での iPrint プリンタ環境設定ファイルの形式

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>

<Printer name="ipp://10.0.0.0/ipp/Printer2" type="iPrint"
updateiPrintDriver="true">

  <DefaultPrintingPreferences/>

</Printer>
```

デフォルトの印刷初期設定の詳細については、[112 ページのセクション C.4 「iPrint プリンタの印刷初期設定」](#)を参照してください。

C.3.2 [例] 複数の印刷初期設定が指定された iPrint プリンタ環境設定ファイル

iPrint プリンタ環境設定ファイルで、印刷初期設定を指定できます。使用できる印刷初期設定の詳細については、[112 ページのセクション C.4 「iPrint プリンタの印刷初期設定」](#)を参照してください。

複数の印刷初期設定が指定された iPrint プリンタ環境設定ファイルのサンプルは、次のとおりです。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>

<Printer name="ipp://10.0.0.0/ipp/Printer2" type="iPrint"
updateiPrintDriver="true">

  <DefaultPrintingPreferences>

    <PrinterOrientation>Portrait</PrinterOrientation>

    <PaperSource>Envmanual</PaperSource>

    <Duplex>true</Duplex>

    <Collate>true</Collate>

    <PaperSize>Ledger</PaperSize>

    <PrintQuality>High</PrintQuality>

    <IsDefault>true</IsDefault>

  </DefaultPrintingPreferences>

</Printer>
```

C.4 iPrint プリンタの印刷初期設定

表 C-8 iPrint プリンタ印刷初期設定

印刷初期設定	有効値	デフォルト値
PrinterOrientation	Portrait、Landscape	Portrait
Duplex	true、false	true
部単位で印刷	true、false	true
PrintQuality	High、Low	high
PaperSource	Auto、Cassette、Envelope、Envmanual、Formsources、Largecapacity、Lower、Largefmt、Largecapacity、Manual、Onlyone、Tractor、Smallfmt、Tray 1、Tray 2、Tray 3、Tray 4	デフォルト値なし
PaperSize	Letter、Letter Small、Tabloid、Ledger、Legal、Statement、Executive、11x17、6K、8K、A3、A4、A4 Small、A5、B4、B5	デフォルト値なし

C.5 iPrint プリンタリストインポートファイルの形式

特定のプリンタ URI に一致するすべてのポリシーに iPrint プリンタ環境設定をインポートするには、iPrint プリンタをエクスポートしたときに作成した XML ファイルを使用します。iPrint プリンタのエクスポートの詳細については、[109 ページのセクション C.2.6 「iPrint プリンタのエクスポート」](#)を参照してください。

プリンタポリシーインポートコマンドで使用される iPrint プリンタリストインポートファイルの形式は、次のとおりです。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
  <PrinterList removeOthers="false">
    <Printer name="ipp://164.99.147.66/ipp/Printer2" type="iPrint"
updateiPrintDriver="true">
      <DefaultPrintingPreferences />
    </Printer>
    <Printer name="ipp://164.99.147.66/ipp/Printer3" type="iPrint"
updateiPrintDriver="false">
      <DefaultPrintingPreferences/>
    </Printer>
  </PrinterList>
```


マニュアルの更新

このセクションでは、Novell® Zenworks® 10 Configuration Management SP3 向けに、この『ZENworks Policy Management リファレンス』で行われた文書内容の変更について説明します。ドキュメントの最新の更新情報をここで入手できます。

この製品のドキュメントは、HTML および PDF の 2 つの形式で Web にて提供されています。HTML および PDF ドキュメントにはこのセクションに一覧表示された変更が反映され、最新の状態に保たれています。

使用している PDF ドキュメントが最新のものであるかどうかを知る必要がある場合、PDF ドキュメントの表紙の発行日を参照してください。

本書では、次の更新が行われました。

- ◆ [113 ページのセクション D.1 「2010 年 3 月 30 日 : SP3 \(10.3\)」](#)

D.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)

次の項が更新されています。

場所	変更
19 ページのセクション 2.2 「ダイナミックローカルユーザポリシー」	ステップ 4 と ステップ 5 の情報を更新しました。
23 ページのセクション 2.3 「ローカルファイル権利ポリシー」	ステップ 5 に注を追加しました。
25 ページのセクション 2.4 「プリンタポリシー」	ステップ 7 と ステップ 8 の情報を更新しました。
25 ページのセクション 2.4 「プリンタポリシー」	次の情報を 29 ページの「デフォルトプリンタに設定」 の行に追加しました。 Windows 7 管理対象デバイスでは、ポリシーで [デフォルトプリンタに設定] オプションが選択されていなくても割り当てられたプリンタがデバイスでデフォルトプリンタとして設定される場合があります。
33 ページのセクション 2.8 「Windows グループポリシー」	情報が更新されました。
47 ページのセクション 3.5 「デバイスへのポリシーの割り当て」	セクションが更新されました。
48 ページのセクション 3.6 「ユーザへのポリシーの割り当て」	セクションが更新されました。

場所	変更
63 ページのセクション 3.17 「Windows 7 デバイス、 Windows Server 2008 デバイ ス、または Windows Server 2008 R2 デバイスでのポリシー の問題」	セクションが追加されました。
73 ページのセクション A.2 「ブ ラウザブックマークポリシーの トラブルシューティング」	セクションが追加されました。
74 ページのセクション A.4 「ダ イナミックローカルユーザーポ リシーのトラブルシューティ ング」	セクションが更新されました。
80 ページのセクション A.8 「ブ リントポリシーのエラー」	次のシナリオを追加しました。 82 ページの 「iPrint ポリシーを実施できないという正しくないエ ラーメッセージがデバイス上で表示される」
83 ページのセクション A.9 「ブ リントポリシーのトラブル シューティング」	セクションが更新されました。
83 ページのセクション A.9 「ブ リントポリシーのトラブル シューティング」	次のシナリオを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 86 ページの 「管理対象デバイスにインストールされたプリンタ ドライバに署名がない場合、そのデバイスにはプリンタポリ シーを実施できない」 ◆ 87 ページの 「iPrint プリンタドライバがポリシーで設定されて いない場合、プリンタポリシーによる管理対象デバイスへの iPrint プリンタのインストールが失敗することがある」 ◆ ネットワークプリンタのインストールが Windows Server 2008 R2 デバイスで失敗する場合があります。
87 ページのセクション A.11 「ローミングプロファイルポリ シーのトラブルシューティ ング」	次のシナリオを追加しました。 88 ページの 「ユーザプロファイルが Windows Server 2003 デバイス 上の共有フォルダに保存されている場合は、Windows Vista、 Windows 7、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 のデバイスでローミングプロファイルポリシーを実施できない」
92 ページのセクション A.14 「Windows グループポリシーの トラブルシューティング」	セクションが更新されました。
101 ページのセクション B.2 「ダイナミックローカルユーザ ポリシー」	セクションが更新されました。
101 ページのセクション B.3 「ローミングプロファイルポリ シー」	セクションが更新されました。
102 ページのセクション B.6 「プリンタポリシー」	セクションが追加されました。

場所

変更

103 ページの付録 C 「iPrint ポ
リシー管理ユーティリティ」 セクションが追加されました。
